

令和6年度 宜野湾市の教育



移動図書館 2 代目「ちゅらゆめ号」運行開始



市章

市章は『ギノ』を図案化したもので
「ギ」で躍進の翼を形どり、円で湾を表わし、
協力の輪と平和を表わす。

1967(昭和 42)年 6 月制定

健康都市宣言

宜野湾市の全市民が明るく、美しく、豊かな環境の中で心身ともに健やかな
合理的生活がいとなめる健康都市建設に市民の総力を結集し、
その推進をはかるため宜野湾市を健康都市とすることを宣言する。

1964(昭和 39)年 7 月 1 日

健康都市建設市民の誓い

わたしたち宜野湾市民は健康都市宣言の本旨を高揚し、明るく、美しく、豊かな
住みよい健康都市を建設するために、次の事項の実現に努力することを誓います。

推進目標

- 1 丈夫な体を育てましょう。
- 1 りっぱな市民になりましょう。
- 1 交通道德を高めましょう。
- 1 暮らしの向上をはかりましょう。
- 1 明るく美しいまちにしましょう。

はじめに

宜野湾市は、平成 29 年度に策定した「第四次宜野湾市総合計画」に基づき、市の将来像である「人がつながる 未来へつなげる ねたてのまち宜野湾」を掲げ、各事業を推進しております。

本市教育委員会においては、同総合計画を上位計画として「第二次宜野湾市教育振興基本計画（令和3～7年度まで）」を策定し、基本理念に「学び合い、未来を切り拓く人材の育成」を掲げ、3つの基本方向「生きる力を育む“ひとづくり”」、「学校に関わる人たちが活動をとおしてつながる“学校づくり”」及び「地域が学びをとおしてつながる“まちづくり”」の実現を図っております。このため、各施策を総合的かつ横断的に推進し、進捗状況を年度ごとに点検・評価し、議会への報告、市民への公表とともに、その結果を次の施策の展開に反映させてまいりました。

学校教育においては、コミュニティ・スクールの運営を通して地域と学校の連携協働体制の構築を図り、自主創造を活かした特色ある教育活動を推進し、地域とともにある学校づくりを目指してまいります。

また、沖縄県の施策「沖縄DX」の取り組みを受け、「GIGAスクール構想」のさらなる推進を図り、児童生徒 1 人 1 台端末を日常的に活用するとともに「学びの保障」に努めており、今後も継続してまいります。

さらに、学校の業務改善、教職員の働き方改革を目的に、令和5年6月1日「宜野湾市学校業務改善アクションプラン」を策定いたしました。①『教職員の働き方に対する意識・制度の改革』、②『教職員業務の適正化・効率化』、③『中学校部活動の負担軽減』の3点を方向性の柱とし、「働きやすさ」と「働きがい」の2つの視点から学校現場の実態に応じた働き方改革を目指してまいります。

学校施設については、普天間小学校校舎増改築事業をもって学校施設の耐震化は完了いたしましたが、築 30 年を経過した学校施設も多いことから令和3年度に策定された「宜野湾市教育施設等長寿命化計画」に基づき、安心・安全で快適な教育環境の整備を目的に、施設及び設備の長寿命化を図ってまいります。

各種社会教育事業などの生涯学習活動については、市民一人一人が学んだことを地域の中で生かせるよう、多様な学習機会の提供、学校教育等との連携の拡充、市民との協働の推進、社会教育関係団体の支援や文化や芸術に触れる機会の創出等、充実を図っております。また、その拠点となる社会教育関連施設の整備の充実に努めてまいります。

教育の力は、地域社会の発展に大きな影響力を持っています。今後も、教育の「普遍性、時代性、地域性」の三要素の教育的環境の優位性を活かし、教育行政の充実に努めてまいります。

「宜野湾市の教育」は、教育行政、学校教育、教育施設等の全 11 項目から構成されております。是非、ご高覧いただき、本市教育行政の推進にご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和 6 年 9 月

宜野湾市教育委員会

教育長 仲村 宗男

目次

はじめに

宜野湾市の位置と地勢・・・・・・・・・・ - 1 -

宜野湾市の沿革・・・・・・・・・・ - 1 -

I 教育行政

1. 教育行政・・・・・・・・・・ - 2 -

2. 教育財政・・・・・・・・・・ - 20 -

3. 育英会事業・・・・・・・・・・ - 22 -

4. ぎのわん教育の日・・・・・・・・・・ - 24 -

II 学校教育

1. 宜野湾市の学校教育・・・・・・・・ - 25 -

2. 学校教育状況・・・・・・・・・・ - 27 -

III 教育施設

1. 基本方針・・・・・・・・・・ - 35 -

2. 施設配置図・・・・・・・・・・ - 35 -

3. 学校教育施設・・・・・・・・・・ - 36 -

4. 社会教育施設・・・・・・・・・・ - 37 -

5. 学校敷地の状況・・・・・・・・・・ - 38 -

6. 学校校舎の必要面積と保有状況
・・・・・・・・・・ - 39 -

7. 宜野湾市立学校施設の耐震化状
況集計表・・・・・・・・・・ - 40 -

IV 学校給食

1. 基本方針・・・・・・・・・・ - 41 -

2. 重点目標・・・・・・・・・・ - 41 -

3. 機構図・・・・・・・・・・ - 42 -

4. 学校給食運営図・・・・・・・・・・ - 42 -

5. 食育への取り組み・・・・・・・・ - 43 -

6. 地産地消の取り組み・・・・・・・・ - 44 -

7. 学校給食における食物アレルギー
への取り組み・・・・・・・・・・ - 44 -

8. 学校給食の栄養量・・・・・・・・ - 45 -

V はごろも学習センター

1. 基本方針・・・・・・・・・・ - 46 -

2. 重点施策・・・・・・・・・・ - 46 -

3. 本年度の取り組み・・・・・・・・ - 47 -

4. 令和6年度研修係・管理係年間事業
計画・・・・・・・・・・ - 48 -

5. 令和6年度宜野湾市教育情報化推進
計画構想図・・・・・・・・・・ - 49 -

6. 適応指導教室「若葉教室」の概要 - 50 -

7. 令和6年度 適応指導教室「若葉教
室」・・・・・・・・・・ - 52 -

8. 令和6年度支援係年間事業計画・ - 54 -

9. 令和5年度支援係年間事業実績・ - 57 -

VI 社会教育

1. 基本方針・・・・・・・・・・ - 60 -

2. 重点施策・・・・・・・・・・ - 60 -

3. 令和5年度主な事業実績・・・・・・・・ - 60 -

4. 令和6年度社会教育関連の主な事業
計画・・・・・・・・・・ - 63 -

VII 文化振興

1. 基本方針（文化）・・・・・・・・ - 64 -

2. 令和5年度文化事業の実施・・・・・・・・ - 64 -

3. 令和5年度文化振興講座・・・・・・・・ - 65 -

4. 令和5年度文化事業共済・後援等 - 65 -

5. 令和5年度宜野湾市民会館管理運営
状況・・・・・・・・・・ - 66 -

6. 令和6年度事業計画（予定）・・ - 67 -

VIII 中央公民館

1. 基本方針・・・・・・・・・・ - 68 -

2. 運営方針・・・・・・・・・・ - 68 -

3. 取組事項・・・・・・・・・・ - 68 -

4. 令和5年度主な事業実績・・・・・・・・ - 69 -

5. 令和6年度事業計画・・・・・・・・ - 74 -

IX 市民図書館

1. 基本方針・・・・・・・・・・ - 76 -
2. 重点施策・・・・・・・・・・ - 76 -
3. 管理・運営状況・・・・・・・・ - 76 -
4. 利用者実績と目標・・・・・・・・ - 77 -
5. 資料の整備状況・・・・・・・・ - 78 -
6. 移動図書館活動状況・・・・ - 79 -
7. 事業計画と活動実績・・・・ - 81 -

X 文化事業

1. 基本方針・・・・・・・・・・ - 84 -
2. 文化財の保護・活用・・・・ - 85 -
3. 市史の編集・・・・・・・・・・ - 95 -

XI 市立博物館

1. 基本方針・・・・・・・・・・ - 99 -
2. 重点目標・・・・・・・・・・ - 99 -
3. 施設の内容・・・・・・・・・・ - 99 -
4. 開館日・休館日・・・・・・・・ - 100 -
5. 観覧料・・・・・・・・・・ - 100 -
6. 博物館の収蔵資料・・・・・・ - 100 -
7. 令和6年度年間事業計画・・ - 102 -
8. 令和5年度の活動実績・・・・ - 103 -
9. 宜野湾市立博物館の運営に関する基本的方針・・・・・・・・ - 108

資料

1. 学校長名等一覧・・・・・・・・ - 111 -
2. 学校医・学校歯科医・学校薬剤師
一覧・・・・・・・・・・ - 112 -
3. 宜野湾市教育支援委員会委員・ - 113 -
4. 宜野湾市学校給食センター運営委
員会委員・・・・・・・・・・ - 114 -
5. 宜野湾市立中央公民館運営審議会
委員・・・・・・・・・・ - 114 -
6. 宜野湾市社会教育委員・・・・ - 115 -
7. 宜野湾市民図書館協議会委員・ - 115 -
8. 宜野湾市文化財保護審議会委員 - 115 -
9. 宜野湾市立博物館協議会委員・ - 116 -
10. 宜野湾市史編集委員会委員・・ - 116 -
11. 宜野湾市いじめ問題専門委員会委
員・・・・・・・・・・ - 116 -
12. はごろも学習センター運営委員会
委員・・・・・・・・・・ - 117 -
13. 第二次宜野湾市教育大綱・・・・ - 118 -

宜野湾市の位置と地勢

本市は、沖縄本島の中南部西海岸・東シナ海に面した位置にあり、北に北谷町、東に中城村、北東に北中城村、南に浦添市、南東に西原町と接している。県庁所在地の那覇市より北に 12.4km、沖縄市より南に6km の地点にあり、市内をドーナツ状に国道 58 号線、国道 330 号線が南北に、県道宜野湾北中城線、県道 34 号線が東西に走り、さらには沖縄自動車道の北中城インターチェンジや西原インターチェンジへもつながる交通上の重要な要所に位置する。

本市の総面積は 19.80km²で、東西 6.1km、南北 5.3km の範囲である。地勢は、海岸線の出入りが比較的少なく、珊瑚礁が発達している。地形はおおむね平坦だが、海岸線に対して国道 58 号線以東は台地となっている。市域の中央部と北側部分は米軍基地となっており、その面積は全市域の約 29.4%を占めている。また、河川は宇地泊川、浦添市界に牧港川、北谷町界に普天間川がある。

気候は亜熱帯性で四季を通じて温暖である。春から夏にかけて雨量が多く、梅雨明けとともに長い夏が続く。また、夏から秋にかけて熱帯性低気圧の進路となり台風の襲来が多くなる。

宜野湾市の沿革

本市の母体である宜野湾間切は、1671(康熙 10)年に浦添間切から我如古、宜野湾、神山、嘉数、謝名具志川(大山)、大謝名、宇地泊、喜友名、新城、伊佐の 10 カ村、中城間切から前普天間(野嵩)、寺普天間(普天間)そして北谷間切から安仁屋をそれぞれ分割し、大川(真志喜)を新設し 14 カ村をもって設立された。

1879(明治 12)年の廃藩置県後、明治新政府の方針により、琉球は沖縄県となった。沖縄県庁の支庁として中頭郡役所が普天間に新設され、つづいて郡教育部会事務所、県立農事試験場等の官公署が設立されるなど本島中部の政治、経済、教育の中心地として活気を呈していた。

1881(明治 14)年5月、中頭郡区初の公立小学校として、宜野湾間切普天間村に中頭小学校が開校した。中頭小学校は中頭郡区 11 の間切から生徒を募集し、普天満山神宮寺を借りて開校した。これが宜野湾学校教育の始まりである。

第二次世界大戦においては、本市も壊滅的な戦災を被ったが、野嵩地域が奇跡的に焼失を免れて、戦闘地域住民の収容所となり、そのため他の市町村に先んじて戦後処理作業が行われた。

その後、市内の普天間を中心に都市化が進展し、1962(昭和 37)年 7 月 1 日に市制が施行され、新生「宜野湾市」が誕生した。

市制施行後もなお、米軍基地が市の中央部に位置するため市街地は国・県道沿いにドーナツ状に発展し、特異な形態になっている。近年、那覇市の外延的な拡大に伴い、市街化が進展しつつある。さらに、沖縄国際大学、琉球大学が立地し、沖縄コンベンションセンターが整備されるなど、県内の高次都市機能の一部を担う重要な地域となりつつある。

I 教育行政

1. 教育行政

(1) 教育委員会

教育行政を執行するため教育委員会を設置する。

教育委員会は、教育長及び4人の委員をもって組織する合議制の執行機関である。

教育長及び教育委員は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有するもののうちから、地方公共団体の長が議会の同意を得て、任命する。

教育長の任期は3年、委員の任期は4年であり、再任することができる。

教育長は、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表する。また、教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどり、事務局の事務を総括し、所属職員を指揮監督する。

(2) 教育長及び教育委員



仲村 宗男
(教育長)



仲村 和也
(教育長職務代理者)



下地 美幸
(委 員)



親川 利恵
(委 員)



大川 実
(委 員)

令和 6 年 7 月 1 日現在

役職名	氏 名	任 期
教育長	仲村 宗男	令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 7 年 3 月 31 日
教育長 職務代理者	仲村 和也	令和 3 年 12 月 26 日 ~ 令和 7 年 12 月 25 日
委 員	下地 美幸	令和 4 年 7 月 1 日 ~ 令和 8 年 6 月 30 日
委 員	親川 利恵	令和 5 年 7 月 1 日 ~ 令和 9 年 6 月 30 日
委 員	大川 実	令和 5 年 9 月 28 日 ~ 令和 6 年 12 月 24 日

(3) 教育委員会の会議

教育委員会の会議は、月1回の定例会と臨時に開催される臨時会があり、令和5年4月 1 日から令和6年3月 31 日までの会議開催数、付議件数とその内容は次のとおりである。

① 開催数 定例会 12 回 臨時会 2回 合計 14 回

② 件 数

付 議 案 件	定 例 会	臨 時 会	計
人事、服務関係について	5	1	6
条例、規則等の制定、改廃について	11	0	11
附属機関等の委員の任命、委嘱について	6	0	6
予算関係について	11	0	11
その他	0	1	1
合 計	33	2	35

(4) 歴代教育長

氏 名	期 間
知 念 俊 吉	昭 和 47 年 5 月 15 日 ～ 昭 和 50 年 6 月 15 日
多和田 真 祐	昭 和 50 年 7 月 4 日 ～ 昭 和 54 年 4 月 2 日
宮 城 豊 吉	昭 和 54 年 5 月 7 日 ～ 昭 和 54 年 7 月 31 日
宮 里 敏 行	昭 和 54 年 9 月 13 日 ～ 昭 和 62 年 3 月 31 日
比 嘉 定 英	昭 和 62 年 4 月 1 日 ～ 平 成 3 年 3 月 31 日
花 城 清 英	平 成 3 年 4 月 1 日 ～ 平 成 6 年 6 月 30 日
普天間 朝 智	平 成 6 年 7 月 22 日 ～ 平 成 8 年 5 月 31 日
高 宮 城 昇	平 成 8 年 7 月 26 日 ～ 平 成 12 年 7 月 7 日
宮 城 義 昇	平 成 12 年 10 月 3 日 ～ 平 成 16 年 10 月 2 日
普天間 朝 光	平 成 16 年 10 月 5 日 ～ 平 成 20 年 10 月 4 日
宮 城 茂 雄	平 成 21 年 4 月 1 日 ～ 平 成 25 年 3 月 31 日
玉 城 勝 秀	平 成 25 年 4 月 1 日 ～ 平 成 28 年 3 月 31 日
知 念 春 美	平 成 28 年 4 月 1 日 ～ 令 和 4 年 3 月 31 日
仲 村 宗 男	令 和 4 年 4 月 1 日 ～ 令 和 7 年 3 月 31 日

(5) 教育委員会の沿革

年 月 日	事 項
昭 27. 2.28	布令第 66 号による琉球教育法公布
3.17	布令第 70 号区教育委員並びに教育区会計係特別選挙法公布
4. 1	琉球教育法公布により、初等学校を小学校に、中等学校を中学校に改称
4	宜野湾村教育委員会発足 委員長に知念清一、委員に古波蔵信雄、前田英吉、儀間仁栄、仲村オチヨが就任
昭 29. 3.27	教育委員の前田英吉退任により、又吉亀助就任
昭 31. 3.26	教育委員の又吉亀助、古波蔵信勇退任により、石川栄良、桃原正賢就任
昭 32. 3. 3	布令第 165 号による新教育法公布 教育委員の桃原正賢退任により、島袋全一就任
昭 33. 3.	教育委員の儀間仁栄、仲村オチヨ退任により、仲村春勝、屋嘉比盛長就任
昭 34. 3. 9	教育委員の知念清一、屋嘉比盛長退任により、高橋清幸、稲福仁正就任 委員長に仲村春勝、委員に石川栄良、島袋全一、高橋清幸、稲福仁正
昭 36. 3. 9	教育委員の稲福仁正退任により、玉城宗吉就任
昭 38. 3. 8	教育委員の高橋清幸退任により、古波蔵信雄就任
昭 40. 3. 9	教育委員の玉城宗吉、古波蔵信勇退任により、崎間健一郎、桃原正賢就任
4. 1	大山学校給食センター開設
昭 41.	教育税廃止
昭 42. 3. 1	教育委員の島袋全一退任により、仲本正重就任
昭 43. 4. 1	大山幼稚園、嘉数幼稚園開園
昭 44. 3.13	教育委員の桃原正賢退任により、知念俊吉就任 委員長に知念俊吉、委員に石川栄良、仲村春勝、崎間健一郎、仲本正重
4. 1	普天間第二小学校が普天間小学校より分離開設 初代校長に登川義明就任
28	教育委員の崎間健一郎退任により、比嘉憲永就任
9. 5	宜野湾学校給食センター開設
昭 45.1.	嘉数中学校屋内運動場完成
4. 1	普天間幼稚園が開園
昭 46. 3.	嘉数小学校校舎建築
16	教育委員の仲村春勝退任により、宮城豊吉就任
4. 1	宜野湾幼稚園が開園
昭 47. 4. 1	普天間第二幼稚園開園
5.14	「教育委員法」に基づく教育区制度廃止
5.15	本土復帰に伴い、宜野湾区教育委員会が宜野湾市教育委員会となる 本土復帰により、教育委員任命制となる 委員長に仲本正重、委員に石川栄良、比嘉憲永、宮城豊吉、知念俊吉 教育委員会の機構改革により、事務局に総務課、教育課を置き、初代教育長に知念俊吉就任
12.25	普天間中学校屋内運動場完成
昭 48. 3.	嘉数中学校校舎建築
4. 1	教育委員の仲本正重、石川栄良退任により米須清與、宮城孝吉就任 委員長に米須清與、委員に宮城豊吉、比嘉憲永、宮城孝吉、知念俊吉
5. 3	復帰記念沖縄特別国民体育大会「若夏国体」開催
6. 3	教育委員の米須清與退任
10.	宜野湾幼稚園園舎建築
18	教育委員に松川正義就任
12. 3	大山小学校屋内運動場完成
昭 49. 4. 1	教育委員に松川正義再任 委員長に宮城孝吉、委員に松川正義、比嘉憲永、宮城豊吉、知念俊吉

年 月 日	事 項
昭 50. 3.17	宜野湾小学校及び普天間小学校屋内運動場完成
4. 1	教育委員に宮城孝吉再任 委員長に松川正義、委員に宮城豊吉、比嘉憲永、宮城孝吉、知念俊吉
5. 1	普天間第二学校給食センター開設
6.15	教育委員(教育長)の知念俊吉退任
27	教育委員に多和田真祐任命
7. 4	教育長に多和田真祐任命
昭 51. 3.25	嘉数小学校屋内運動場完成
4. 1	教育委員に宮城豊吉再任 委員長に宮城孝吉、委員に松川正義、宮城豊吉、比嘉憲永、 多和田真祐、大謝名小学校・幼稚園開校初代校長に伊佐常英就任
昭 52. 3.13	普天間第二小学校屋内運動場完成
31	教育委員の比嘉憲永任期満了により退任
4.1	教育委員に崎間健一郎任命、教育委員に多和田真祐再任 委員長に宮城孝吉、委員に松川正義、宮城豊吉、崎間健一郎、多和田真祐
昭 53. 3.28	大謝名小学校屋内運動場完成
31	教育委員の松川正義任期満了により退任
4. 1	委員長に宮城豊吉、委員に崎間健一郎、宮城孝吉、多和田真祐
6. 1	教育委員に花城清善任命 普天間小学校校舎建築
昭 54. 3.31	教育委員の宮城孝吉任期満了により退任
4. 1	教育委員に宮里敏行任命 委員長に宮里敏行、委員に花城清善、崎間健一郎、宮城豊吉、 多和田真祐、真志喜中学校開校初代校長に我如古盛仁就任
4. 2	教育委員(教育長)の多和田真祐辞任
5. 7	教育長に宮城豊吉任命
7. 1	教育委員に知花幸至任命
31	教育委員(教育長)の宮城豊吉辞任
9. 7	教育委員長に花城清善任命、委員に知花幸至、崎間健一郎、 宮城豊吉、宮里敏行
13	教育長に宮里敏行任命
昭 55. 3.31	教育委員の宮城豊吉任期満了により退任
4. 1	機構改革に伴い保健体育課が新設される
6.25	真志喜中学校屋内運動場完成
7. 8	教育委員に諸喜田哲夫任命
9. 1	真志喜学校給食センター開設
7	教育委員長に花城清善再任、委員に知花幸至、崎間健一郎、諸喜田哲夫、宮里敏行
昭 56. 3.31	教育委員の崎間健一郎、知花幸至任期満了により退任
6.29	教育委員に知花幸至(再任)、恵敏行任命、教育委員長職務 代理者に知花幸至就任
3	宜野湾市立嘉数高台プール完成
7.1	宜野湾市立グラウンド完成
9.3	宜野湾小学校プール完成
昭 57. 4. 1	志真志小学校開校初代校長に宮城真英就任 志真志幼稚園開園

年 月 日	事 項
昭 57. 6. 1	教育委員に花城清善再任、教育委員長に花城清善就任 委員に知花幸至、諸喜田哲夫、恵敏行、宮里敏行
12.25	宜野湾市民会館竣工
昭 58. 3. 7	志真志小学校屋内運動場完成
15	普天間小学校プール完成
4. 1	教育委員に宮里敏行再任 教育長に宮里敏行再任
6. 1	教育委員長に花城清善就任 委員に知花幸至、諸喜田哲夫、恵敏行、宮里敏行
昭 59. 4. 1	宜野湾市民会館及び宜野湾市立中央公民館共用開始
7. 8	教育委員に諸喜田哲夫再任
昭 60. 6.28	教育委員の知花幸至、恵敏行任期満了により退任
12.1	教育委員長に諸喜田哲夫就任 委員に花城清善、宮里敏行
24	教育委員に普天間朝英、天久勇吉任命
昭 61. 1.17	宜野湾中学校校舎完成
3.14	嘉数小学校プール完成
18	普天間中学校校舎改築
25	宜野湾市立体育館完成、宜野湾中学校屋内運動場完成
4. 1	宜野湾中学校開校 初代校長に仲村将弘就任
5. 1	教育委員長職務代理者に普天間朝英就任
7. 1	教育委員に宮城武雄任命
10.17	宜野湾中学校屋外運動場照明施設完成
昭 62. 3. 4	宜野湾中学校プール完成
13	宜野湾市立野球場完成
14	普天間中学校プール完成
4. 1	比嘉定英教育長に任命
9. 2	第 42 回国民体育大会「海邦国体」(夏季大会)開催
10.25	第 42 回国民体育大会「海邦国体」(秋季大会)開催
12. 1	教育委員長に宮城武雄就任
昭 63. 1.11	宜野湾市立多目的屋内運動場完成
2. 9	大謝名小学校プール完成
29	真志喜中学校プール完成
3. 2	パソコンによる個別学習の導入
7. 8	教育委員に諸喜田哲夫再任
12. 1	教育委員長に宮城武雄再任
平 元. 1. 8	年号昭和から平成に変わる
4. 1	宜野湾市公共施設管理公社設立
9.12	衆議院沖特委による普天間第二小学校視察来市
25	嘉数小学校屋外運動場照明施設完成
12. 1	教育委員長に諸喜田哲夫就任
24	教育委員に普天間朝英、天久勇吉再任
平 2. 1. 8	委員長職務代理者に天久勇吉就任
4. 1	宜野湾市立教育研究所設置
7. 1	教育委員に宮城武雄再任
11. 1	普天間中学校屋外運動場照明施設完成
12. 1	教育委員長に天久勇吉就任、教育委員長職務代理者に普天間朝英就任
平 3. 3.31	志真志小学校プール完成

年 月 日	事 項
平 3. 3.31	嘉数中学校内運動場柔剣道場完成 教育委員(教育長)の比嘉定英任期満了により退任
4. 1	教育長に花城清英任命
9.21	宜野湾市立体育館空調設備設置
11.27	宜野湾市民図書館開館
11.30	大山小学校校舎改築完成
12. 1	教育委員長に天久勇吉就任、教育委員長職務代理者に普天間朝英就任
16	大山小学校プール完成
平 4. 1.	真志喜中学校屋外運動場照明施設完成
5. 1	機構改革に伴い、二部体制実施(教育部、指導部)
7. 8	教育委員に諸喜田哲夫再任
平 4.12. 1	教育委員長に天久勇吉就任、教育委員長職務代理者に普天間朝英就任
平 5. 3.22	大山小学校屋内運動場改築
平 5.12. 1	教育委員長に宮城武雄就任、教育委員長職務代理者に 諸喜田哲夫就任
23	教育委員の普天間朝英任期満了により退任
24	教育委員に天久勇吉再任 教育委員に伊佐ハツ任命
平 6. 1. 5	宜野湾小学校校舎改築
3.18	嘉数中学校プール完成
6. 3	教育委員長の宮城武雄任期満了により退任 教育委員(教育長)の花城清英辞任
7. 1	教育委員長に天久勇吉就任、教育委員長職務代理者に 諸喜田哲夫就任 教育委員に普天間朝智任命
22	教育長に普天間朝智任命
10. 2	教育委員に知名定昭任命
平 7. 2.24	普天間幼稚園園舎改築
28	嘉数幼稚園園舎改築
3. 1	普天間中学校屋内運動場改築
4. 1	教育委員に知名定昭再任
7. 1	教育委員長に天久勇吉再任、教育委員長職務代理者に知名定昭就任
平 8. 3.31	普天間第二幼稚園園舎改築、普天間第二小学校校舎及び 屋内運動場改築普天間第二小学校プール完成
5.31	教育委員(教育長)の普天間朝智辞任
7. 1	教育委員長に天久勇吉再任、教育委員長職務代理者に伊佐ハツ就任
7	教育委員の諸喜田哲夫任期満了により退任
8	教育委員に玉那覇仁、高宮城昇任命
26	教育長に高宮城昇任命
平 9. 7.1	教育委員長に天久勇吉再任、教育委員長職務代理者に伊佐ハツ就任
12.23	教育委員の天久勇吉、伊佐ハツ任期満了により退任
24	教育委員に仲本實、伊佐好子任命 教育委員長に知名定昭再任、教育委員長職務代理者に玉那覇仁就任
平 10. 1.28	宜野湾小学校屋内運動場改築
7. 1	教育委員に玉那覇仁任命
12.24	教育委員長に玉那覇仁就任
平 11. 1.18	教育委員長職務代理者に仲本實就任
2.15	長田幼稚園園舎完成長田小学校校舎及び屋内運動場完成

年 月 日	事 項
4. 1	長田小学校開校初代校長に奥間輝夫就任、長田幼稚園開園 教育委員の知名定昭任期満了により退任、教育委員に桃原隆任命
6. 1	宜野湾市立博物館開館
12.24	教育委員長に玉那覇仁再任、教育委員長職務代理者に仲本實就任
平 12. 4. 1	教育部に施設課を設置
7. 7	教育長の高宮城昇、任期満了により退任
9	国際平和子どもサミットINぎのわん開催
10. 3	教育委員に宮城義昇任命、教育長に宮城義昇任命
12.24	教育委員長に仲本實就任、教育委員長職務代理者に伊佐好子就任
平 13. 3.30	宜野湾幼稚園園舎改築
10.31	大謝名小学校校舎改築
12.23	教育委員の仲本實任期満了により退任
24	教育委員の伊佐好子再任 教育委員に宮城朝春任命
25	教育委員長に桃原隆就任、教育委員長職務代理者に伊佐好子就任
平 14. 1.31	嘉数幼稚園園舎増改築完成
3. 3	宜野湾市民図書館移動図書館「ちゅらゆめ号」巡回開始
3.15	宜野湾小学校水泳プール改築完成
4. 5	大謝名小学校地域学校連携施設完成
6. 3	教育委員の玉那覇仁任期満了により退任
7. 1	教育委員に嘉手苺喜郎任命
9. 1	はごろも学習センター開所
平 15. 1.15	教育委員長に伊佐好子就任、教育委員長職務代理者に宮城朝春就任
8.29	内閣府より構造改革特別区域計画「宜野湾市英語教育特区」の認定を受ける
11.14	大山学校給食センター増改築完成
平 16. 1.15	教育委員長に嘉手苺喜郎就任、教育委員長職務代理者に宮城朝春就任
3.15	教育委員会事務所バリアフリー施設整備完成
24	長田小学校校舎増築
26	普天間第二小学校総合遊具設置
4.19	「宜野湾市英語教育特区」普天間小学校、志真志小学校にて英語授業開始
21	宜野湾市立グラウンド全天候型へ改修
3	宜野湾学校給食センター改築
6.14	幼稚園預かり保育開始(普天間第二幼稚園、志真志幼稚園)
10. 2	教育長の宮城義昇任期満了により退任
5	教育委員に普天間朝光任命、教育長に普天間朝光任命教育委員に新垣英子任命
平 17. 1.16	教育委員長に嘉手苺喜郎再任、教育委員長職務代理者に新垣英子就任
4.12	幼稚園預かり保育 4 園に拡大(普天間幼稚園、普天間第二幼稚園、志真志幼稚園、宜野湾幼稚園)
18	「宜野湾市英語教育特区」市内全小学校英語授業開始
12.23	教育委員の宮城朝春、伊佐好子任期満了により退任
26	教育委員に玉寄澄子、佐渡山美智子任命
平 18. 1.16	教育委員長に嘉手苺喜郎再任、教育委員長職務代理者に新垣英子就任
2.24	大謝名幼稚園園舎増改築
4. 1	幼稚園預かり保育 6 園に拡大 (H16 普天間第二幼稚園、志真志幼稚園、H17 普天間幼稚園、宜野湾幼稚園、 H18 大山幼稚園、大謝名幼稚園)
6.30	教育委員長の嘉手苺喜郎、任期満了により退任
7. 3	教育委員に玉城勝秀任命

年 月 日	事 項
18	教委育委員長に玉城勝秀就任、教育委員長職務代理者に新垣英子就任
平 19. 4. 1	幼稚園預かり保育全園に拡大(H16 普天間第二幼稚園、志真志幼稚園、H17 普天間幼稚園、宜野湾幼稚園、H18 大山幼稚園、大謝名幼稚園、H19 嘉数幼稚園、長田幼稚園) 幼稚園2年保育モデル事業スタート(嘉数幼稚園、長田幼稚園)
7.18	教育委員長に玉寄澄子就任、教育委員長職務代理者に新垣英子就任
8.10	宜野湾市民図書館インターネット蔵書検索システム開始
9.28	嘉数中学校校舎改築
8.22	大山学校給食センター増築
平 20. 7.18	教育委員長に玉寄澄子就任、教育委員長職務代理者に新垣英子就任
9. 3	市民会館舞台照明改修工事完了
10. 4	教育委員長職務代理者の新垣英子、教育長の普天間朝光、任期満了により退任
6	教育委員長職務代理者に佐渡山美智子就任
12.22	教育委員に高江洲善勝任命
平 21. 3.30	市民図書館入退館システム導入事業完了
4. 1	教育委員に宮城茂雄任命、教育長に宮城茂雄任命
7.18	教育委員長に高江洲善勝就任
21	教育委員長職務代理者に佐渡山美智子就任
12.25	教育委員長職務代理者の佐渡山美智子、教育委員の玉寄澄子、任期満了により退任
26	教育委員長職務代理者に上原助勝就任
平 22. 1.29	嘉数小学校校舎増改築
5.17	(仮称)大山小学校分離新設校、幼稚園の基本構想、基本計画の策定
6.30	教育委員の玉城勝秀退任
7. 1	教育委員に島崎映子、宮城典子任命
18	教育委員長に上原助勝就任、教育委員長職務代理者に高江洲善勝就任
8. 1	平成22年度全国高等学校総合体育大会(アーチェリー、卓球)開催
12. 1	宜野湾中学校校舎大規模改造
平 23. 3. 5	宜野湾市立博物館友の会発足
7.18	教育委員長に上原助勝再任、教育委員長職務代理者に島崎映子就任
28	大山小学校分離新設校の名称をはごろも小学校、幼稚園に決定同校の通学区域を設定
11. 3	宜野湾市民図書館開館20周年記念式典開催
平 24. 3.29	真志喜中学校校舎改築
7.18	教育委員長に島崎映子就任、教育委員長職務代理者に宮城典子就任
9. 5	宜野湾市民図書館「授乳室」設置工事
12.21	教育委員の高江洲善勝、任期満了により退任
25	教育委員に我謝修任命
平 25. 3.31	教育長の宮城茂雄、任期満了により退任
4. 1	教育委員に玉城勝秀任命、教育長に玉城勝秀任命
7.18	教育委員長に宮城典子就任教育委員長職務代理者に我謝修就任
12.25	教育委員の上原助勝、任期満了により退任
26	教育委員に宮城邦子任命
平 26. 3.20	はごろも小学校校舎・幼稚園園舎完成
4. 1	はごろも小学校開校 初代校長に高森新一就任、はごろも幼稚園開園
1	新三学期制度実施 幼稚園2年保育全園に拡大

年 月 日	事 項
平 26. 6.30	教育委員長の宮城典子、教育委員の島崎映子、任期満了により退任
7. 1	教育委員長に我謝修就任、教育委員長職務代理者に宮城邦子就任
1	教育委員に平良明子、諸喜田徹任命
3. 19	宜野湾市立博物館「博物館登録原簿」登録
平 27. 4. 1	宜野湾学校給食センター調理業務等民間委託
	子ども子育て支援新制度施行
7. 1	教育委員長に宮城邦子就任、教育委員長職務代理者に諸喜田徹就任
8.	宜野湾市教育振興基本計画の策定
11. 1	ぎのわん教育の日 制定
14	「ぎのわん教育の日」制定記念大会
平 28. 1.22	宜野湾市教育大綱策定
3.31	教育長の玉城勝秀退任
4. 1	教育長に知念春美就任
18	教育長職務代理者に諸喜田徹就任
11.20	「ぎのわん教育の日」第 1 回表彰式典及び記念講演会
12.24	教育委員の我謝修、任期満了により退任
12.25	教育委員に大城進任命
平 29. 4. 1	宜野湾市立はごろも学校給食センター 供用開始
	大山学校給食センター、はごろも学校給食センター調理業務等民間委託
21	教育長職務代理者に平良明子就任
22	宜野湾市立博物館常設展示室リニューアルオープン
5.2	沖縄国際大学との連携調印式
11.29	志真志幼稚園園舎完成
12.25	教育委員の宮城邦子、任期満了により退任
26	教育委員に石川正信任命
平 30.3.20	志真志小学校体育館完成
4.3	教育長職務代理者に大城進就任
6.30	教育委員の諸喜田徹、任期満了により退任
7. 1	教育委員に普天間みゆき任命
平 31.4. 1	教育長に知念春美再任
4.25	教育長職務代理者に石川正信就任
令元 5. 1	年号平成から令和に変わる
6. 1	宜野湾市立博物館開館 20 周年記念
30	教育委員の平良明子、任期満了により退任
7. 1	教育委員に知念菜穂子任命
10	志真志小学校校舎改築
令 2. 3.27	教育長職務代理者に普天間みゆき就任
12.24	教育委員の大城進、任期満了により退任
25	教育委員に桃原修任命
令 3. 3.	第二次宜野湾市教育振興基本計画の策定
	宜野湾市民会館特定天井等改修
	宜野湾市民会館舞台機構改修、車いす専用駐車場整備
3.16	宜野湾市立博物館空調設備改修工事
3.29	教育長職務代理者に知念菜穂子就任
8.	第二次宜野湾市教育大綱策定
12.25	教育委員の石川正信、任期満了により退任
26	教育委員に仲村和也任命
11. 3	宜野湾市民図書館開館 30 周年記念イベント

年 月 日	事 項
令 4. 2.28	宜野湾市立博物館企画展示室壁面展示ケース取付け工事
3.30	教育長職務代理者に桃原修就任
3.31	教育長の知念春美退任
4. 1	教育長に仲村宗男就任
	スポーツに関する事務(学校における体育に関するものを除く)を市長部局へ移管
4.13	大謝名小学校体育館、水泳プール完成
7. 1	教育委員に下地美幸任命
10.29	第 37 回国民文化祭、第 22 回全国障害者芸術・文化祭
10.30	「全日本健康マージャン交流大会(両日)、じのーん地域伝統芸能まつり(30 日)」開催
令 5. 1.30	普天間小学校校舎完成
3.30	教育長職務代理者に仲村和也就任
3.31	大山学校給食センター廃止
5. 6	教育委員の桃原修退任
7. 1	教育委員の親川利恵就任
9.28	教育委員の大川実就任
令 6. 4.	はごろも学習センター施設改修
6. 1	宜野湾市立博物館開館 25 周年記念
6. 8	宜野湾市民図書館移動図書館 2 代目「ちゅらゆめ号」運行開始

(6) 第四次宜野湾市総合計画 基本構想

人がつながる 未来へつなげる ねたてのまち 宜野湾

- 未来を担う子ども達の健全な成長を支援する体制の整備を進めます。
- 宜野湾市の魅力の創出及び発信に取り組みます。
- 基地の早期返還を求め、安全で快適な日常生活ができる環境づくりを進めます。
- 今後の宜野湾市を牽引する人材の育成を進めます。

以上4つのまちづくりの方向性を掲げ、活気にあふれ、豊かで住みよいまちを目指す。

(7) 第二次宜野湾市教育振興基本計画 基本理念

「基本理念」とは、令和3年度から令和7年度までの5年間に推進する本市教育の基本的な考え方と目指すべき姿を示したものです。

◇基本理念◇

学び合い、未来を切り拓く人材の育成

国の第3期教育振興基本計画は、今後の社会の方向性として、「自立」「協働」「創造」の三つの理念の実現に向けた生涯学習社会の構築を第2期教育振興計画より継承しています。

本市においても、第一次である「宜野湾市教育振興基本計画(平成28年度～令和2年度)」に引き続き、「自立」「協働」「創造」を基軸とした教育施策を推進していきます。

本市には3つの高等学校や、近隣を含めた3つの大学、専門学校やコンベンションセンターが立地し、多様な人が行き来する国際性豊かなまちです。第四次宜野湾市総合計画では、将来都市像を「人がつながる 未来へつなげる ねたてのまち宜野湾」と掲げ、活気にあふれ、豊かで住みよいまちを目指しています。

このような多くの高等教育機関を身近に感じ、これらの機関と連携、協力して様々な教育活動を推進していくことのできる教育的優位性を活かしながら、本計画では、子どもたちが自ら学び、自ら考えるなど、知・徳・体の調和のとれた力「生きる力」を基本としつつ、その理念をさらに発展させ、社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力「人間力」を高めていきます。その中で、モデルとなる大人が社会でどのように生き、何が必要とされているのかを見せることによって学ぶことの意義を子どもたちに伝えるような環境づくりが大切です。

学校・家庭・地域が学びや活動をとおして、つながり、支え合いながら成長することにより、「人間力」を高め、夢の実現に向けて未来を切り拓くことのできる人材、そして地域から世界につながり活躍できる人材の育成を目指します。

(8) 計画の基本方向

基本理念を踏まえつつ、以下に本計画の3つの基本方向を示します。

(1) 生きる力を育む ” ひとづくり”

・ 宜野湾市の教育の中心には子どもたちがいます。未来を生きる子どもたち誰もが自立した一人の人間として夢に向かって力強く生きていくとともに、社会の一員として役割を果たすことができる「未来を担う人間力」を身に付けることは大切です。自らが主体的に課題を解決できる知・徳・体の調和のとれた「生きる力」の育成を目指します。

(2) 学校に関わる人たちが活動をとおしてつながる ” 学校づくり”

・ 子どもたちのまわりには学校があります。子どもたちだけではなく、その成長を支える保護者や地域の人たちも学校を支援しながら、学びや生きがいづくりにつなげていきます。また、全ての教師が教育の専門家として成長できるよう支援し、学校に関わる人たちが交流や活動をとおして連携、協力することにより地域に開かれた魅力ある学校づくりを目指します。

(3) 地域が学びをとおしてつながる ” まちづくり”

・ 大人自身も教養や趣味の世界を広げ、豊かな学びと人間性を培えるよう市民へ学習機会の提供をしていくとともに、市民が地域社会とつながるための多様な社会参加の場を創りだし、活動をとおした人材育成を推進し、地域へ還元していく仕組みづくりに取り組みます。大人も子どもも地域を知り、つながり、学び、行動していくこと、そして今を生きる人たちとつながるだけでなく、未来へつながるまちづくりを目指します。

(9) 計画の基本目標

基本目標 1. 確かな学力の向上

子どもたちが社会の様々なことに興味・関心をもって自らすすんで学習に取り組むとともに、学びによって習得した知識・技能を活用する力、他者と協働するためのコミュニケーション力・語学力、異文化に対する理解や日本人としてのアイデンティティを培っていくなど、グローバル化を見通した人材育成は重要な視点です。子どもたちが体験活動をととして学ぶ楽しさを感じたり、自立心を培うなど、意欲の向上につなげる取組を推進します。

また、子どもたち一人一人が自らの将来について夢や希望を持つことは、学ぶ意義を認識したり、学習意欲の向上、学習習慣の定着につながることから、子どもたちの視野を将来にまで広げ、サポートするため、キャリア教育の充実を図り、生涯にわたって学び続ける姿勢を身につける教育活動を進めます。

基本目標 2. 豊かな心・健やかな体の育成

自他の違いを認め、年齢の違う人、障がいのある人、外国人など異なる文化や価値観を持った人たちと共に生きるための豊かな心や、社会の一員としての規範意識など、社会性を育む教育活動に取り組むとともに、いじめや不登校、児童生徒の問題行動の未然防止、早期対応を行うため教育相談体制の充実を図ります。

また、たくましく生きるための健やかな体を育む教育を進めるとともに、学校給食を通して正しい食生活への理解と望ましい食習慣の形成を図るよう食育への取組を推進します。

基本目標 3. 地域と連携した教育活動の充実

子どもたちを取り巻く環境は、情報化、価値観の多様化も含めてどんどん変化しており、学校は、これまで以上に様々な課題を抱えていることから、学校が地域とともに学校づくりをしていく必要があります。また、地域も急激な社会変化の中で支え合いやつながりが希薄化しており、地域住民自ら地域を創っていくという「主体的な意識」への転換が必要となっています。学校と地域が相互の連携・協働により、学校づくり、地域づくりを進め、一体となって子どもたちの成長を支えるため、コミュニティ・スクール、地域学校協働活動を推進します。

さらに、地域住民、社会教育関係団体、NPO、大学生など様々な人材を活用しながら、学校や公民館、子どもの身近な場所で体験や交流活動、学習支援を行うなど、地域ぐるみで子どもを育成する体制づくりに取り組むとともに、活動を通して、地域の大人の学びや自己実現、生きがいづくりを目指し、学校と地域、地域と地域をつなぐ取組を推進します。

基本目標 4. 教職員の指導力の向上

学校の教育力とは、教職員の実践的指導力といっても過言ではありません。様々な研修プログラムの設定、近隣大学や地域内外の多様な人々との協働実践を図りながら、校内研修の充実に努めます。

また、大型提示装置（電子黒板）、学習者用1人1台PC端末やデジタル教科書等のICTを活用した授業の活性化を図ることにより、子どもたちへ、より細かな指導と効果的な授業が展開できるよう、教職員のICT活用指導力向上に努め、授業力の向上を図ります。

様々な教育課題については、教職員の研究活動への参加促進を図り、課題解決に向けた意欲的な取組を支援し、成果を広げながら、教職員の人材育成に努めます。

基本目標 5. 教育環境の充実

安全・安心な教育環境を確保することにより、学校の教育力が高められます。子どもたちが事故や犯罪、自然災害などに巻き込まれないよう通学路や施設の安全点検を実施するなど地域、関係機関と連携して子どもの安全確保と見守り活動を推進していきます。

施設などのハード面では、学校施設の耐震化、老朽化対策を進め、学校施設環境の充実に図りながら、地域施設としての学校の役割を考慮し、避難所としての機能の確保に取り組みます。

学校のICT化の推進については、大型提示装置、学習者用1人1台PC端末やデジタル教科書等のICT機器の活用を図り、GIGAスクール構想の目的である一人一人の個性に合わせた教育の推進、「わかる授業」の充実に図ります。

学校図書館については、児童生徒の読書活動の充実と学習支援に向けて学校間や市民図書館との連携・協力体制を強化した取組を進めます。

多忙を極める教職員の労働環境の充実に向けては、週1回の「定時退勤日」の設定、部活動休養日や部活動時間の設定、リフレッシュウィーク及び学校閉庁日の設定の他に、自動音声対応電話機の活用により業務時間外の電話対応業務の軽減などを図ります。また、社会問題となっている教職員の心因性による休職者の増加については、産業医や臨床心理士等、専門家を活用したメンタルヘルス対策に努め、教職員の健康保持、増進に関する取組を推進します。

基本目標 6. 生涯をととした学びの推進

市民一人一人が豊かな人生を過ごしていくためには、生涯をととして自ら学び深めていくことが大切です。豊かな学びを創るため、市民図書館や中央公民館など学びの拠点施設を中心とした学習支援や芸術文化、スポーツ・レクリエーション活動を推進していきます。

また、家庭環境の多様化、地域社会の変化にともない、家庭が抱える様々な課題の解決に向けて、親と子の育ちを支援する学習機会の提供や地域と協力して子どもの望ましい生活習慣の定着を図るなど、家庭の教育力向上に向けた支援体制の充実を図ります。宜野湾市では大人と子どもが共に学び、学びを広げることにより地域のつながりを築いていきます。そして地域の子どもたちを地域に貢献する人材に育てることにより次の世代を育成する世代間循環サイクルを構築していきます。

さらに、学びをととした自己実現の支援とともに学習成果を地域社会や学校教育に還元できる地域のキーパーソンを育成するため、「ぎのわん地域づくり塾」の開催や、社会教育関係団体をはじめとする地域活動団体の育成と活動支援を行っていきます。

基本目標 7. 郷土を学びつなぐ環境の充実

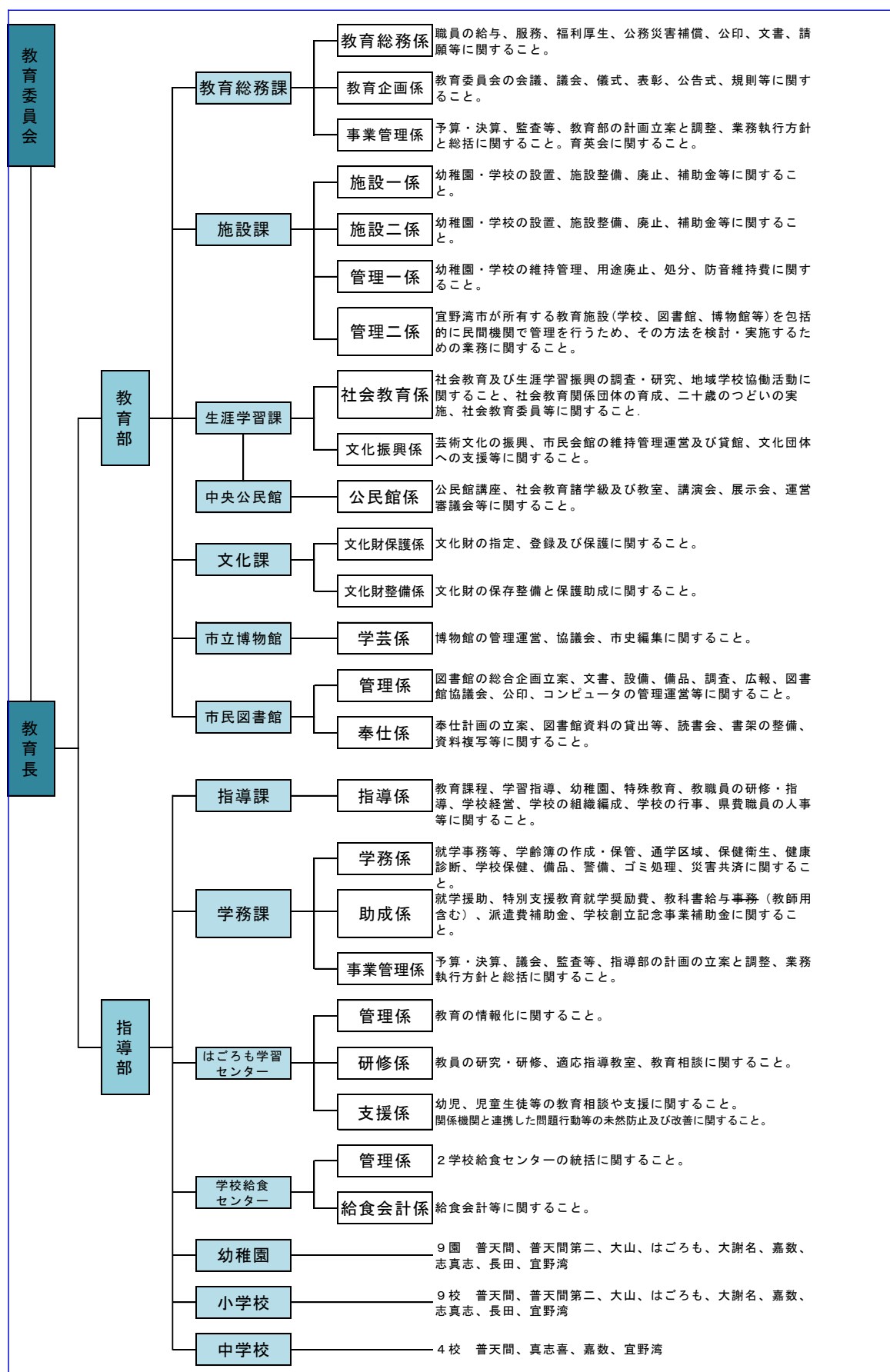
グローバル化の進展にともない人、モノ、情報が行き交い多様な交流が活発化していく中、郷土に誇りと愛着を持ち、地域とのつながりを大切にしながら国際社会に羽ばたく人材を育成するため、学校の教育課程において郷土学習の実践を進めるなど、郷土の自然、歴史や文化、偉人などに学び親しむ環境づくりを進めるとともに、将来的に貴重となる公文書や地域の歴史、文化に関する地域資料を積極的に収集、保存する取組を推進します。

また、文化財ガイド等の育成に努め、地域資源や人材を活用したまちづくりを推進します。

(10) 施 策



(11) 教育委員会事務局等の機構と事務分掌の概要



(12) 教育委員会職員配置表

令和6年5月1日

		部長	次長	課長	所長・館長	主幹・技幹	係長	担当技査 担当主査	主事・主査	技師・技査	保健師	副園長	教諭	司書	施設管理員	合計
教育部	部長	1														1
	教育総務課		[1]				3		4		1					9
	施設課			1		[1]*	3		3	5						13
	生涯学習課 (中央公民館)			<1>*			3		4							8
	文化課			1		1	2	1	5							10
	市立博物館				1		1		1							3
	市民図書館				1		2		3							6
小計		1	1	3	2	2	14	1	20	5	1	0	0	0	0	50
指導部	部長	(1)														1
	指導課			(1)		1	1	(3)	3							9
	学務課		[1]				3		5							9
	はごろも学習センター				1	1	2 (1)	1	2							8
	給食センター				1		2		2							5
	幼稚園(9園)											9	21			30
	小学校(9校)								2						6	8
	中学校(4校)															0
小計		1	1	1	2	2	9	4	14	0	0	9	21	0	6	70
合計		2	2	4	4	4	23	5	34	5	1	9	21	0	6	120

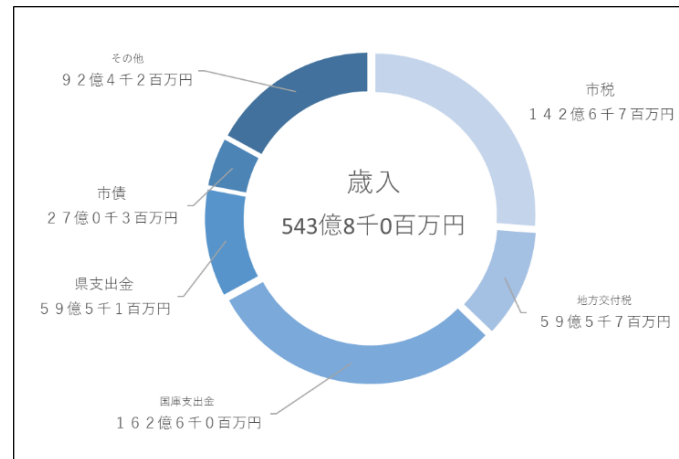
[]課長兼務 <>*所長・館長兼務 []*係長兼務 ()指導主事
再任用職員、会計年度任用職員は除く。

2. 教育財政

(1) 令和6年度一般会計当初予算事項別明細

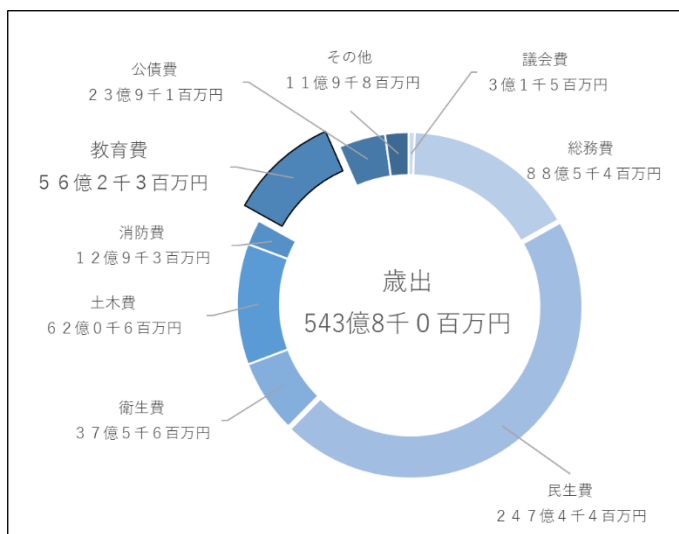
歳入

款名	予算額	割合
市税	142億6千7百万円	26%
地方交付税	59億5千7百万円	11%
国庫支出金	162億6千0百万円	30%
県支出金	59億5千1百万円	11%
市債	27億0千3百万円	5%
その他	92億4千2百万円	17%
合計	543億8千0百万円	100%



歳出

款名	予算額	割合
議会費	3億1千5百万円	1%
総務費	88億5千4百万円	16%
民生費	247億4千4百万円	46%
衛生費	37億5千6百万円	7%
土木費	62億0千6百万円	11%
消防費	12億9千3百万円	2%
教育費	56億2千3百万円	10%
公債費	23億9千1百万円	4%
その他	11億9千8百万円	2%
合計	543億8千0百万円	100%



(2) 令和6年度教育予算関係の項目

単位: 千円

c	項名	目名	令和5年度	令和6年度	比較 (令和6年度-令和5年度)	令和6年度の構成比
総務費	総務管理費	市民会館費	506,217	610,632	104,415	9.8
教育費	教育総務費	教育委員会費	3,719	3,553	△ 166	0.1
		事務局費	507,406	684,912	177,506	11
		教育指導費	339,310	472,544	133,234	7.6
		学校施設費	572,712	666,340	93,628	10.7
	小学校費	学校管理費	146,286	153,138	6,852	2.5
		教育振興費	142,117	149,378	7,261	2.4
		学校建設費	133,663	453,497	319,834	7.3
	中学校費	学校管理費	42,586	45,679	3,093	0.7
		教育振興費	142,354	138,830	△ 3,524	2.2
		学校建設費	0	0	0	0
	幼稚園費	幼稚園費	1,003,945	1,109,826	105,881	17.8
	社会教育費	社会教育総務費	267,842	280,080	12,238	4.5
		公民館費	10,757	17,162	6,405	0.3
		文化費	382,998	189,669	△ 193,329	3
		図書館費	112,893	124,380	11,487	2
		市史編集費	22,471	18,135	△ 4,336	0.3
		博物館費	30,962	39,771	8,809	0.6
		学習センター費	371,725	310,129	△ 61,596	5
	保健体育費	保健体育総務費	72,552	66,801	△ 5,751	1.1
		給食センター費	631,586	699,484	67,898	11.2
合計			6,233,940	6,233,940	0	100%

3. 育英会事業

(1) 目的

本会は、優秀な人材で経済的理由によって修学困難な者に対し学資を貸与し、その他育英上必要な業務を行って有為な人材を育成することを目的とする。

(2) 概要

① 名 称: 宜野湾市育英会

② 創立年月: 昭和 35 年 4 月

(昭和 46 年～昭和 53 年まで業務中断。昭和 54 年より松岡配電育英資金を合併し業務再開)

③ 所 在 地: 宜野湾市字野嵩 730 番地(宜野湾市教育委員会総務課内)

④ 事 業: 奨学育英事業(学資【奨学金・入学準備金】の貸与事業)

入学準備金制度を平成 26 年 11 月より開始

⑤ 役 員: 会長 1 名 副会長 2 名 理事 6 名 書記 1 名

会計 1 名 監事 2 名 評議員 16 名 計 29 名

(3) 貸与・償還

① 奨学生の資格

- ・本市に 3 年以上住所を有する本市民の子又は 3 年以上住所を有する者であること。
- ・学業、操行ともに優秀であり、かつ、健康であって学資の支弁が困難と認められる者であること。
- ・学校教育法(昭和 22 年法律第 6 号)第 1 条に定める大学(大学院及び短期大学を含む。通信制を除く。)又は同法第 124 条に定める専修学校のうち修業年限 2 年以上の専門課程に在学している学生。(入学準備金は、入学予定の者)

② 奨学生の募集人数、募集時期(入学準備金は、平成 26 年 11 月より開始)

区 分	募集人数	募集時期
奨 学 金	5 名程度(予算の範囲内において増減)	毎年 4 月～4 月末日
入学準備金	前期、後期を合わせて 15 名程度 (予算の範囲内において増減)	前期: 毎年 6 月～6 月末日 後期: 毎年 11 月～11 月末日

③ 貸与の区分、期間、金額

区 分	期 間	金 額(年額)
奨 学 金	毎年度 6 月から翌年 3 月まで 10 ヶ月間貸与 貸与生の採用年度より最短就業年限の終期まで ※奨学金の貸与方法は、毎月貸与、年 2 回貸与のいずれかを選択	下記金額より選択 300,000 円 400,000 円 500,000 円
入学準備金	前期: 7 月から 10 月の期間に貸与(1 回限り) 後期: 12 月から翌年 3 月の期間に貸与(1 回限り)	

④ 償還の区分、期間、金額

区 分	期 間	金額(月額)
奨 学 金	貸与が終了した月の6ヶ月後から貸与総額を完納するまで	貸与年額の1/20
入学準備金	卒業若しくは、退学した月の6ヶ月後から貸与額を完納するまで	貸 与 額の1/40

⑤ 貸与の状況

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
奨 学 金	新規	3 名	5 名	4 名	4 名	2 名
	継続	18 名	13 名	13 名	11 名	9 名
入学準備金	前期	4 名	1 名	3 名	9 名	4 名
	後期	3 名	10 名	12 名	14 名	10 名
合 計		28 名	29 名	32 名	38 名	25 名
貸与総額(円)		13,150,000	13,800,000	15,100,000	18,400,000	11,750,000

貸与奨学生総数(令和5年度末 現在)		
奨学金	入学準備金	合 計
312 名	135 名	447 名

⑥ 償還の状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
償 還 金(円)	9,920,000	14,837,500	12,137,500	14,283,000	14,817,500

(4) 寄付金・補助金

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
寄 付 金	1,720,000	940,000	2,630,600	1,130,000	1,303,000
市からの拠出金	1,920,000	1,920,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
合 計 (円)	3,640,000	2,860,000	4,130,600	2,630,000	2,803,000

4. ぎのわん教育の日

市民の教育に対する関心を高め理解を深めるとともに、地域全体で教育の充実と発展を図る取組を推進するため、平成 27 年度より 11 月 1 日を「ぎのわん教育の日」に制定。11 月を「教育月間」として家庭・学校・地域・社会全体で教育に対する気運を高めるため、様々な取組みを推進する。

また、本市の学校教育、社会教育及び学術文化その他教育の振興発展に貢献し、他の模範として推奨に値する業績、若しくは善行があったと認められる個人又は団体に対し表彰をする。

(1) 宜野湾市教育委員会表彰式について

日時：令和5年 11 月2日(木)14:00～16:00

場所：宜野湾市消防本部2階講堂

参加対象者：小中校生、教育関係者、社会教育関係団体等 約 50 人

(2) 令和5年度表彰者一覧

功労賞

- ①教育、学術、文化及びスポーツの振興発展に貢献し、その功績が顕著なもの
- ②学校又は地域でのボランティア活動に貢献し、その功績が顕著なもの

功労賞8名、1団体			
氏 名(団体名)	所 属	氏 名(団体名)	所 属
新垣 善章	—	島袋 友子	嘉数小学校 読み聞かせ(エイトの会)
比嘉 さやか	普天間小学校	宜野座 晃	長田小学校
島袋 綾子	宜野湾小学校	仲宗根 清茂	嘉数小学校立哨ボランティア
新垣 トシエ	宜野湾小学校	「ふたごぶんこ」 安仁屋 眞昭 ・桃原 和子	大山小学校
伊集 朝彦	普天間 FC		

活躍賞

- ①有益な調査、研究、発明、発見又は工夫考案をしたもの
- ②学習、文化活動又はスポーツに関する大会において優秀な成績を収めたもの
- ③特に他の模範となる行為があったもの

活躍賞2名、3団体			
氏 名(団体名)	所 属	氏 名(団体名)	所 属
中島 璃斗	普天間第二小学校	長田小学校将棋部	長田小学校
照屋 太晴	宜野湾小学校	宜野湾ベースボールキッズ	宜野湾小学校
嘉数小学校音楽部	嘉数小学校		

Ⅱ 学校教育

1. 宜野湾市の学校教育

(1) 「よりそい、そろえる・つなぐ教育の推進」

人工知能(AI)やビッグデータ、IoT、ロボティクス等の先端技術が高度化しており、このように急激に変化する時代の中で、幼児児童生徒一人一人が自分のよさや可能性を見出すことが重要となっている。同時にあらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力(コンピテンシー)を育成することが求められている。

宜野湾市においては、都市の将来像「人がつながる 未来へつなげる ねたてのまち宜野湾」の創造に向け、市政運営を図っているが、これからの宜野湾市の教育行政、学校教育においては、子どもたちの資質・能力を育成することが最重要課題である。そこで、宜野湾市教育委員会では課題解決を図るため、教育施策共通テーマを「よりそい、そろえる・つなぐ教育の推進」とし、教育委員会、学校、保護者、地域が「チーム宜野湾」でベクトルをそろえ、学校の自主創造を生かした特色ある教育活動、コミュニティ・スクールの協働実践を図る。

本市の学校教育における指導の努力事項として1つ目が「確かな学力」の育成である。全国学力・学習状況調査や県学力到達度調査等の諸学力調査結果において、中学校の「学力保障」に係る重点目標の設定や学校間差・学級間差の解消である。このため、宜野湾市教育委員会においては、今年度沖縄県学力向上推進本部会議が示した提言2「授業の質的改善と学校改善の推進」を図るための組織体制の改善・充実に努める。また、市独自の「ぎのわん授業スタンダード」や「ぎのわん授業改善ルーブリック」を活用した授業スタイルの「統一・徹底・連動・評価」に加え、学年主任や教科主任を中心とした「そろえた取組」の実践、小学校における教科担任制の導入に努めることを推進する。さらに GIGA スクール構想実現に向けたタブレット端末や電子黒板等の ICT 機器を活用した授業改善、個別最適・協働的な学びなど教師の授業力向上を図る取組を積極的に推進する。なお、市指定研究として4中学校単位の「保・幼・こ・小・中連携」教育を継続する。

努力事項2つ目に、「豊かな心」の育成については、幼児児童生徒一人一人が豊かな心を育み、望ましい自己実現を果たすため、自他の生命を尊重する心を基盤に、豊かな情操、善悪の判断などの規範意識及び公共の精神、健康・安全、規則正しい生活などの基本的生活習慣を確立することが重要である。このため、「特別の教科 道徳」の授業を要とした「考え、議論する道徳」への転換を図り、学校の教育活動全体を通して命の大切さや思いやりの心、正義感や公正・公平を重んじる心、自立心、自己抑制力等の人権教育を充実させることで、豊かな心の育成を図る。

努力事項3つ目に、「基本的生活習慣の確立」では、「不登校児童生徒数の増加」が重要課題であり、教育委員会が作成した「不登校防止システム」を活用し、積極的生徒指導として「わかる授業の構築」や「居場所づくり、絆づくり」、「魅力ある学校づくり」に努め、関係機関との連携や地域人材を活用する等、不登校児童生徒の減少に向けて取り組む。

最後努力事項4つ目は、「社会に開かれ、信頼される学校づくり」である。各園、各学校においては、教師・家庭・地域社会がそれぞれのあるべき姿と責任を自覚し、ともに手を携えながら幼児児童生徒の望ましい自己実現を図ることが強く望まれる。学校が抱える課題は、複雑化・困難化しており、学校と地域の連携・協働が重要である。そのため学校は、地域でどのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを保護者・地域住民と共有し、地域と一体となって子どもたちを育むコミュニティ・スクールのさらなる推進に努める。

以上4点の努力事項を踏まえ、本教育委員会は「じのーん子の資質・能力の育成」に向け、全力を傾注する。

(2) 学校教育目標

宜野湾市教育委員会は、人間尊重の精神を基底とし、幼児児童生徒に「生きる力」を育むことを目指し、国及び郷土の自然と文化に誇りを持つ個性豊かで「創造性・国際性に富む健全な人材の育成」を期して、次のことを目標に教育施策を推進する。

- 自ら学ぶ意欲を育て、資質・能力の向上を目指すとともに、規律を守り、豊かな心を持ち表現力とねばり強さのある幼児児童生徒を育成する。
- 平和で安らぎと活力ある社会の形成者として、郷土文化の継承・発展に寄与し、国際化・情報化社会で活躍する心身ともに健全な幼児児童生徒を育成する。
- 学校・家庭・地域社会の相互連携のもとに、時代の変化に対応し得る教育の方法を追求し、生涯学習社会への基礎を培う。

(3) 努力事項

①確かな学力の育成

- 保・幼・こ・小・中連携教育のさらなる充実(よりそい、そろえる・つなぐ教育の推進)
- 「わかる授業」の構築に向けた指導体制の充実・改善 ○学習習慣の確立 ○小学校教科担任制の導入
- 学習指導要領の趣旨を生かした授業の実践 ○国際化へ対応できる幼児児童生徒の資質・能力の向上
- 沖縄教育 DX の推進 ○特別支援教育の充実 ○キャリア教育の充実 ○幼稚園教育の充実

②豊かな心とたくましい体の育成

- 人間としての生き方を育む道德教育の充実
- 特別活動の充実(学級・学校生活づくりの充実)
- 人権教育・平和教育・平等教育の指導の充実
- いじめ・不登校を生まない生徒指導の4つのポイントを生かした支持的風土の醸成
- 健康の保持増進と体力の向上を図る指導の充実
- 基本的な生活習慣の定着(食事、運動、早寝早起き、安全指導)

③信頼される学校づくり

- 「チーム学校」として、家庭・地域との連携による信頼される学校づくり、創造性のある学校経営の充実
- 子どもが生きる学年・学級・教科経営:「でえ〜じ うむさん運動」の推進
- 子どもの貧困対策
- 短期目標の実現を図る学校経営の充実
- 服務指導の徹底・校内研修の充実・人材育成の推進
- コミュニティ・スクールの推進
- 働き方改革の推進

④郷土文化の継承

- 郷土の伝統や文化に誇りを持ち、他国を尊重する幼児児童生徒の育成
- ウチナーグチ(しまくとぅば)の推進

2. 学校教育状況

(1) 児童数・生徒数及び学級の推移

各年 5月1日

		2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年	
		(H27)		(H28)		(H29)		(H30)		(R1)		(R2)		(R3)		(R4)		(R5)		(R6)	
普天間小	児童	653		641		635		630		606		601		584		555		547		530	
	明治39年 学級	25	(5)	25	(5)	24	(5)	24	(5)	24	(5)	24	(6)	25	(8)	25	(7)	26	(8)	26	(8)
普天間第二小	児童	679		664		644		644		636		630		609		572		555		542	
昭和44年	学級	25	(4)	27	(6)	27	(6)	27	(6)	27	(7)	25	(6)	27	(8)	26	(8)	28	(10)	28	(8)
大山小	児童	583		614		662		647		633		623		604		599		570		589	
昭和21年	学級	21	(4)	23	(5)	27	(7)	25	(5)	25	(7)	27	(9)	28	(10)	26	(7)	25	(7)	25	(8)
はごろも小	児童	741		806		849		881		921		918		900		913		896		889	
平成26年	学級	28	(4)	28	(4)	32	(5)	35	(7)	37	(8)	37	(8)	37	(8)	38	(9)	37	(9)	37	(8)
大謝名小	児童	569		542		549		557		564		587		576		608		600		588	
昭和51年	学級	23	(4)	24	(5)	22	(5)	23	(6)	24	(6)	27	(9)	28	(11)	28	(10)	28	(10)	28	(8)
嘉数小	児童	845		852		861		879		859		877		909		887		914		906	
大正8年	学級	31	(4)	33	(6)	34	(7)	35	(7)	37	(9)	39	(10)	40	(10)	37	(9)	38	(10)	38	(8)
志真志小	児童	743		733		757		770		792		794		810		854		859		870	
昭和57年	学級	28	(3)	29	(4)	30	(6)	32	(6)	34	(8)	35	(9)	36	(10)	36	(9)	36	(10)	36	(9)
長田小	児童	605		647		678		697		688		695		714		700		659		663	
平成11年	学級	23	(3)	25	(4)	25	(4)	27	(5)	28	(6)	29	(7)	30	(8)	30	(8)	29	(8)	29	(8)
宜野湾小	児童	821		824		804		842		831		846		838		837		820		793	
明治15年	学級	28	(3)	30	(4)	31	(5)	32	(6)	33	(7)	35	(9)	35	(9)	34	(8)	34	(9)	34	(9)
小学校 合 計	児童	6,239		6,323		6,439		6,547		6,530		6,571		6,544		6,525		6,420		6,370	
	学級	232	(34)	244	(43)	252	(50)	260	(53)	269	(63)	278	(73)	286	(82)	280	(75)	281	(81)	281	(74)
普天間中	生徒	711		694		662		668		636		609		601		603		601		618	
昭和23年	学級	21	(2)	22	(3)	21	(3)	21	(3)	20	(3)	21	(5)	23	(5)	23	(5)	23	(6)	23	(7)
真志喜中	生徒	853		847		828		818		866		886		919		938		980		946	
昭和54年	学級	25	(2)	27	(3)	27	(4)	30	(8)	31	(8)	30	(7)	33	(7)	31	(5)	34	(7)	34	(7)
嘉数中	生徒	736		766		717		731		731		766		770		776		797		821	
昭和37年	学級	22	(2)	25	(3)	22	(3)	25	(5)	26	(6)	26	(5)	28	(6)	29	(7)	31	(7)	31	(7)
宜野湾中	生徒	692		662		661		635		630		626		669		682		707		709	
昭和61年	学級	21	(2)	20	(2)	23	(4)	21	(3)	19	(2)	20	(2)	23	(4)	24	(5)	25	(6)	25	(6)
中学校 合 計	生徒	2,992		2,969		2,868		2,852		2,863		2,887		2,959		2,999		3,085		3,094	
	学級	89	(8)	94	(11)	93	(14)	97	(19)	96	(19)	97	(19)	107	(22)	107	(22)	113	(26)	113	(27)
小・中 合 計	児童 生徒	9,231		9,292		9,307		9,399		9,393		9,458		9,503		9,524		9,505		9,464	
	学級	321	(42)	338	(54)	345	(64)	357	(72)	365	(82)	375	(92)	393	(104)	387	(97)	394	(107)	394	(101)

()内は特別支援学級の内数

(2) 園児数及び学級数の推移

各年 5 月 1 日

		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
		(H27年)	(H28年)	(H29年)	(H30年)	(R1年)	(R2年)	(R3年)	(R4年)	(R5年)	(R6年)
普天間	園児	66	70	78	49	36	32	27	34	30	22
昭和45年	学級	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2
普天間第二	園児	87	73	61	53	48	55	43	40	31	50
昭和47年	学級	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2
大 山	園児	94	74	64	55	53	47	38	61	34	24
昭和43年	学級	4	3	3	3	3	3	2	3	2	2
はごろも	園児	104	113	95	101	80	74	94	82	83	61
平成26年	学級	4	4	4	4	3	3	4	3	3	3
大謝名	園児	54	68	68	65	42	49	39	46	47	39
昭和51年	学級	3	3	3	4	2	3	2	3	3	2
嘉 数	園児	112	129	97	92	85	71	72	67	56	42
昭和43年	学級	4	5	4	4	3	3	3	3	3	2
志真志	園児	87	99	88	81	83	58	68	61	58	58
昭和57年	学級	3	4	4	3	3	3	3	3	3	3
長 田	園児	84	78	69	55	40	44	35	40	39	24
平成11年	学級	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2
宜野湾	園児	70	78	72	61	65	48	52	46	50	40
昭和46年	学級	3	3	3	3	3	2	3	3	2	2
合 計	園児	758	782	692	612	532	478	468	477	428	360
	学級	30	31	30	30	24	24	23	24	22	20

(3) 学校別・学年別児童生徒数及び学級数

基準日: 令和 6 年 5 月 1 日

小学校		1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	小 計	特 支 学 級	幼稚園		
										四 歳 児	五 歳 児	小 計
普 天 間	男	43 (7)	38 (7)	47 (8)	42 (6)	55 (4)	33 (4)	258 (36)		2	11	13
	女	51 (3)	47 (3)	46 (3)	36 (0)	34 (2)	58 (4)	272 (15)		4	5	9
	計	94 (10)	85 (10)	93 (11)	78 (6)	89 (6)	91 (8)	530 (51)		6	16	22
	学級数	3	3	3	3	3	3	18	8	1	1	2
普 天 間 第 二	男	32 (7)	53 (12)	49 (9)	52 (7)	54 (7)	44 (5)	284 (47)		10	17	27
	女	51 (2)	37 (1)	35 (2)	51 (3)	38 (1)	46 (1)	258 (10)		9	14	23
	計	83 (9)	90 (13)	84 (11)	103 (10)	92 (8)	90 (6)	542 (57)		19	31	50
	学級数	3	3	3	3	3	3	18	9	1	1	2
大 山	男	47 (3)	57 (9)	47 (5)	63 (9)	45 (5)	45 (4)	304 (35)		2	9	11
	女	55 (1)	42 (3)	42 (1)	40 (1)	56 (4)	50 (4)	285 (14)		3	10	13
	計	102 (4)	99 (12)	89 (6)	103 (10)	101 (9)	95 (8)	589 (49)		5	19	24
	学級数	4 加配	3	3	3	3	3	19	8	1	1	2
は ご ろ も	男	76 (7)	62 (8)	80 (5)	64 (2)	64 (9)	87 (5)	433 (36)		4	23	27
	女	80 (1)	75 (2)	82 (3)	76 (3)	76 (6)	67 (0)	456 (15)		4	30	34
	計	156 (8)	137 (10)	162 (8)	140 (5)	140 (15)	154 (5)	889 (51)		8	53	61
	学級数	5	5 加配	5	4	4	5 加配	28	8	1	2	3
大 謝 名	男	51 (2)	48 (2)	43 (3)	48 (5)	47 (4)	49 (8)	286 (24)		6	15	21
	女	59 (3)	47 (2)	48 (0)	43 (3)	53 (3)	52 (4)	302 (15)		10	8	18
	計	110 (5)	95 (4)	91 (3)	91 (8)	100 (7)	101 (12)	588 (39)		16	23	39
	学級数	4 加配	3	3	3	3	3	19	8	1	1	2
嘉 数	男	75 (6)	96 (9)	70 (6)	88 (7)	68 (7)	76 (3)	473 (38)		8	17	25
	女	67 (1)	79 (1)	73 (1)	76 (3)	71 (1)	67 (5)	433 (12)		5	12	17
	計	142 (7)	175 (10)	143 (7)	164 (10)	139 (8)	143 (8)	906 (50)		13	29	42
	学級数	5 加配	6 加配	4	5	4	4	28	8	1	1	2
志 真 志	男	68 (3)	67 (5)	85 (9)	75 (7)	66 (4)	68 (7)	429 (35)		6	23	29
	女	81 (4)	81 (4)	70 (0)	65 (1)	70 (2)	74 (7)	441 (18)		10	19	29
	計	149 (7)	148 (9)	155 (9)	140 (8)	136 (6)	142 (14)	870 (53)		16	42	58
	学級数	5	5 加配	5	4	4	4	27	9	1	2	3
長 田	男	53 (5)	43 (6)	58 (4)	56 (8)	59 (8)	46 (3)	315 (34)		5	10	15
	女	53 (1)	58 (0)	50 (2)	62 (4)	68 (6)	57 (2)	348 (15)		1	8	9
	計	106 (6)	101 (6)	108 (6)	118 (12)	127 (14)	103 (5)	663 (49)		6	18	24
	学級数	4 加配	3	3	4	4	3	21	8	1	1	2
宜 野 湾	男	56 (8)	67 (12)	62 (10)	57 (7)	68 (12)	61 (3)	371 (52)		6	16	22
	女	63 (2)	67 (1)	75 (5)	69 (2)	87 (2)	61 (2)	422 (14)		6	12	18
	計	119 (10)	134 (13)	137 (15)	126 (9)	155 (14)	122 (5)	793 (66)		12	28	40
	学級数	4	5 加配	4	4	5	4 加配	26	9	1	1	2
合 計	男	501 (48)	531 (70)	541 (59)	545 (58)	526 (60)	509 (42)	3,153 (337)		49	141	190
	女	560 (18)	533 (17)	521 (17)	518 (20)	553 (27)	532 (29)	3,217 (128)		52	118	170
	計	1,061 (66)	1,064 (87)	1,062 (76)	1,063 (78)	1,079 (87)	1,041 (71)	6,370 (465)		101	259	360
	学級数	37	36	33	33	33	32	204	75	9	11	20

()内は特別支援学級児童数

中学校		1学年	2学年	3学年	小 計	特支 学級
普天間 中学校	男	99 (11)	93 (12)	113 (12)	305 (35)	
	女	112 (4)	102 (4)	99 (4)	313 (12)	
	計	211 (15)	195 (16)	212 (16)	618 (47)	
	学級数	6 加配	6 加配	6 加配	18	7
真志喜 中学校	男	172 (12)	173 (11)	159 (8)	504 (31)	
	女	136 (8)	153 (4)	153 (4)	442 (16)	
	計	308 (20)	326 (15)	312 (12)	946 (47)	
	学級数	9 加配	9 加配	9 加配	27	7
嘉 数 中学校	男	150 (14)	129 (10)	131 (8)	410 (32)	
	女	133 (5)	142 (6)	136 (4)	411 (15)	
	計	283 (19)	271 (16)	267 (12)	821 (47)	
	学級数	8 加配	8 加配	8 加配	24	7
宜野湾 中学校	男	109 (10)	121 (14)	123 (9)	353 (33)	
	女	110 (4)	136 (1)	110 (2)	356 (7)	
	計	219 (14)	257 (15)	233 (11)	709 (40)	
	学級数	6	7	6 未実施	19	6
合 計	男	530 (47)	516 (47)	526 (37)	1,572 (131)	
	女	491 (21)	533 (15)	498 (14)	1,522 (50)	
	計	1,021 (68)	1,049 (62)	1,024 (51)	3,094 (181)	
	学級数	29	30	29	88	27

総 括 表

基準日：令和6年5月1日

	小学校	特別支援						中学校	特別支援					総合計	特別支援					
		知	情	言	肢	病	難聴		知	情	肢	病	病		知	情	言	肢	病	難聴
男	3,153 (337)	(122)	(211)	(2)	(2)	(0)	(0)	1,572 (131)	(62)	(69)	(0)	(0)	(0)	4,725 (468)	(184)	(280)	(2)	(2)	(0)	(0)
女	3,217 (128)	(64)	(51)	(5)	(5)	(2)	(1)	1,522 (50)	(19)	(29)	(0)	(1)	(1)	4,749 (177)	(83)	(80)	(5)	(5)	(3)	(1)
計 (児童生徒数)	6,370 (465)	(186)	(262)	(7)	(7)	(2)	(1)	3,094 (181)	(81)	(98)	(0)	(1)	(1)	9,464 (645)	(267)	(360)	(7)	(7)	(3)	(1)
学級数	279 (75)	(26)	(37)	(3)	(6)	(2)	(1)	115 (27)	(11)	(14)	(0)	(1)	(1)	394 (101)	(37)	(51)	(3)	(6)	(3)	(1)

※() 特別支援学級児童生徒数。各学年児童生徒数に含まれているが、内数として再掲している。

※加配＝令和6年度少人数学級編成に係る研究指定校の決定について(通知)の一覧を基に掲載している。

※内数とは、ある数が合計に含めて計上されていること。

(例えば) 特別支援児童1人(小1年男子)は、小1年男子小計及び小1年合計にそれぞれカウントされている。

(4) 宜野湾市立学校の指定通学区域

学 校 名	指 定 通 学 区 域
普天間小学校	野嵩 1 区自治会、野嵩 2 区自治会、野嵩 3 区自治会、普天間 1 区自治会及び普天間2区自治会に係わる地域
普天間第二小学校	普天間 3 区自治会、新城区自治会及び喜友名区自治会に係わる地域
大山小学校	伊佐区自治会及び大山区自治会の一部に係わる地域
はごろも小学校	大山区自治会の一部、真志喜区自治会及び宇地泊区自治会の一部に係わる地域
大謝名小学校	宇地泊区自治会の一部、大謝名区自治会、大謝名団地自治会、嘉数ハイツ自治会及び上大謝名自治会に係わる地域
嘉数小学校	嘉数区自治会、真栄原区自治会の一部及び我如古区自治会の一部に係わる地域
志真志小学校	真栄原区自治会の一部、我如古区自治会の一部及び宜野湾区自治会
長田小学校	長田区自治会に係わる地域
宜野湾小学校	愛知区自治会及び中原区自治会に係わる地域
普天間中学校	普天間小学校及び普天間第二小学校の通学区域
真志喜中学校	大山小学校、はごろも小学校及び大謝名小学校(上大謝名自治会地域を除く。)の通学区域
嘉数中学校	嘉数小学校、志真志小学校の通学区域及び大謝名小学校の通学区域に係わる上大謝名自治会地域
宜野湾中学校	宜野湾小学校及び長田小学校の通学区域

※自治会とは、宜野湾市自治会の認定に関する規程(昭和 60 年宜野湾市訓令第 5 号)に規定する自治会。

年度			平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			生徒数	児童数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
（知的）	小学校	普天間第二山	9	2	12	2	13	2	12	2	16	2	19	3	19	3	23	3	25	4	26	4
		大はごろも	2	1	6	1	9	2	13	2	23	3	29	4	33	5	24	3	24	3	24	3
		大謝名	6	1	11	2	13	2	22	3	23	3	20	3	18	3	18	3	18	3	16	2
		大嘉数	5	1	11	2	16	2	15	2	21	3	29	4	27	4	23	3	21	3	17	3
		志真志	5	1	10	2	18	3	22	3	29	4	35	5	33	5	32	4	26	4	22	3
		志真志	7	1	9	2	18	3	19	3	21	3	28	4	31	4	30	4	29	4	21	3
		宜野湾	5	1	10	2	14	2	17	3	18	3	19	3	19	3	22	3	21	3	24	3
		長田	7	1	10	2	12	2	15	2	18	3	18	3	18	3	17	3	16	2	15	2
	計	58	11	98	18	131	21	157	23	194	28	220	32	219	33	211	29	199	29	186	26	
中学校	普天間	8	1	11	2	15	2	16	2	12	2	11	2	13	2	13	2	18	3	22	3	
	真志喜	5	1	8	1	16	2	28	4	24	3	11	2	12	2	14	2	17	3	20	3	
	嘉数	8	1	12	2	18	3	21	3	15	2	15	2	19	3	21	3	24	3	24	3	
	宜野湾	5	1	7	1	11	2	12	2	6	1	6	1	10	2	13	2	13	2	15	2	
計	26	4	38	6	54	8	74	11	63	9	43	7	50	8	59	9	69	11	81	11		
（言語）	小学校	普天間第二	通級		通級		通級		通級		通級		通級		通級		通級		通級		通級	
		志真志	3	—	—	—	—	—	—	—	通級		通級		通級		通級		通級		通級	
		大謝名	1	1	2	1	2	1	2	1	2	1	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1
		嘉はごろも	1	1	2	1	4	1	6	1	6	1	5	1	4	1	2	1	1	1	3	1
計	4	2	4	2	6	2	8	2	9	3	10	3	9	3	9	3	6	3	7	3		
（自閉・情緒）	小学校	普天間	18	3	19	3	24	3	23	3	23	3	22	3	34	5	26	4	24	3	24	3
		普天間第二	11	2	18	3	18	3	13	2	11	2	15	2	19	3	23	3	34	5	35	5
		大はごろも	18	3	26	4	26	4	22	3	29	4	28	4	28	4	15	2	21	3	23	3
		大謝名	14	2	10	2	11	2	18	3	16	2	29	4	36	5	35	5	33	5	20	3
		嘉数	13	2	17	3	18	3	21	3	25	4	26	4	30	4	23	3	25	4	25	4
		志真志	13	2	15	2	19	3	23	3	30	4	31	4	36	5	28	4	32	4	29	4
		宜野湾	11	2	16	2	19	3	23	3	30	4	35	5	36	5	36	5	43	6	42	6
		長田	13	2	13	2	13	2	20	3	19	3	17	3	27	4	31	4	36	5	33	5
	計	130	21	150	23	171	26	191	27	213	30	235	33	276	39	250	35	284	40	262	37	
	中学校	普天間	7	1	7	1	8	1	6	1	6	1	9	2	10	2	16	2	21	3	24	3
		真志喜	8	1	9	2	16	2	19	3	25	4	26	4	25	4	23	3	30	4	27	4
		嘉数	7	1	5	1	5	1	9	2	15	2	16	2	18	3	18	3	20	3	22	3
		宜野湾	2	1	7	1	9	2	8	1	7	1	8	1	15	2	20	3	29	4	25	4
	計	24	4	28	5	38	6	42	7	53	8	59	9	68	11	77	11	100	14	98	14	
	（難聴）	小学校	大嘉山小	—	—	—	—	1	1	0	0	—	—	—	—	—	1	1	1	1	1	1
		中学校	嘉数中	—	—	—	—	1	1	0	0	—	—	—	—	—	1	1	1	1	0	0
（肢体）	小学校	普天間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	
		宜天間第二	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	0	0	2	1	1	1	1	1	1	
		宜野湾	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	0	0	0	0	0	
		志真志	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	2	1	
		大謝名	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	1	1	1	
	大はごろも	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1		
中学校	普天間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	
	志真志	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
（病弱）	小学校	普天間第二山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	
		長田	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	2	1	2	1	2	1	1	1
		真志喜	—	—	—	—	—	—	2	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
	中学校	嘉数	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1	2	1	5	1	2	1	1	0	0	0
普天間		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	
計			—	—	—	—	2	2	3	2	7	4	10	8	16	10	12	10	11	10	12	11
合計			242	42	318	54	402	65	475	72	539	82	577	92	638	104	618	97	669	107	646	102
幼稚園	普天間第二	8	2	2	2	3	1	0	0	2	2	5	1	3	2	5	1	3	2	1	1	
	普天間第二山	3	1	4	2	4	1	2	2	2	2	5	1	1	1	5	1	3	1	7	2	
	大謝名	2	1	1	1	3	1	7	3	7	3	5	2	3	1	5	2	7	2	4	1	
	大謝名	1	1	2	1	6	2	1	1	2	1	2	1	1	1	2	1	8	3	3	1	
	嘉数	5	2	10	4	8	2	11	1	7	2	7	2	6	2	7	2	4	2	6	2	
	志真志	2	1	4	2	5	1	8	1	7	3	2	1	3	2	2	1	6	3	10	3	
	宜野湾	2	1	2	1	2	1	4	1	3	2	7	2	7	2	7	2	10	2	7	2	
	長田	3	1	2	1	7	3	5	2	4	1	4	2	5	1	4	2	5	2	5	2	
はごろも	1	1	4	2	9	1	9	3	3	2	4	2	5	1	4	2	7	3	5	2		
計（※）	27	11	31	16	47	13	47	14	37	18	41	14	34	13	41	14	53	20	48	16		

(6) 就学援助制度(要保護・準要保護)認定児童生徒の推移

各年3月31日

年 度	学校 区分	小学校											中学校						小 中 学 校 合 計
		普 天 間	普 天 間 第 二	大 山	は ご ろ も	大 謝 名	嘉 数	志 真 志	宜 野 湾	長 田	そ の 他	小 学 校 計	普 天 間	真 志 喜	嘉 数	宜 野 湾	そ の 他	中 学 校 計	
2019年 (令1)	要保護	5	20	9	6	11	23	21	10	1	0	106	17	19	27	10	0	73	179
	準要保護	153	136	153	133	113	148	182	201	114	10	1,343	165	213	203	187	22	790	2,133
	計	158	156	162	139	124	171	203	211	115	10	1,449	182	232	230	197	22	863	2,312
	在籍	606	636	633	921	564	859	792	831	688	—	6,530	636	866	731	630	—	2,863	9,393
	割合(%)	26.1	24.5	25.6	15.1	22.0	19.9	25.6	25.4	16.7	—	22.2	28.6	26.8	31.5	31.3	—	30.1	24.6
2020年 (令2)	要保護	7	15	11	8	9	14	9	8	7	0	88	12	21	25	14	0	72	160
	準要保護	159	128	144	139	122	155	182	177	105	14	1,325	153	185	180	183	23	724	2,049
	計	166	143	155	147	131	169	191	185	112	14	1,413	165	206	205	197	23	796	2,209
	在籍	601	630	623	918	587	877	794	846	695	—	6,571	609	886	766	626	—	2,887	9,458
	割合(%)	27.6	22.7	24.9	16.0	22.3	19.3	24.1	21.9	16.1	—	21.5	27.1	23.3	26.8	31.5	—	27.6	23.4
2021年 (令3)	要保護	9	17	9	6	12	16	13	9	5	0	96	17	20	26	13	0	76	172
	準要保護	152	141	149	150	131	160	195	196	132	17	1,423	149	222	182	163	23	739	2,162
	計	161	158	158	156	143	176	208	205	137	17	1,519	166	242	208	176	23	815	2,334
	在籍	584	609	604	900	576	909	810	838	714	—	6,544	601	919	770	669	—	2,959	9,503
	割合(%)	27.6	25.9	26.2	17.3	24.8	19.4	25.7	24.5	19.2	—	23.2	27.6	26.3	27.0	26.3	—	27.5	24.6
2022年 (令4)	要保護	11	14	7	6	18	18	11	8	5	0	98	16	20	17	11	0	64	162
	準要保護	128	130	143	163	122	171	220	176	131	27	1,411	161	207	189	155	26	738	2,149
	計	139	144	150	169	140	189	231	184	136	27	1,509	177	227	206	166	26	802	2,311
	在籍	555	572	599	913	608	887	854	837	700	—	6,525	603	938	776	682	—	2,999	9,524
	割合(%)	25.0	25.2	25.0	18.5	23.0	21.3	27.0	22.0	19.4	—	23.1	29.4	24.2	26.5	24.3	—	26.7	24.3
2023年 (令5)	要保護	7	14	6	4	11	11	9	9	4	0	75	19	13	15	9	0	56	131
	準要保護	131	143	136	156	140	184	228	170	139	20	1,447	159	241	197	161	24	782	2,229
	計	138	157	142	160	151	195	237	179	143	20	1,522	178	254	212	170	24	838	2,360
	在籍	547	555	570	896	600	914	859	659	820	—	6,420	601	980	797	707	—	3,085	9,505
	割合(%)	25.2	28.3	24.9	17.9	25.2	21.3	27.6	27.2	17.4	—	23.7	29.6	25.9	26.6	24.0	—	27.2	24.8

※ その他は、区域外就学・琉大附属小中学校・私立小中学校・県立中学校である。

※ 区域外就学とは、一定の手続きを経て、関係市町村教育委員会間で協議をし、他の市町村の学校に就学すること。(学校教育法施行令第9条)

(7) 学校職員数

幼稚園

基準日：令和6年5月1日

職名 幼稚園名	園長 (兼務)	副園長 (※注)	本務職員 ()は産休・育休・ 病休	会計年度任用職員 (4歳5歳担任)	会計年度任用職員 (特別支援担任、 特別支援員)	会計年度任用職員 (預かり保育) ※パート含む	計
普天間	1	1	2	0	1	3	8
普天間第二	1	1	2	1	2	3	10
大山	1	1	1	1	1	3	8
はごろも	1	1	3	1	4	4	14
大謝名	1	1	2	1	1	3	9
嘉数	1	1	2	1	3	3	11
志真志	1	1	3	0	5	4	14
長田	1	1	2	1	1	4	10
宜野湾	1	1	2	1	5	4	14
計	9	9	19	7	23	31	98

※注「副園長」は改正学校教育法で規定する「副園長」とは異なる。

※()は、産休・育休・病休数で、内数。

小学校

基準日：令和6年5月1日

職名 学校名	県 費 職 員							市 費 職 員														その他職員				合計
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	栄養教諭・職員	事務員	事務員	施設管理員	図書司書	A L T	特別支援員	学習支援員	S S W	看護師	介助者	プールの管理員	教員業務支援員	校内自立支援員	部活動指導員	スクールカウンセラー	サポーター	事務員	P T A		
普 天 間	1	0	1	31	1	1	2	1	1	1	2	6	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	1		54	
普天間第二	1	0	1	33	1	0	1	1	1	1	1	3	1	1	1	0	1	1	0	0	1	1	1		52	
大 山	1	0	1	32	1	1	1	1	1	1	1	6	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	1		53	
は ぐ ろ も	1	0	1	41	2	0	2	1	2	1	2	5	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	1		64	
大 謝 名	1	0	1	32	1	1	1	1	1	1	2	5	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	1		53	
嘉 数	1	0	2	50	2	0	2	1	1	1	2	5	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1		71	
志 真 志	1	0	1	43	1	0	2	1	2	1	2	6	1	1	3	1	1	1	0	0	1	0	1		70	
長 田	1	0	1	33	1	1	1	1	2	1	2	5	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	1		56	
宜 野 湾	1	0	1	40	1	1	2	1	1	1	2	5	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	1		62	
計	9	0	10	335	11	5	14	9	12	9	16	46	9	9	4	1	8	9	0	0	8	2	9		535	

中学校

基準日：令和6年5月1日

職名 学校名	県 費 職 員							市 費 職 員														その他職員			合計
	校 長	副 校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	・ 栄 養 教 諭 ・ 職 員	事 務 員	事 務 員	施 設 管 理 員	図 書 司 書	A L T	特 別 支 援 員	学 習 支 援 員	S S W	看 護 師	介 助 者	プ ール の 管 理 員	教 員 業 務 支 援 員	校 内 自 立 支 援 員	部 活 動 指 導 員	ウ ン ス ケ ー ラ ー	サ ポ ー タ ー	ス ク ー ル 事 務 員	P T A	
普 天 間	1	0	1	41	1	0	2	1	1	1	1	3	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	1	60
真 志 喜	1	1	1	55	2	0	2	1	1	1	1	3	1	0	0	0	1	0	0	1	2	1	1	76	
嘉 数	1	0	1	50	2	0	2	1	1	1	1	3	1	0	0	0	0	1	0	1	1	1	1	69	
宜 野 湾	1	0	1	41	1	0	2	1	1	1	1	3	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	58	
計	4	1	4	187	6	0	8	4	4	4	4	12	4	0	0	0	2	2	2	4	5	2	4	263	

※教諭は、再任用者、会計年度任用職員、非常勤講師を含む。

※病休・産休・育休・休職等は除く。

※普天間小のALT1名は普天間第二小と兼務である。大謝名小のALT1名は大山小と兼務である。

Ⅲ 教育施設

1. 基本方針

《学校等施設・設備の充実》

学校施設は児童生徒の学習及び生活の場として良好な環境を確保すると共に、障がいのある児童生徒にも配慮し、防災性・防犯性など安全性を備えた安心感のある施設環境を形成していきます。

社会教育施設等に関しても、施設利用者ニーズに沿った機能向上や維持管理・保全に努めていきます。

《主な取組内容》

■全ての学校施設の耐震化の確保に取り組みます。

・旧耐震基準の市立学校施設の整備を計画的に行っていきます。

■施設・設備の老朽化対策と併せた学習環境等の機能向上を図ります。

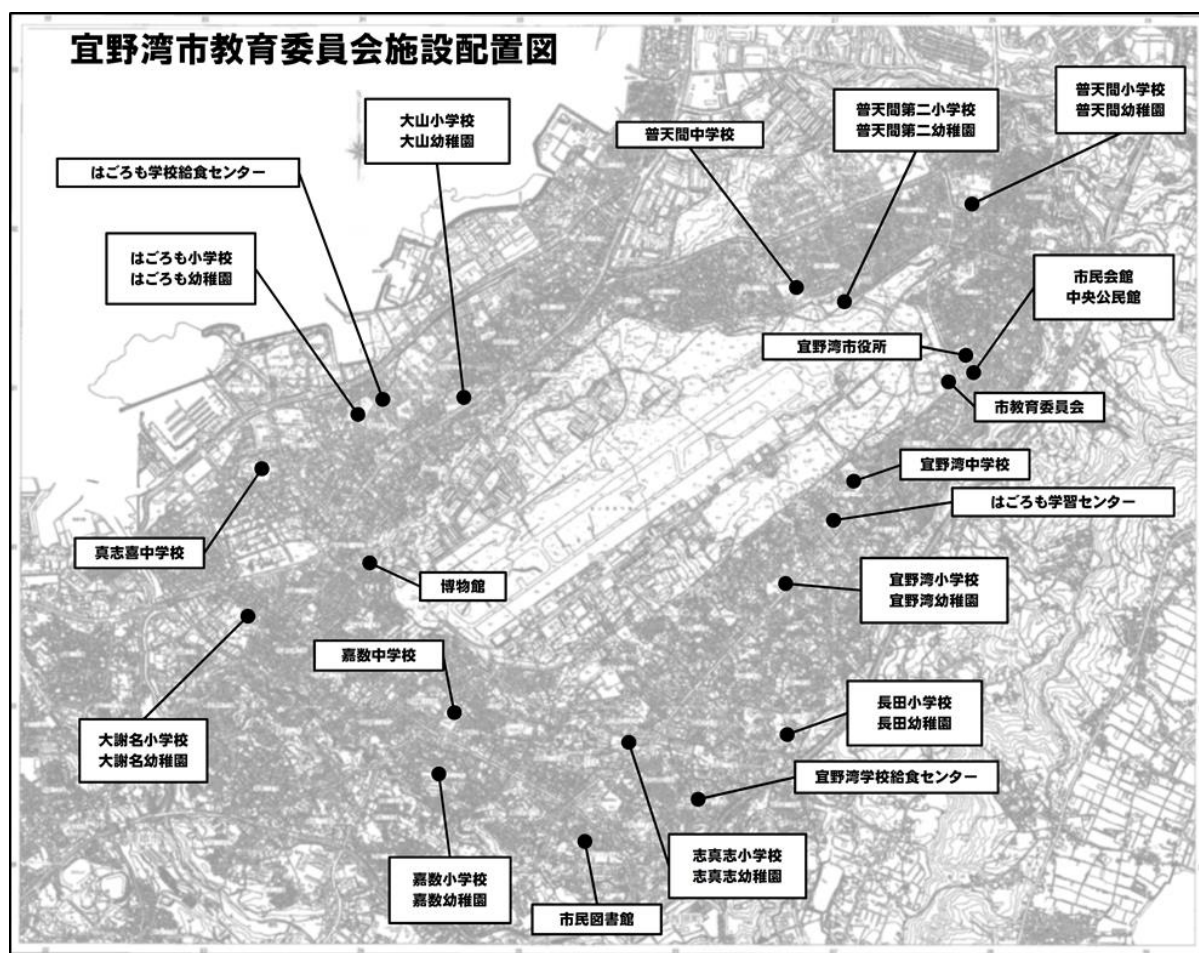
・経年劣化による施設・設備の機能低下に対し、宜野湾市学校施設等長寿命化計画等に基づき、計画的に改善に取り組みます。

・学校からの要望に応じた環境整備の充実に取り組みます。

■避難所として必要な機能の確保に努めます。

・地域の避難所となる学校施設等の防災機能の整備については、防災担当部局や関係部署とも役割分担しながら、避難所として必要な機能の確保に努めてまいります。

2. 施設配置図



3. 学校教育施設

(1) 幼稚園

学 校 名 TEL	普天間幼稚園 892-2665	普天間第二幼稚園 892-4430	大山幼稚園 897-6193	はごろも幼稚園 942-2050	大謝名幼稚園 897-4154
〒 所 在 地	〒901-2202 普天間 1-10-1	〒901-2201 新城 2-8-19	〒901-2223 大山 5-16-1	〒901-2223 大山 6-23-1	〒901-2225 大謝名 5-12-1
建物面積(m ²)※1	574	683	640	957	749
建 物 構 造	RC造	RC造	RC造	RC造	RC造
建物敷地面積(m ²)	1,893	1,626	1,353	2,490	2,136
建築年月※2	平成 7 年 3 月	平成 8 年 3 月	平成 5 年 2 月	平成 26 年 3 月	平成 18 年 2 月

学 校 名 TEL	嘉数幼稚園 898-6243	志真志幼稚園 892-1501	長田幼稚園 892-2411	宜野湾幼稚園 892-5263
〒 所 在 地	〒901-2215 真栄原 1-13-1	〒901-2211 宜野湾 3-5-1	〒901-2212 長田 3-19-1	〒901-2207 神山 1-1-1
建物面積(m ²)※1	873	974	556	682
建 物 構 造	RC造	RC造	RC造	RC造
建物敷地面積(m ²)	1,310	2,793	1,060	1,326
建築年月※2	平成 7 年 3 月	平成 29 年 11 月	平成 11 年 2 月	平成 13 年 3 月

※1 建物面積は施設台帳上の現有面積を記載。

※2 一部増改築がある場合は、主たる建物の最も古い建築年月を記載。

(2) 小学校

学 校 名 TEL	普天間小学校 892-3359	普天間第二小学校 892-2424	大山小学校 897-2174	はごろも小学校 942-2040	大謝名小学校 897-2100
〒 所 在 地	〒901-2202 普天間 1-10-1	〒901-2201 新城 2-8-19	〒901-2223 大山 5-16-1	〒901-2223 大山 6-23-1	〒901-2225 大謝名 5-12-1
建物面積(m ²)※1	7,079	6,912	6,586	7,520	6,550
建 物 構 造	RC造	RC造	RC造	RC造	RC造
建物敷地面積(m ²)	14,600	9,697	5,826	13,210	15,937
運動場敷地面積(m ²)	7,300	8,826	8,829	6,970	7,770
建築年月※2	令和 5 年 2 月	平成 8 年 1 月	平成 2 年 12 月	平成 26 年 2 月	平成 13 年 11 月

学 校 名 TEL	嘉数小学校 898-2630	志真志小学校 892-1502	長田小学校 892-1177	宜野湾小学校 892-3006
〒 所 在 地	〒901-2215 真栄原 1-13-1	〒901-2211 宜野湾 3-5-1	〒901-2212 長田 3-19-1	〒901-2207 神山 1-1-1
建物面積(m ²)※1	7,720	7,720	5,667	7,219
建 物 構 造	RC造	RC造	RC造	RC造
建物敷地面積(m ²)	15,180	9,961	12,954	13,887
運動場敷地面積(m ²)	7,027	12,292	8,720	5,804
建築年月※2	平成 22 年 2 月	令和元年 7 月	平成 11 年 3 月	平成 6 年 2 月

※1 建物面積は施設台帳上の現有面積を記載。

※2 一部増改築がある場合は、主たる建物の最も古い建築年月を記載。

(3) 中学校

学 校 名 TEL	普天間中学校 892-3328	真志喜中学校 897-3651	嘉数中学校 898-2642	宜野湾中学校 893-1397
〒 所 在 地	〒901-2201 新城 2-41-1	〒901-2224 真志喜 3-19-1	〒901-2214 字我如古 423 番地	〒901-2205 赤道 1-15-1
建物面積(㎡)※ ¹	7,224	8,170	8,280	6,832
建 物 構 造	RC造	RC造	RC造	RC造
建物敷地面積(㎡)	14,210	15,376	8,656	12,121
運動場敷地面積(㎡)	9,015	13,038	8,189	10,427
建築年月※ ²	昭和 61 年 3 月	平成 24 年 3 月	平成 19 年 10 月	昭和 61 年 2 月

※¹ 建物面積は施設台帳上の現有面積を記載。

※² 一部増改築がある場合は、主たる建物の最も古い建築年月を記載。

(4) 学校給食センター

施 設 名 TEL	宜野湾学校給食センター 898-4541	はごろも学校給食センター 897-8560
〒 所 在 地	〒901-2213 志真志 3-16-1	〒901-2223 大山 6-30-1
建物面積(㎡)	1,206	2,767
敷地面積(㎡)	2,873	7,868
建 築 年 月	平成 16 年 4 月	平成 29 年 2 月

※ 普天間第二・真志喜学校給食センターは、平成 29 年 4 月において運用停止の為、表記より削除。

※ 大山学校給食センターは、令和 5 年 3 月において運用停止の為、表記より削除。

(5) はごろも学習センター

名 称・TEL	宜野湾市はごろも学習センター 893-6077
〒・所 在 地	〒901-2205 赤道 1-5-17
建 物 面 積(㎡)	1,089
開 設 年 月	平成 14 年 9 月

4. 社会教育施設等

名 称 TEL	宜野湾市民会館 893-4433	宜野湾市立中央公民館 893-4436	宜野湾市民図書館 897-4646	宜野湾市立博物館 870-9317
〒 所 在 地	〒901-2203 野嵩 1-1-2		〒901-2214 我如古 3-4-10	〒901-2224 真志喜 1-25-1
建物面積(㎡)	4,379	1,620	4,887	1,999
建物構造	RC造 地下 1F・地上 3F		RC造 地下 1F・地上 2F	RC造 地下 1F・地上 2F
敷地面積(㎡)	7,533		6,580	4,710
建築年月	昭和 57 年 12 月		平成 3 年 6 月	平成 11 年 3 月

5. 学校敷地の状況

事項 学校名		校 舎 敷 地		運 動 場 敷 地		実験実習地、その他		合 計		備 考
		現 有 面 積		現 有 面 積		現 有 面 積		現 有 面 積		
		保有面積	借用面積	保有面積	借用面積	保有面積	借用面積	保有面積	借用面積	
		(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	
小 学 校	普 天 間	160	14,440		7,300			160	21,740	一部借用
	普 天 間 第 二	8,593	1,104	8,826				17,419	1,104	一部借用
	大 山	5,826		8,829				14,655	0	
	は ご ろ も	11,367	1,843	6,970				18,337	1,843	一部借用
	大 謝 名	15,937		7,770				23,707	0	
	嘉 数	15,180		7,027				22,207	0	
	志 真 志	9,961		12,292				22,253	0	
	長 田	9,243		8,720		3,711		21,674		
	宜 野 湾	13,823	64	5,804				19,627	64	一部借用
	計	90,090	17,451	66,238	7,300	3,711	0	160,039	24,751	
中 学 校	普 天 間	14,210		9,439				23,649	0	
	真 志 喜	15,376		13,038				28,414	0	
	嘉 数	8,656		8,189				16,845	0	
	宜 野 湾	12,006		10,427		115		22,548	0	
	計	50,248	0	41,093	0	115	0	91,456	0	
幼 稚 園	普 天 間		1,893					0	1,893	全敷地借用
	普 天 間 第 二	1,626						1,626	0	
	大 山	1,353						1,353	0	
	は ご ろ も	2,490						2,490	0	
	大 謝 名	2,136						2,136	0	
	嘉 数	1,310						1,310	0	
	志 真 志	2,793						2,793	0	
	長 田	1,060						1,060	0	
	宜 野 湾	1,326						1,326	0	
	計	14,094	1,893	0	0	0	0	14,094	1,893	
小中幼・合計		154,432	19,344	107,331	7,300	3,826	0	265,589	26,644	

6. 学校校舎の必要面積と保有状況

学校名		事項	生徒数 ※2	学級 数 ※2	校 舎						屋 内 運 動 場				水泳 プール (㎡)	備 考	
					必要面積 (㎡)	校 舎 保 有 面 積				保有率 (%)	整備資格 面積(㎡)	必要面積 (㎡)	保有面積 (㎡)	保有率 (%)			整備資格 面積(㎡)
						R C造	木造	その他	計※1								
小学校	普 天 間	530	26	7,029	7,079	0	0	7,079	100.71	0	1,215	1,215	100.00	0	400		
	普天間第二	542	27	7,684	6,912	0	0	6,912	89.95	772	1,215	1,101	90.62	114	400		
	大 山	589	27	7,029	6,586	0	0	6,586	93.70	443	1,215	1,173	96.54	42	400		
	は ご ろ も	889	36	9,119	7,520	0	0	7,520	82.47	1,599	1,215	1,215	100.00	0	400		
	大 謝 名	588	27	7,029	6,389	0	158	6,550	93.19	479	1,215	1,266	104.20	0	400		
	嘉 数	906	36	9,119	7,720	0	0	7,720	84.66	1,399	1,215	1,215	100.00	0	400		
	志 真 志	870	36	9,317	7,720	0	0	7,720	82.86	1,597	1,215	1,238	101.89	0	400		
	長 田	663	29	7,413	5,613	0	53	5,667	76.45	1,746	1,215	930	76.54	285	400		
	宜 野 湾	793	35	8,365	7,219	0	0	7,219	86.30	1,146	1,215	1,295	106.58	0	400		
	計	6,370	279	72,104	62,758	0	211	62,973	87.34	9,181	10,935	10,648	97.38	441	3,600		
中学校	普 天 間	618	25	6,785	7,224	0	0	7,224	106.47	0	1,476	1,335	90.45	141	400		
	真 志 喜	946	34	9,465	8,170	0	0	8,170	86.32	1,295	1,476	1,550	105.01	0	400		
	嘉 数	821	31	8,746	8,280	0	0	8,280	94.67	466	1,476	1,240	84.01	236	400		
	宜 野 湾	709	25	8,081	6,828	0	4	6,832	84.54	1,249	1,476	1,078	73.04	398	400		
	計	3,094	115	33,077	30,502	0	4	30,506	92.23	3,010	5,904	5,203	88.13	775	1,600		
幼稚園	普 天 間	22	2	516	574	0	0	574	111.24	0							
	普天間第二	50	2	516	683	0	0	683	132.36	0							
	大 山	24	2	516	595	0	44	640	124.03	0							
	は ご ろ も	61	3	725	957	0	0	957	132.00	0							
	大 謝 名	39	2	516	749	0	0	749	145.16	0							
	嘉 数	42	2	516	873	0	0	873	169.19	0							
	志 真 志	58	3	725	974	0	0	974	134.34	0							
	長 田	24	2	516	556	0	0	556	107.75	0							
	宜 野 湾	40	2	516	682	0	0	682	132.17	0							
	計	360	20	5,062	6,643	0	44	6,688	132.12	0							
小中幼・合計		9,824	414	110,243	99,903	0	259	100,167	90.86	12,191	16,839	15,851	94.13	1,216	5,200		

※1 計(RC造+木造+その他)は、木造、その他の実面積をRC換算した値の合計のため多少のずれがあります。

※2 生徒数・学級数は支援学級児童生徒数・支援学級数を含む。(少人数加配実施による学級数を含む。)

7. 宜野湾市立学校施設の耐震化状況集計表

令和6年5月1日現在

種 別	建 物 区 分	全 棟 数	耐震性がある 建物の棟数	耐震補強が必要及び 耐震性の確認を必要と する建物の棟数	耐震化率(%)
		A= (B+C)	B	C	D= (B/A)
		※ 1		※ 2	
小学校 (9校)	校 舎	22	22	－	100.0%
	体育館	9	9	－	100.0%
	計	31	31	－	100.0%
中学校 (4校)	校 舎	13	13	－	100.0%
	体育館	4	4	－	100.0%
	計	17	17	－	100.0%
計（小・中学校）		48	48	－	100.0%
幼稚園 (9園)	園 舎	9	9	－	100.0%
合計（小・中学校・幼稚園）		57	57	－	100.0%

※1 非木造の2階以上または延べ面積 200 m²超の建物が対象。

※2 詳細な耐震診断(第2次診断)により、耐震性が確認される可能性のある棟数も含まれる。

IV 学校給食

1. 基本方針

学校給食を学校教育の一環として位置づけ、調理場の運営は共同調理場方式を中心とし、施設はドライシステムを導入し、学校給食のさらなる安全、充実を目指す。

- (1) 学校給食を通して食の教育を充実し、児童生徒の心身の健全な発達及び健康の保持増進を図る。
- (2) 学校生活の活力や豊かな心を育むため、多様な食品を組み合わせ栄養的にバランスのとれた食事を提供する。
- (3) 学校給食は、児童生徒の一日の食生活の一部を担っているので、学校給食センター・学校・家庭は、児童生徒の健全な成長を援助するために連携を密にする。
- (4) 地域の産物を取り入れ（給食週間など）、児童生徒が地域社会と一体感をもち、その一員としての好ましい人間関係を築けるよう推進する。
- (5) 徹底した衛生管理のもと、良好な設備のもとで給食づくりを推進する。

2. 重点目標

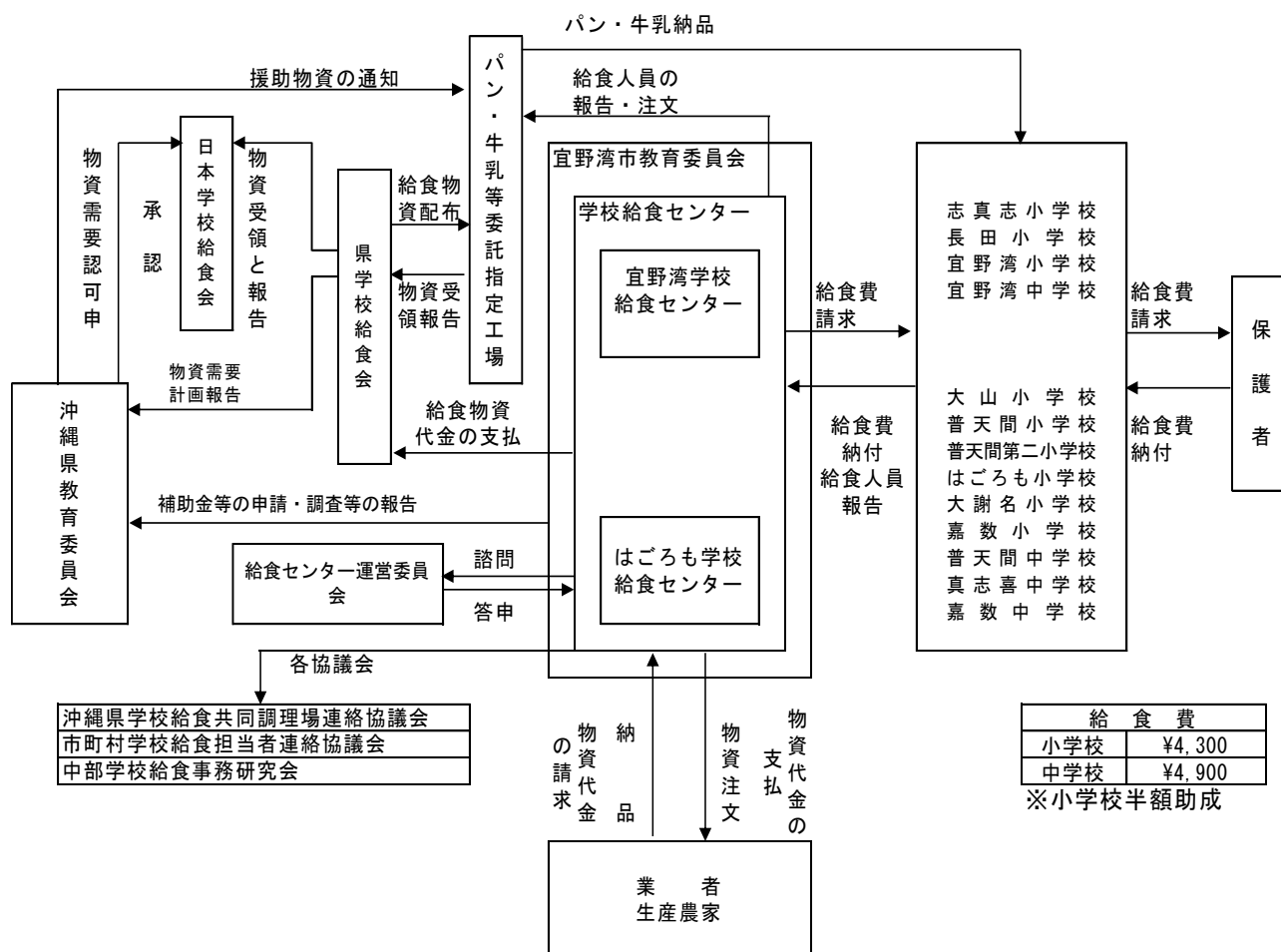
- (1) 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図る。
- (2) 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養う。
- (3) 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養う。
- (4) 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養う。
- (5) 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養う。
- (6) 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深める。
- (7) 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導く。

（上記は、『学校給食法』第2条に基づく）

3. 機構図

(令和6年5月1日現在)			食数	
学校給食センター (3,245食)		学校名	児童生徒数	(職員含)
・係長	1	志真志小学校	870名	927
・主査	1	長田小学校	663名	699
・栄養教諭又は栄養職員(県費)	2	宜野湾小学校	793名	851
・会計年度任用職員	2	宜野湾中学校	709名	744
・調理員(委託)	18	計	3,035名	3,221
小計	24			
はごろも学校給食センター (6,846食)		学校名	児童生徒数	食数(職員含)
・所長	1	普天間小学校	530名	574
・係長	1	普天間第二小学校	542名	583
・主査	2	はごろも小学校	888名	938
・栄養教諭又は栄養職員(県費)	3	大山小学校	589名	618
・調理員(委託)	42	大謝名小学校	588名	623
小計	49	嘉数小学校	906名	958
		普天間中学校	618名	663
		真志喜中学校	946名	978
		嘉数中学校	821名	862
		計	6,428名	6,797

4. 学校給食運営図



5. 食育への取り組み

学校給食では、義務教育の9年間を通して、計画的継続的に食に関する指導を行う。栄養豊かな食事の提供だけではなく、給食の時間をはじめ、各教科等の時間において「食」に関する指導の教材として学校給食を活用している。また、学校給食の実情を把握し今後の学校給食の更なる充実発展を図ることを目的に、全国学校給食週間(1月24日～30日)にあわせ、食育の重要性について学校・家庭・地域へ広く周知している。

(1) 授業で学ぶ

【食育授業】

小学校及び中学校学習指導要領に基づき、学級担任と一緒に食育の授業を行っている。児童生徒にとって望ましい食生活を身につけるため、必要な指導を行っている。



栄養士による食育授業



はごろも学校給食センター見学

(2) 給食の時間で学ぶ

【特色ある給食】

毎月第3木曜日の「琉球料理の日」には郷土料理、毎月19日の「食育の日」には郷土料理や和食を提供している。7月1日の「宜野湾市民の日」には郷土のお祝い料理、11月1日の「宜野湾教育の日」には健脳食献立、2月6日の「ターンムの日」には田芋利用の献立、年度末は小6・中3生を対象に「お楽しみ給食」を提供し、思い出になるように取り組んだ。



「シイラの姿揚げ」
(宜野湾学校給食センター)



お楽しみ給食



○今日の献立
(宜野湾市学校
給食センターHP)

(3) 体験的な学習を通して学ぶ

【総合的な学習の時間】

より望ましい職業観や勤労観を得ることを目的としたキャリアスタートウィーク(職場体験学習)等についてはコロナ禍が落ち着いたため再開し、令和5年度は市内中学校1学年を受入れた。

6. 地産地消への取り組み

学校給食センターでは、生産農家と連携を図り、市内産及び県産の食材を学校給食で利用する地産地消への取り組みを進めている。

これらの農産物は、生産者の顔が見える「安全・安心」な食材として児童・生徒に提供される。

※地産地消…その地域で作られた農産物・水産物をその地域で消費すること。



7. 学校給食における食物アレルギーへの取り組み

(1) 基本的な考え方

- ①食品表示法における表示義務食品のうち7品目(えび・かに・小麦・そば・卵・乳・落花生(ピーナッツ))を除去食対応とする。
- ②食物アレルギー対応等の希望がある場合は、保護者に医療機関で受診すること(生活管理指導票で可)を義務付け、原則、毎年11月末日までに学校給食食物アレルギー対応申請書の提出、1月末日までに診断書等の関係書類の提出を求めている。
- ③学校給食のアレルギー対応は、医師の診断と指示において行う。学校及び学校給食センターは、保護者、医師と共に正しい診断に基づく適切な対応を図っている。
- ④通常2月には、学校、保護者、学校給食センターとのアレルギー処遇会議における個別面談で申請内容及び詳細な情報を把握する。
- ⑤食物アレルギー処遇会議において対応内容を検討し、決定内容については、学校から教育委員会に報告する。

(2) 学校給食でのアレルギー対応

- ①教育委員会は、各学校の状況を的確に把握し対応するための体制を確立し、人的及び物理的環境の整備を図っていく。学校は整えた環境の中で最良の対応が実現できるよう努めている。
ア 教育委員会は衛生及び危機管理体制を整え、学校は、学校教職員全員の共通理解や研修等を通じて資質の向上を図る。
イ 学校は、食物アレルギー対応児童生徒の対応食の喫食状況等を確認する。
- ②献立内容を各家庭に事前に周知し、保護者の理解を得ると共に学級において、他の児童生徒が対応を思いあい、いじめのきっかけにならないように十分配慮し、また、誤食の防止に努める。
- ③学校給食センターは、食物アレルギー処遇会議の決定内容について、委託業者等に通知し、食物アレルギー給食内容の確認を行い、コンタミネーション(混入)や誤食が無いように周知徹底を図る。
- ④学校は、児童生徒がアナフィラキシー症状及びアナフィラキシーショックを発症した場合に迅速な対応が重要となるため、緊急時の対応方法を全教職員に周知徹底する。

(3) 対応方法

- ①詳細な献立表対応：食品表示法における表示義務食品・推奨食品 28 品目（えび・かに・くるみ・小麦・そば・卵・乳・落花生（ピーナッツ）・アーモンド・あわび・いか・いくら・オレンジ・カシューナッツ・キウイフルーツ・牛肉・ごま・さけ・さば・大豆・鶏肉・バナナ・豚肉・マカダミアナッツ・もも・やまいも・りんご・ゼラチン）を記入した献立表を各家庭に配布する。
- ②除去食対応：申請のあったアレルギーを除いた給食を提供する。
- ③弁当対応：「完全弁当対応」と「一部弁当持参」とする。

(4) 児童生徒への指導

食に関する問題を抱える児童生徒に対しては、学校において指導体制を整備し、全教職員が共通理解のもと、保護者と連携して個別の事情に応じた対応や相談・指導を行う。児童生徒にとって望ましい食生活の形成と自己管理能力の育成を図る。

8. 学校給食の栄養量

学校給食の栄養量は、厚生労働省が示す「日本人の食事摂取基準」をもとに、児童生徒の家庭における栄養摂取量の数値を考えあわせ、学校給食の摂取基準が定められている。

児童又は生徒1人1回あたりの学校給食摂取基準

区 分	基 準 値			
	児童 (6～7 歳) の場合	児童 (8～9 歳) の場合	児童 (10～11 歳) の場合	児童 (12～14 歳) の場合
エネルギー(kcal)	530	650	780	830
たんぱく質(%)	学校給食による摂取エネルギー全体の 13%～20%			
脂 質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の 20%～30%			
ナトリウム(g)(食塩相当量)	1.5 未満	2 未満	2 未満	2.5 未満
カルシウム(mg)	290	350	360	450
マグネシウム(mg)	40	50	70	120
鉄(mg)	2	3	3.5	4.5
ビタミン A(μ gRAE)	160	200	240	300
ビタミン B ₁ (mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミン B ₂ (mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミン C(mg)	20	25	30	35
食物繊維(g)	4 以上	4.5 以上	5 以上	7 以上

(注) 1 表に挙げるもののほか、次のものについてもそれぞれ示した摂取量について配慮

亜鉛……児童(6 歳～ 7 歳) 2mg、児童(8 歳～ 9 歳) 2mg、

児童(10 歳～11 歳) 2mg、生徒(12 歳～14 歳) 3mg

2 この摂取基準は、全国的な平均値を示したものであるから、適用に当たっては、個々の健康及び生活活動等の実態並びに地域の実情等に十分配慮し、弾力的に運用すること。

3 献立の作成に当たっては、多様な食品を適切に組み合わせるよう配慮すること。

(令和 3 年文部科学省告示第 10 号より)

V はごろも学習センター

1. 基本方針

宜野湾市はごろも学習センターは、教員の研修、教育研究、幼児児童生徒の健やかな成長に関する相談・支援、教育の情報化に関する支援、教育情報機器の維持・管理に努め、本市における教育課題の解明と解決にあたる。

また、不登校や非行、深夜はいかい等の問題行動に対応するため、相談支援業務や青少年健全育成に取り組んでいく。

2. 重点施策

(1) 教育研究所

- ① 本市教育の今日的教育課題解決のための調査・研究や、学校のニーズに対応する研修の在り方・課題を的確に捉え、研究・実践をする。
- ② 宜野湾市内の教育課題に対し、その解決方策について共に考え研究、支援する。
- ③ 教員の実践的指導力を高めるための研修を実施し、「学び続ける教員像の確立」を支援する。
- ④ 教育の情報化を推進し、ICT 機器を活用した校務支援や教員の授業力向上に取り組む。また、GIG Aスクール構想に基づき整備した児童生徒1人1台端末を活用した授業づくりの支援に取り組む。
- ⑤ 研究資料や教育情報等の収集に努め、参考文献や図書、関係資料の活用を促進する。

(2) 適応指導教室「若葉教室」

- ① 不登校児童生徒を支援し、学校適応に努める。
- ② 教育相談業務を充実させ、不登校児童生徒の「居場所づくり」に努める。
- ③ 学校、保護者との連携を密にして信頼関係を築き、児童生徒理解と支援に努める。
- ④ 関係機関との連携や臨床心理士を活用した教育相談の充実に努める。

(3) スクールソーシャルワーカー等活用事業

センターと小学校に配置しているスクールソーシャルワーカー（以後 SSW）が、プラットフォームとなる学校と連携し、様々な課題を抱える児童生徒及び保護者の支援を行い、必要な関係機関につなぐとともに、その置かれた環境に働きかける。

(4) 児童生徒等相談事業

市内在住、市内公立小中学校に在籍する幼児児童生徒、18 歳までの青少年で問題を抱える本人や保護者、教職員に対して相談、支援を行う。

(5) 青少年健全育成

街頭指導員を4中学校区から選出し、青色回転灯を設置した車両による夜間巡回指導を行い、問題行動の未然防止と早期発見、早期対応に努める。

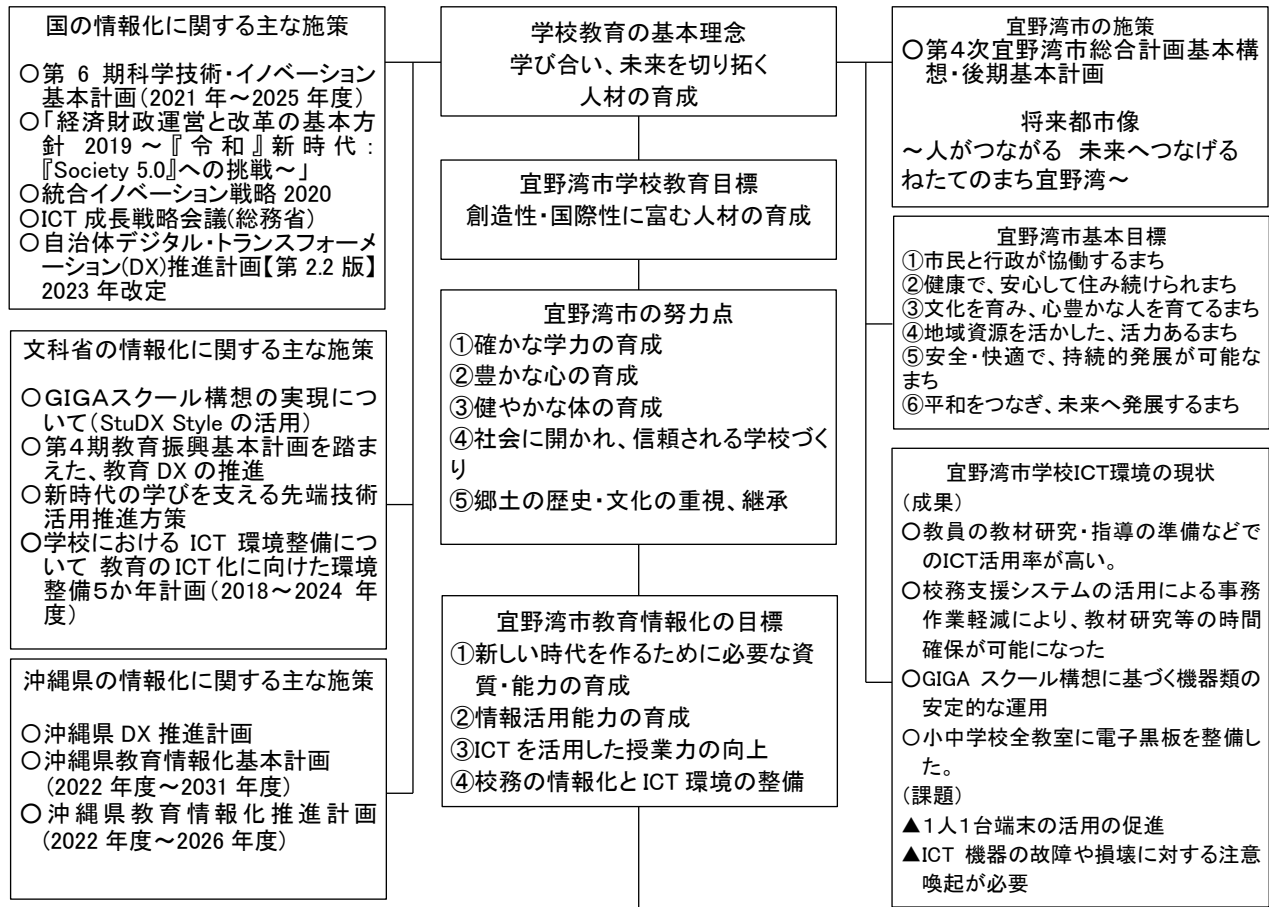
3. 本年度の取り組み

- (1) 長期研究教員による理論研究、実践研究の充実
- (2) 授業改善に資する情報教育研修の充実・強化
- (3) 初任者研修、中堅教諭等資質向上研修、臨時的任用教諭研修の実施
- (4) 諸検査・調査・研究の実施と活用の充実
- (5) 教育研究に関する資料の収集及び情報の発信
- (6) はごろも学習センター運営委員会、はごろも教育ネット、高等教育機関との連携の充実・強化
- (7) 校務支援システムの活用と推進
- (8) 適応指導教室「若葉教室」の活動の充実・強化
- (9) GIGAスクール構想の取り組みと情報モラル教育の推進
- (10) SSW の充実
- (11) 教育相談体制の充実
- (12) 街頭指導業務の継続実施
- (13) 校内自立支援室事業の実施

4. 令和6年度 研修係・管理係 年間事業計画

事業内容			年間スケジュール
研修・教育相談関係	研修関係	初任者研修	年1回
		中堅教諭等資質向上研修	年1回
		臨任研	臨任経験 24 か月未満訪問指導、授業づくり研修会
		職員研修関係	市教職員研修会
		長期研究研修	入所式(10月)、テーマ検討会、中間検討会、検証保育・授業、成果報告会(3月)
	学力調査関係	全国学力学習状況調査	小6、中3調査実施
		標準学力検査	実施説明会及び実施結果説明会(小3、小5、中1)
		総合質問紙調査(iチェック)	実施説明会及び結果活用説明会 年2回実施(小5、中1、中2)
		宜野湾市学力調査	中3調査実施 中1調査実施
		沖縄県学力到達度調査	小3～小6調査実施 中1、中2調査実施
	情報教育研究会		委嘱状交付、研修会、検証授業
	適応指導教室「若葉」関係		開級(4月)、開級式(5月)、支援係との情報交換会(月1回)、宿泊体験、体験活動(随時)、閉級式(3月)
情報教育・校務支援関係	若葉教室・支援係業務説明会		全小中学校に対してオンラインによる業務説明(4月)
	校務支援システム操作研修		担当者向けの校内研修等(随時)
	情報担当者会議の実施		年7回実施
	情報夏季講習会の実施		夏季休業中に各校1回実施
	ICT活用アンケート実施		ICT活用の状況把握のため、アンケートを実施(年2回)
	ICT機器環境の整備		校務用PC、中学校指導者用デジタル教科書、学習者用デジタル教科書整備(英語)
	学校ホームページの支援		ホームページ作成補助、サーバー環境支援等(随時)
	授業支援		電子黒板等を使用した授業の補助や教育コンテンツの提案など、教員の授業支援を実施(随時)
	運用	導入ICT機器・校内LAN障害対応	プリンターやPC等の機器、ネットワーク関連障害への対応(随時)
		セキュリティ対策	デジタル推進課と連携し、セキュリティ対策を実施。情報担当者会議等で注意喚起を実施(随時)
運営関係	はごろも運営委員会		年2回開催
生涯学習	施設利用管理		学校関連団体への施設利用に関する業務(随時)
その他	はごろも教育ネット		年2回開催

5. 令和6年度 宜野湾市教育情報化推進構想図



教育情報化推進の目標 知識基盤社会に主体的に対応できる人材の育成

ICT活用による授業改善の推進 主体的・対話的で深い学びの推進

情報教育の推進(ICT活用能力の育成)	校務の情報化の推進(児童生徒に向き合う時間の確保)
①情報教育の目標の3観点「情報の科学的な理解」「情報活用の実践力」「情報社会に参画する態度」の推進 ②GIGAスクール構想の実現にむけた児童生徒1人1台端末の活用 ③指導者用・学習者用デジタル教科書の効果的な活用 ④各教科等の指導におけるICTの効果的な活用	①校務の情報化を通じた業務の効率化と教育の質の向上 ②教育活動の質の改善(児童生徒に対する教育の質の向上と学校経営の改善と効率化) ③学校におけるICT学習環境の整備・活用促進並びに効果検証の実施

宜野湾市指導行政推進の3つの柱(具体的な取組)

情報担当者会	教職員を対象とした研修会	情報教育研究会
①「GIGAスクール構想」の1人1台端末の操作方法やネットワークの整備について ②学校ICT機器の整備について端末の故障、障害等の対応について ③ホームページの作成・更新について ④校務支援システムの活用について	①情報夏季講習会の実施 ・1人1台端末を活用した授業づくり ・学習支援ソフト等操作研修 ・情報モラル・情報セキュリティに関する研修 ②教育情報化に関する情報共有、提供 ・情報モラル教育 ・ICTを活用した授業づくり、実践	①「GIGAスクール構想」の実現に向け、児童生徒1人1台端末を活用した授業の実践研究 ②児童生徒の発達段階に応じた情報活用能力の育成や授業研究 ③GIGAスクール先進校モデル授業の情報提供 ④情報モラル・情報セキュリティ教育の推進

6. 適応指導教室「若葉教室」の概要

1. 目 的

不登校児童生徒の問題の解決は、本市における学校教育上の重要な課題となっている。このような状況に対し、心理的・情緒的不安による不登校児童生徒を支援し学校適応を促進するために、適応指導教室「若葉教室」を設置する。

2. 設置場所 宜野湾市はごろも学習センター 内

3. 配置職員 特別実務研修員(担当教諭)、適応指導員(2名)

4. 開設・指導日時及び休業日

- ・ 開 級: 4月 ・開級式: 5月 ・閉級式: 3月
- ・ 指導日時: 月～金曜日の週5日間 午前9時～午後2時(水曜日は、12時15分までとする)
- ・ 休 業 日: 宜野湾市内の市立小中学校に準ずるものとする。

5. 支援対象

- (1) 宜野湾市内の公立小中学校に在籍し、心理的・情緒的不安等による不登校で、適応指導教室における支援が必要と判断され、適応指導教室に通う意欲を持っている児童生徒を対象とする。(ただし、精神疾患によるものは除く。)
- (2) 学校復帰を前提に適応指導教室に通う意思を持っており、以下に示す状態がみられる児童生徒を対象とする。
 - ①学校に行く意思はあるが行けない。
 - ②登校時になると、身体症状を呈する。(腹痛、頭痛、下痢、嘔吐、蕁麻疹、発熱等)
 - ③家に閉じこもり、ほとんど外出しない。
 - ④級友や担任が家庭訪問しても会いたがらない。
 - ⑤対人に対する緊張が強く、他と交流したくない。
 - ⑥学校復帰する意思がある。
 - ⑦入退級判定委員会で入級と判定された者。

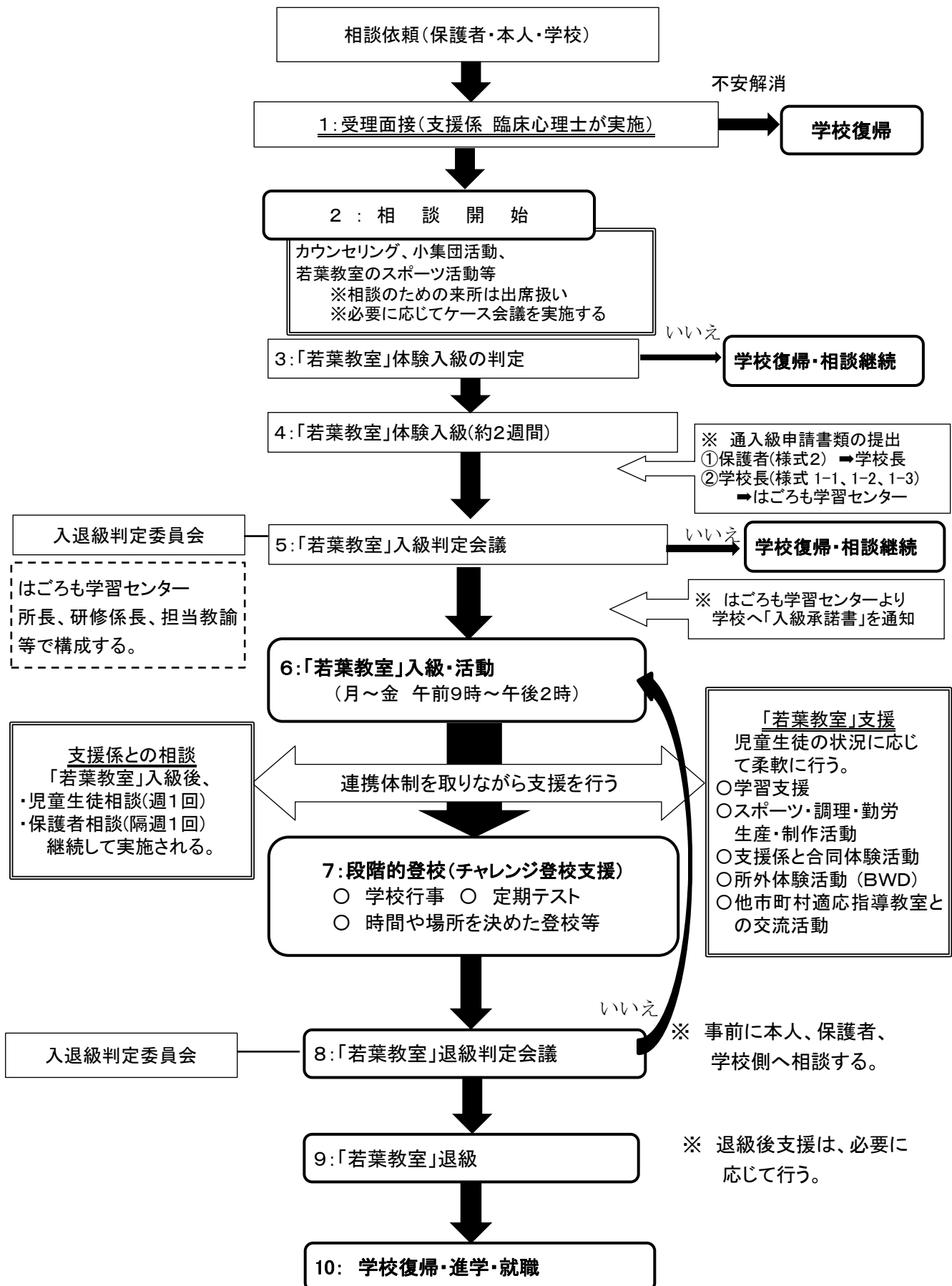
6. 入退級判定会議

宜野湾市教育委員会内で入退級判定委員会を組織し、適応指導教室への入退級判定を行う。判定委員は、はごろも学習センター所長、研修係長、適応指導教室担当教諭等で構成する。

7. 支援・指導の方針

- (1)指導員や同年齢、異年齢の仲間と心のふれあいを深めながら、信頼関係の確立と情緒の安定を図り、通級に対する不安を和らげる。
- (2)小集団においての体験学習や遊びを通して、生活体験を広げると共に、集団生活に参加しようとする意欲の向上を図る。
- (3)小集団活動や個人活動及び面談等を交えながら、基本的な生活習慣の見直しや対人関係におけるコミュニケーション能力の育成を図る。
- (4)関係職員及び保護者の研修を通して、児童生徒の理解を図る。
- (5)家庭・学校・関係機関との連携を深め、児童生徒の学校復帰を支援する。

8. 入級までの手順と学校復帰へのプロセス



7. 令和6年度 適応指導教室「若葉教室」

(1) 年間活動計画

月	主行事	若葉諸活動	沖適連・県総合教育センター
	☐ 儀式的学校行事 ☆若葉教室主行事 ○はごろも学習センター行事	★BWD(月1回程度) ☐ 体験及び制作・調理実習等 ○交流・講師招聘	☆担当者連絡会 ■研修会・講演会等 ○生徒交流会・保護者交流会
4月	☐ 小中学校一学期始業式及び 中学校入学式 ☐ 小学校入学式 ○若葉教室・支援係業務説明会	☐ 制作 ウッドクラフト ☐ 体験 古紙仕分け・搬入 ☐ 制作 ペットボトル小物入れ	☆担当者連絡会①
5月	☆若葉教室開級式	☐ 体験 苗植え準備 ☐ 体験 野菜の苗植え ☐ 制作 美術課題 ☐ 体験 古紙仕分け ☐ 調理 サンドイッチ	☆担当者連絡会② ■幹事会・総会 ■教育相談員等研修会①
6月		☐ 調理 ヒラヤーチー ★第1回:平和祈念公園見学 ☐ 制作 アイロンビーズ	☆担当者連絡会③ ■教育相談員等研修会② ■教育相談員等研修会③
7月	☆若葉教室三者面談① ○はごろも運営委員会① ☐ 一学期終業式	☐ 制作 スライム作り ○交流 お楽しみレク ★第2回:県立博物館&モノレール見学	■教育相談員等研修会④○ 子どもの心を理解する保護者 交流会 ■第1回担当者研修会
8月	☆原籍校教諭による出前授業 ☐ 小・中学校二学期始業式	○交流 お楽しみレク ○交流 原籍校教師による出前授業	■第2回担当者研修会
9月		☐ 交流 アーリーバード ☐ 体験 講師「生け花教室」 ★第3回:ヤクルトコミュニティプラザ沖縄	■教育相談員等研修会⑤ ☆担当者連絡会④ ○子どもの心を理解する保護者交流会②
10月	○研究教員入所式	☐ 体験 古紙仕分け ☐ 体験 ポッチャ ★第4回:ボウリング体験 ☐ 制作 ハロウィン制作 ☐ 体験 花植え	○渡嘉敷いきいき自然体験キャンプ ☆担当者連絡会⑤ ■沖適連講演会
11月		☐ 調理 クッキー作り ★第5回:沖適連スポーツ交流会 ☐ 学習 テスト ☐ 調理 おイモ料理	○スポーツ交流会 ☆担当者連絡会⑥ ■教育相談員等研修会⑥
12月	☆若葉教室三者面談② ☐ 小中学校二学期終業式	☐ 体験 古紙回収まとめ・搬入 ★第6回:体験活動交流会 ☐ 制作クリスマス制作 ☐ 調理ケーキ作り	☆担当者連絡会⑦ ○体験活動交流会 ○子どもの心を理解する保護者交流会③
1月	☐ 小中学校三学期始業式	★第7回:初詣 ○交流 ゲーム会 ★第8回:活動展示報告会 ☐ 学習 テスト対策 ☐ 学習 面接練習	☆担当者連絡会⑧ ○活動展示報告会
2月	○はごろも運営委員会② ☆若葉教室保護者会	☐ 制作 オリジナル写真立て作り ☐ 調理お菓子作り ☐ 制作カード作り ★第9回:DMM 水族館見学	☆担当者連絡会⑨
3月	○研究成果報告会◆県立高校入試 ☐ 中学校卒業式☆若葉教室閉級式 ◆県立高校合格発表 ☐ 小学校卒業式 ☐ 小中学校修了式○研究教員修了式	☐ 閉級式の準備 ☐ 閉級式	☆担当者連絡会⑩

(2) 若葉教室児童生徒数の推移

年度 学校	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
小学校	1	1	0	0	0	0	0	4	2	2	0	0	0	1	0
中学校	3	2	3	4	4	5	6	10	6	7	5	6	4	1	2
合計	4	3	3	4	4	5	6	14	8	9	5	6	4	2	2

※平成 29 年度以降は正式入級の児童生徒数

8. 令和6年度 支援係 年間事業計画

(1) 相談支援業務

①スクールソーシャルワーカー活用事業

令和6年度 はごろも学習センター支援係 SSW グループ 年間計画

日付	内容	場所
4月1日(月)～ 2日(火)	学校配置SSW辞令交付式 全体研修会	プレイルーム
4月3日(金)～	小学校SSW学校配置開始	各学校
4月26日(金)	普天間中校区 グループSV	はごろも学習センター
5月10日(金)	スキルアップ合同研修	プレイルーム
6月7日(金)	スキルアップ合同研修 合同会社 Reconnect 諸留将人氏	はごろも学習センター
7月5日(金)	嘉数中学区 グループSV	プレイルーム
8月2日(金)	宜野湾中校区 グループSV	プレイルーム
9月6日(金)	真志喜中校区 グループSV	プレイルーム
10月4日(金)	宜野湾警察署による講話(13:30～15:30) (予定)	プレイルーム
11月1日(金)	真志喜中校区、普天間中校区 合同グループSV	プレイルーム
12月6日(金)	宜野湾中校区、嘉数中校区 合同グループSV	プレイルーム
1月10日(水)	スキルアップ合同研修	プレイルーム
3月7日(金)	スキルアップ合同研修	プレイルーム

※個人のスーパーバイズについては1人につき5回、実施を予定

②児童生徒等相談事業

令和6年度 小集団活動(ピッコログループ)実施要項

1. 目的

- (1) 他児童・生徒との交流を通して会話のやり取りや一緒に過ごす楽しさを体験し、対人スキル向上や集団適応力を高める
- (2) 季節に合わせた作品作りの過程を楽しみ、完成させる喜びや達成感を味わう

2. 対象児童生徒

- (1) 相談支援中の児童生徒のうち、小集団活動の参加が可能な者
- (2) 個別相談の関わりが安定しており、小集団での経験が必要だと判断された者
- (3) 職員の指示に従い、安全に作業ができる者

3. 内容と活動の流れ

- (1) 日時:隔週 火曜日 午前10時～11時30分
- (2) 期間:令和6年5月14日(火)～令和7年2月18日(火)予定
- (3) 活動の流れ
 - ①担当者の事前ミーティング
 - ②出席確認、検温・体調確認
 - ③導入(活動内容説明、緊張をほぐすためのミニゲーム)
 - ④活動
 - ⑤振り返りの時間(感想記入・発表)、次回の活動案内
 - ⑥担当者の事後検討会議
- (4) 担当:臨床心理士、青少年教育相談指導員
- (5) 学校との連携:児童生徒の在籍校には翌月に参加日、学期毎に活動の報告を行う

4. 年間計画

月	活動内容
5	個人作品(名刺・うちわ作り) 調理体験(ホットケーキ)
6	個人作品(スクラッチアート、季節の壁画)
7	所外体験活動(消防救急救命体験)
9	個人作品(ガラス絵の具アート) 所外体験活動(ヤクルト見学)
10	個人作品(プラバン・ランプシェード、ハロウィン制作)
11	個人作品(ビーズ・ミサンガ)、所外体験活動(社会福祉体験)
12	個人作品(ぷるぷる石鹸、バスボム・スノードーム・年賀状作り)
1	個人作品(書き初め)、所外体験活動(JICA)
2	個人作品(ハーバリウム)、1年間の振り返り

(2) 街頭指導業務

令和6年度 街頭指導 年間計画表

平日(21:00~23:00) 金・土(21:30~23:30)

※冬場(12月~3月)の金・土は(21:00~23:00)

4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月			
日	曜日	日	曜日	日	曜日	日	曜日	日	曜日	日	曜日	日	曜日	日	曜日	日	曜日	日	曜日	日	曜日	日	曜日		
1	月		水	1	土	4	1	月	1	木	3	1	火	1	金	2	1	日	1	水	元日	1	土		
2	火		木	2	日		2	火	2	金	4	2	水		土	3	2	月	2	木	年始休暇	2	日		
3	水			3	月		3	水	3	土	1	3	木	2	日	文化の日	3	火	3	金	年始休暇	3	月		
4	木			4	火		4	木	4	日		4	金	3	月	振替休日	4	水	4	土	4	火			
5	金			5	水		5	金	1	5	月	5	土	4	5	火	5	木	1	5	日	5	水		
6	土	1	金	6	木	1	6	土	2	6	火	3	6	4	6	水	6	金	2	6	月	6	木		
7	日			7	金	2	7	日		7	水	1	7	月	7	木	7	土	3	7	火	7	金		
8	月	2	水	8	土	3	8	月		8	木		8	火	8	金	4	8	日	8	水		土		
9	火		木	9	日		9	火	2	9	金	2	9	水	9	土	1	9	月	9	木	1	日		
10	水			10	月	4	10	水	3	10	火	10	木	10	10	日	10	火	10	金	2	10	月		
11	木		11	土			11	木	山の日	11	水	11	金	11	11	月	11	水	11	土	3	11	火		
12	金	3	12	日			12	金	4	12	月	12	土	12	12	火	12	木		12	日		水		
13	土	4	13	月	1		13	土	1	13	火	3	13	日	13	水	13	金	1	13	月	成人の日	1	13	木
14	日			14	金	1	14	日		14	水	4	14	月	14	木	14	土	2	14	火		14	金	
15	月		15	土	2		15	月	海の日	15	木		15	火	4	15	金	15	日	15	水	15	土		
16	火	1	16	木	16	日	16	火	2	16	金	旧盆	16	水	16	土	3	16	月	16	木		16	日	
17	水		17	金	少年を 守る日		17	水		17	土	旧盆	1	17	日	17	火	3	17	金	少年を 守る日	17	月		
18	木		18	土	2		18	木		18	日	旧盆	18	金	18	月	18	水	4	18	土	4	18	火	
19	金	少年を 守る日	19	日			19	金	少年を 守る日	19	月		19	土	1	19	火	4	19	水	19	日	19	水	
20	土	2	20	月			20	土	3	20	火	1	20	日	20	水	20	金	少年を 守る日	20	月	1	20	木	
21	日		21	火	3	少年を 守る日	21	日		21	水		21	月	21	木	21	土	4	21	火	少年を 守る日	21	金	
22	月		22	水	4		22	月		22	木		22	火	22	金	1	22	日	22	水	1	22	土	
23	火		23	木	数珠の 日		23	火		23	金	2	23	水	23	土	23	月	23	木		23	日		
24	水	3	24	金			24	水	4	24	土	3	24	木	24	日	24	火	24	金	2	24	月		
25	木		25	土	1		25	木		25	日		25	金	3	25	月	25	水	1	25	土			
26	金	4	26	日			26	金	1	26	月		26	土	4	26	火	26	木		26	日			
27	土	1	27	月			27	土	2	27	火		27	日		27	水	2	27	月		27	木		
28	日		28	火			28	日		28	水	4	28	月	28	木	2	28	金	3	28	火			
29	月	昭和の日	29	水	2		29	月		29	木		29	火	29	金	3	29	日	29	水	旧正	29	土	
30	火		30	木			30	火		30	金	1	30	水	30	土	4	30	月	30	木		30	日	
							31	水		31	土	2	31	木	1		31	火	31	金	1		31	月	
合計	9	合計	10	合計	12	合計	11	合計	12	合計	11	合計	12	合計	11	合計	11	合計	10	合計	9	合計	10		

※ 毎月第3金曜日は少年を守る日

※ 4月5日辞令交付式、2月26日研修会、3月8日中学卒業式に關しては、全員参加対象

年間合計 128

9. 令和5年度 支援係 年間事業実績

(1) 支援状況推移

①-1 学校配置 SSW の支援状況

項 目 \ 年 度	R3年度	R4年度	R5年度
学 校 配 置 状 況	市内公立全小中学校		
支援児童生徒実数（人）	489	428	439
支援活動延件数（件）	13,471	13,247	11,638

【支援経過】

分類	支援数(人)	支援経過					
		解決	好転	継続	見守り	中断	終結
小学校	374	70	61	86	85	1	71
中学校	65	13	12	23	5	2	10

【不登校関連課題の支援人数と支援結果】

分類	不登校支援数(人)	支援経過			
		学級復帰	学校復帰	未然防止	変化なし
小学校	104	45	19	10	30
中学校	45	8	17	0	20

①-2 センターSSW の主な支援状況

相談	会議	調整	社会資源情報提供	情報共有	心理的サポート	家庭訪問	居場所支援	研修（スキルアップ研修等）	SV（SSWへの指導助言）
377	68	333	37	877	29	61	60	47	24

②児童生徒等相談事業(教育相談室の支援状況)

(件)

区 分		(1)小学生	(2)中学生	(3)高校生	※1 (4)その他	(5)計
来所相談		111	128	27	5	271
電話相談		136	166	27	8	337
訪問相談		33	3	0	4	40
巡回相談		21	12	6	0	39
SNS 等オンライン利用相談		0	1	1	0	2
計		301	310	61	17	689
内 数	いじめに関する相談	3	9	0	1	13
	不登校に関する相談	108	201	36	3	348
	いじめを除く友人関係に関する相談	26	12	0	3	41
	教職員との関係をめぐる相談	26	23	3	0	52
	学業・進路に関する相談	86	26	18	6	136
	家庭に関する相談	52	39	4	4	99

・文部科学省 R5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査票より

・複数の内容に関する教育相談を合わせて行った場合は、それぞれの内数欄に計上している。

※1.「(4)その他」は、中学卒業生と幼稚園生

【来所相談者の支援経過】

年度 相談内容等		R3年度	R4年度	R5年度
相談者数		189	214	197
内 訳	学校復帰	7	9	12
	進学・就職	24	12	14
	主訴解決	20	18	64
	転校・単発等	29	31	17
	継続支援(次年度へ)	97	139	88
	中断(相談者からの申出による)	12	5	2

(2) 街頭指導員活動状況

令和5年度 夜間街頭指導員による指導実績(延べ人数)																											
■ 巡回曜日・時間 平日→21:00～23:00 金・土→21:30～23:30(4月～11月・3月) 21:00～23:00(12月～2月)																											
(R05年4月～R06年3月)																											
巡回指導場所		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
		小・中学	高・既卒	小・中学	高・既卒	小・中学	高・既卒	小・中学	高・既卒	小・中学	高・既卒	小・中学	高・既卒	小・中学	高・既卒	小・中学	高・既卒	小・中学	高・既卒	小・中学	高・既卒	小・中学	高・既卒	小・中学	高・既卒		
普天間中学校校区	まつのおか児童公園(にじ)																										
	あすなろ児童公園(タコ)					1						2					1	2	4	2	4		2		3	21	
	きさらぎ児童公園(ソウ)				2		9	4				2	2	3			5	9			1		9		10	2	58
	新城児童公園				4																	7					11
	ひがし児童公園																		4								4
	ちゆんな公園							1	8										2						2		13
	野嵩ユニオン																										
	のだけ第一公園				7				7		2	3				4		4		3							30
	普天間小前																										
ふてん児童公園(ハ イナブル)		2						9									1	6			4	11			6		39
その他(普天間中校区)																											
真志喜中学校校区	ラウンドワン																										
	ユニオン周辺																										
	コンベンション																										
	サンエー大山店																										
	はにんず																										
	あだん児童公園			7	2						2	2							9				6				28
	わかたけ児童公園(カメ)															2	2				4	2	4			14	
	シーサー児童公園													2		3		2				2				9	
	マック(真志喜)																										
	宜野湾海浜公園																										
	ましき児童公園(ロケット)																				3						3
	夕日児童公園																										
	ファミマ(大謝名)																										
	ゆうな児童公園				8								4														12
	はごろも小																										
	かたばる公園				3	4	4		6		8							3			2				7	3	40
	しちやばる公園	3			2		2		1										2	2	6		3				21
ユニオン真志喜店																											
伊佐第二児童公園																				10		7				17	
その他(真志喜中校区)																		3	3							6	
嘉数中学校校区	嘉数高台公園		1						5								2			3	3			3		7	18
	まえはら児童公園											4													7	4	
	嘉中校門前																										
	佐真下公園																										
	ぐんばる公園								3						3		2									8	
	比屋良川公園				2				11		1			9	9		6			3	5	1	9	10		66	
	上大謝名さくら公園								4		2				4									7		17	
	おおぶき公園						7										1			3						11	
	がねこ児童公園															2					5					7	
	ファミマ(嘉中近く)																										
	ローソン我如古店																										
	サンエー佐真下店																										
	その他(嘉数中校区)										3					2	1				14	5			4	3	32
	宜野湾中学校校区	まつぼっくり公園																				8			2	6	16
愛知高層団地																											
赤道児童公園														2		1									3	6	
うえはら児童公園									8							5							2		2	17	
ファミマ(愛知)																											
かねひで愛知店																											
長田サンエー																											
しまし公園																											
いこいの市民パーク																											
ツタヤ前																											
その他(宜野湾中校区)																											
R5年度合計		3	3	7	30	4	23	5	62		18	7	12	12	24	6	34	29	20	39	61	31	12	45	41		528
R4年度合計		23	39	17	8	5	39	0	16	0	0	0	2	2	25	8	34	8	15	14	36	13	35	7	24		370
R3年度合計		6	11	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	44	0	44	9	72	0	14	0	0	20	40	
R5年度月別実施回数	7回実施		9回実施		10回実施		12回実施		6回実施		12回実施		10回実施		11回実施		11回実施		11回実施		9回実施		13回実施		(121回) 1回当たり 指導人数 4.3人		

VI 社会教育

1. 基本方針

市民一人一人が生涯にわたり、より充実した生活や生きがいづくりのため、自己の学びをととして知識や技能を高め、柔軟な思考力や自己の課題解決力を身につけることが必要である。

市民がともに学び合い、身に付けた知識や技能がそれぞれの社会や地域で活かされ、地域力が高まり響きあう環境づくりを目指す。

2. 重点施策

- (1) 地域学校協働活動推進事業及び放課後子ども教室推進事業の実施による学校・家庭・地域の連携推進
- (2) 社会教育関係団体の育成をととした、人材育成と基盤整備
- (3) 二十歳のつどいの開催
- (4) 社会教育委員と連携した社会教育行政の推進

3. 令和5年度の主な事業実績

(1) 地域学校協働活動推進事業

○事業目的

幅広い地域の方々の参画により、子どもたちの豊かな人間性を育み、地域を創生する学校内外における「地域学校協働活動」を支援し、学校・家庭・地域が連携・協働して、自立的・継続的に子ども取り巻く課題を解決できる地域社会を目指す。

※平成30年度に「学校支援地域本部事業」から「地域学校協働活動推進事業」へ事業名変更。

○事業概要

地域コーディネーター及び統括コーディネーターを配置した。地域コーディネーターは、小中学校からの要望に応じて、地域団体（PTA、自治会、近隣大学等）と連携のもと、学校支援ボランティアを学校へ繋げた。

また、統括コーディネーターは地域コーディネーターへの指導助言や、地域コーディネーター未配置校への働きかけを行い、事業の更なる推進に努めた。

○令和5年度活動実績

活動件数(件)	346 件	※主な活動 ○ミシン操作補助 ○校区探検安全管理 ○式典会場の飾り付け ○校内耕運作業 ○「浮いて待て」指導 ○体力テストサポート ○語学・文化交流 ○職業人講話 ○三線体験 ○学習支援
学校に繋げた ボランティア延べ人数(人)	1,333 人	

【主な活動風景】



校区探検安全管理(はごろも小)



職業人講話(宜野湾中)

(2) 放課後子ども教室推進事業

○事業目的

学校・家庭・地域が連携のもと、子どもたちが社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。放課後や週末に学校の空きスペースを活用し、保護者や地域住民の参画のもと、子どもたちに様々な体験活動の機会を提供していくなかで、地域の子どもは地域で育むという機運の醸成を図る。

○事業概要

放課後子ども教室コーディネーターが中心となって、学校の空きスペースを拠点とした居場所づくりの企画運営を行った。協働活動支援員、協働活動サポーターと連携協力し、子どもたちに様々な体験や学習機会を提供した。

○令和5年度活動実績

学校区	活動内容	活動回数	参加児童 延べ人数
普天間小学校 放課後子ども教室	製作活動、各種体験活動、宿題サポート	33	1,637
大山小学校 放課後子ども教室	製作活動、屋内外自由遊び、宿題サポート	12	223
嘉数小学校 嘉数っ子教室	製作活動、各種体験活動	14	118
志真志小学校 しまっ子笑場	製作活動、屋内外自由遊び、宿題サポート	32	1,253
合計		91	3,231

【主な活動風景】



浮いて待て(普天間小)



正多面体を作ろう(嘉数小)

(3) 社会教育関係団体の育成

社会教育を推進し、活気ある地域づくりのリーダー育成を図るため、以下社会教育関係団体を支援した。

- ① 宜野湾市青年連合会 ② 宜野湾市PTA連合会 ③ 宜野湾市女性連合会
④ 宜野湾市子ども会育成者連絡協議会 ⑤ 各小中学校単位PTA



親子夏休みふれあいラジオ体操
(子ども会育成者連絡協議会)



第 27 回宜野湾市青年エイサー祭り
(青年連合会)

(4) 二十歳のつどい(旧成人式)

新たな門出を迎える二十歳の若者の祝福・激励を目的に、市青年連合会と連携協力のもと実施した。
令和 5 年より、式典名を「成人式」から「二十歳のつどい」に改称。

- 日程 : 令和6年1月 21 日(日)
 - 会場 : ラグナガーデンホテル 羽衣の間
 - 新成人参加者 : 700 名 (対象者 1,083 名)
 - 式典の主な内容 : スライドショー、式辞、祝辞、参加者代表あいさつ、アトラクション(バンド演奏)
- ※令和 6 年は市民会館改修工事のため、例年とは異なる会場と日程で実施。



4. 令和6年度社会教育関連の主な事業計画

○政策事業

事業名称	事業のねらいまたは内容
地域学校協働活動推進事業	幅広い地域の方の参画により、子どもたちの豊かな人間性を育み、地域を創生する学校内外における「地域学校協働活動」を支援し、学校・家庭・地域が連携・協働して、自立的・継続的に子ども取り巻く課題を解決できる地域社会を目指す。
放課後子ども教室推進事業	放課後や週末に学校の空きスペースを活用し、保護者や地域住民の参画のもと、子どもたちに様々な体験活動の機会を提供していくなかで、地域の子どもは地域で育むという機運の醸成を図る。

○社会教育関係団体の育成

事業名称	事業のねらいまたは内容
社会教育関係団体育成補助金交付	生涯学習課が育成を担う社会教育関係団体に対し、社会教育の振興を図ることを目的に、宜野湾市社会教育関係団体育成補助金を交付する。
社会教育関係団体への その他支援	社会教育関係団体主催事業の後援や、指導助言、市報等での周知関係者を対象とした研修等の案内

○その他の事業

事業名称	事業のねらいまたは内容
二十歳のつどい	二十歳の節目を迎える若者の祝福、激励を目的とした「二十歳のつどい」の開催
子どもの読書活動の推進	第二次宜野湾市子どもの読書活動推進計画の推進
社会教育委員会議	社会教育や生涯学習の調査研究、提言等

VII 文化振興

1. 基本方針（文化）

市民一人ひとりが多様な文化に触れ、親しみ、主体的に活動が展開できるような環境づくりや諸文化事業を推進し、「文化の自立」を目指す。

文化協会との連携、各種文化団体への活動支援、文化事業の実施、市民会館の管理・運営などを通して文化の振興に取り組む。

2. 令和5年度 文化事業の実施

（1）ミュージックフェスタ開催事業

ミュージシャンに発表の場を提供し、音楽文化を発信するとともに、若者の創造性豊かなエネルギーをまちづくりの一助とすることを目的とする。

例年、市民会館大ホールにて実施しているが、空調改修工事を行っているため、市民会館前にある広場に野外ステージを組んで実施すると共に他の催事と同時開催ができ、相乗効果にて多くの来場者が訪れ、会場は例年以上に熱気に溢れ、その中でアマチュアミュージシャンやダンサーが日頃の成果を発表できた。

開催日 令和5年12月2日

開催場所 宜野湾市民会館前広場

実施回数 29回

出演数 18組

来場者 1,040名



（2）宜野湾市文化祭（展示部門・舞台部門）

市文化協会の文化活動の成果を広く市民に公開し、芸術文化の鑑賞の機運を醸成し、豊かで潤いのある文化的生活と市民文化の高揚を図ることを目的に開催する。

開催日 【展示部門】
令和5年12月9日・10日・23日・24日
令和6年1月6日・7日

【舞台部門】
令和6年2月25日

開催場所 宜野湾市役所多目的会議室
国立劇場おきなわ小劇場

実施回数 43回

内容 （舞台）JAZZ、ハワイアンフラ、琉球舞踊、民謡、詩吟等
（展示）絵画、写真、書道、生花、陶芸、彫刻等

舞台出演者数 248人

展示出展数 165点

入場者数 舞台部門：419人
展示部門：502人
計：921人



3. 令和5年度文化振興講座

No.	講 座 名	開催日時	対象	回数	受講生 定員	申込 人数	受講 者数	開 催 場 所
1	Piano を弾こう (グランドピアノ開放)	①7/2 (土) ②7/15 (土)	市内在住・在勤 ・在学の方	各 13 回	13 名	①7 名 ②6 名	①7 名 ②6 名	宜野湾市民会館 大ホール
2	宜野湾市民会館 バックステージツアー	①7/22 (土) ②7/29 (土)	小 4 年生～6 年 生と保護者	2 回	各 5 組	22 組	①5 組 ②5 組	宜野湾市民会館 大ホール
3	親子で紅型バック作り	10/14 (土)	小 1 年生～6 年 生と保護者	1 回	15 組	29 組	15 組	男女共同参画支援センター ふくふく 2 階講堂
4	初心者編！ 沖縄の年中行事・トート ーメーを知ろう	3/2 (土)	市内在住・在勤 ・在学の成人	1 回	20 名	28 名	20 名	宜野湾マリン支援センター 会議室
5	はじめての琉歌講座	①3/9 (土) ②3/16 (土)	市内在住・在勤 ・在学の成人	2 回	15 名	14 名	①14 名 ②14 名	宜野湾市立博物館 2 階 研究室
6	ステンドグラス体験講座	3/23 (土)	市内在住・在学 の小学生以上	1 回	15 名	41 名	15 名	宜野湾市役所 多目的会議室

4. 令和5年度文化事業共催・後援等

実施期間	行事名	共催・後援者	区分
令和5年5月14日 場所:吉の浦会館	第43回 母の日コンサート	中城ジュニアオーケストラ	後援
令和5年5月28日 場所:沖縄コンベンションセン ター 劇場棟	文化庁子供鑑賞体験支援事業 2023 ハッスルマッスル忍者「子供元 気計画ツアー」沖縄公演	株式会社高橋企画	後援
令和5年6月30日 場所:国立劇場おきなわ 小劇場	華&舞	宜野湾市文化協会	後援
令和5年7月30日 場所:沖縄コンベンションセン ター 劇場棟	第63回 沖縄県吹奏楽コンクール	沖縄県吹奏楽連盟	後援
令和5年9月9日 場所:沖縄コンベンションセンタ ー 展示棟	第42回沖縄県マーチングフェスティ バル・小学生バンドフェスティバル	沖縄県吹奏楽連盟	後援
令和5年11月19日 場所:真志喜中学校 武道場	第17回 養神館合気道海龍館 演武大会	養神館合気道海龍館	後援
令和5年12月4日 場所:沖縄コンベンションセン ター 劇場棟	「障害者週間」東欧音楽家支援 国際親善交流特別演奏会(日本・ポーラン ド文化交流演奏会) ウクライナ緊急人道支援 ポーランド避難 民支援チャリティーコンサート	日本音楽文化交流協会	後援
令和6年1月14日 場所:沖縄コンベンションセン ター 劇場棟	沖縄国際大学校友会創立 50 周年記念 事業「芸能フェス・THE 競演」	沖縄国際大学校友会	後援

5. 令和5年度 宜野湾市民会館管理運営状況

市民会館は市民文化の殿堂として位置づけ、文化発信の拠点づくりを目指すとともに、市民が利用しやすい管理、運営を図っていく。

○宜野湾市民会館の施設概要

竣工	昭和 57 年 12 月 25 日		
共用開始日	昭和 58 年 1 月 18 日		
延床面積	5999.064 m ²		
問い合わせ	098-893-4433 8:30~17:00		
休館日	火曜日、及び 12月29日～1月3日		
大ホール客席	1,196 席（うち車椅子席 12 席）		
楽屋	30 m ² （約 18 畳）最大 30 名程度		
リハーサル室	54 m ² （約 25 畳）最大 30 名程度		
主催者控室	20 m ² （約 12 畳）最大 15 名程度		
和室会議室	51 m ² （約 25 畳）最大 25 名程度		

○年度別利用状況

大ホール	年度 \ 内容	令和元 (H31) 年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均
	開館日数	308	42	126	289	0	153.0
	利用日数	98	3	22	85	0	41.6
	利用率	32%	7%	17%	29%	0%	17%
	利用人数	41,825	318	4,670	21,419	0	13,646

会議室	年度 \ 内容	令和元 (H31) 年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均
	開館日数	308	42	126	289	0	153.0
	利用日数	38	1	11	22	0	14.4
	利用率	12.34%	2.38%	8.73%	7.61%	0%	6%

※ 開館日数＝総日数－休館日（火曜日、年末年始、特別休館）＋休館日に貸出した日数。

※ 利用日数には、準備、リハーサルを含む。

※宜野湾市民会館大ホールは、空調機器等の経年劣化に伴う改修工事を実施しており、令和5年4月より休館している。（開館予定：令和7年1月予定）

6. 令和6年度事業計画（予定）

No.	主催事業	開催日	開催場所
1	琉球マジムン教室	令和6年7月20日	男女共同参画支援センター ふくふく 2階講堂
2	親子で琉球張子づくり	令和6年8月1日	男女共同参画支援センター ふくふく 2階講堂
3	沖縄そばの歴史を学ぼう！親子で沖縄 そば作り	令和6年8月8日	男女共同参画支援センター 調理室・多目的室
4	Piano を弾こう (グランドピアノ開放)	令和6年12月（予定）	宜野湾市民会館 大ホール
5	宜野湾市民会館 親子バックステージツアー	令和6年12月（予定）	宜野湾市民会館 大ホール
6	ミュージックフェスタ開催事業	令和6年12月（予定）	宜野湾市民会館前広場(仮)
7	第44回 宜野湾市文化祭	未定	未定

VIII 中央公民館

1. 基本方針

中央公民館は、宜野湾市教育振興基本計画の基本理念「学び合い、未来を切り拓く人材の育成」を柱に、市民が豊かな学びと人間性を培えるよう、生涯各期に応じた教養や趣味等、市民のニーズに応じた多様な学習とその活用の方会の提供に努め、地域へつなぐ仕組みづくりに取り組む。

2. 運営方針

中央公民館は、社会教育法第 20 条の目的達成のため、次のとおり公民館の運営方針を定める。

- (1) 地域の人々が「集い・学び・憩い・そして創造」の場として、子どもから高齢者までのあらゆる市民のニーズに応えるべく、各種の講座や研修、展示会等の学習機会を提供し、コミュニティづくりに努める。
- (2) 様々な体験学習等を通して、青少年の健全育成を促進する。
- (3) 講座や研修会等に提供する資料や図書等を整え、広く市民の活用を図る。
- (4) 地域の人々にとって最も身近な施設である市内の自治公民館を、生涯学習関連施設として位置付けることへの条件整備をし、時代に即した幅広い活動を展開する。

3. 取組事項

- (1) 中央公民館講座の充実を図る。
- (2) 情報発信の充実に努める。
- (3) 学習成果を地域につなぐ仕組みづくりを推進する。
- (4) 家庭教育支援の環境づくりに努める。

【社会教育法】 抜粋

(目的)

第二十条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に則する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

(公民館の事業)

第二十二条 公民館は、第二十条の目的達成のために、おおむね、左の事業を行う。但し、この法律及び他の法令によつて禁じられたものは、この限りでない。

- 一 定期講座を開設すること。
- 二 討論会、講習会、講演会、実習会、展示会等を開催すること。
- 三 図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。
- 四 体育、レクリエーション等に関する集会を開催すること。
- 五 各種の団体、機関等の連絡を図ること。
- 六 その施設を住民の集会その他の公共的利用に供すること。

(公民館の運営方針)

第二十三条 公民館は、次の行為を行つてはならない。

- 一 もつぱら営利を目的として事業を行い、特定の営利事務に公民館の名称を利用させその他営利事業を援助すること。
- 二 特定の政党の利害に関する事業を行い、又は公私の選挙に関し、特定の候補者を支持すること。
- 2 市町村の設置する公民館は、特定の宗教を支持し、又は特定の教派、宗派若しくは教団を支援してはならない。

4. 令和5年度主な事業実績

※令和5年8月以降、中央公民館は空調設備等改修工事のため完全休館とし、主催講座などの事業は外部施設で実施した。

(1) 中央公民館主催講座(一般成人対象講座)

月	日	曜	回	講座名	講座内容及び目的	時間	定員	申込者	受講者	場所
5	15 22 29	月 月 月	3 回	おもてなしにも使えるお弁当講座	おもてなしにも使えて保存できるお弁当簡単レシピを学ぶ。	10-13	16名	18名	16名	調理室
5 6	19 26 2 9 16	金 金 金 金 金	5 回	スマホの写真でポストカードをつくろう!	スマホのカメラで効果的に写真を撮り、Wordを使ってオリジナルポストカードなどを作る。	10-12	20名	19名	19名	研修室1
6	18	水	1 回	大人も楽しめるドローン教室	初心者向けドローン講座、操縦方法や飛ばしてもよい場所などのルールを学ぶ。	13-15:30	10名	17名	10名	集会場
9	13 20	月 月	2 回	今甦る首里城講座	令和元年10/31に焼失した首里城。『令和の木曳式』も終わり、本格的な工事が始まるのを機に、首里城の歴史を学び、実際に首里城を見学する。	10-12	20名	16名	15名	市立博物館 首里城公園
10	15 22 29	日 日 日	3 回	疲労回復に役立つ体幹ストレッチ	自宅でもできる体幹を使ったストレッチで疲れを解消する。	10-12	20名	23名	22名	市社会福祉センター
10 11	30 6 18	月 月 土	3 回	組踊講座	『組踊』の歴史について学び、実際にその所作を体験する。座学の後に『組踊』を鑑賞、劇場のバックヤードも見学し、伝統芸能への理解を深める。	14-16	20名	18名	18名	市立博物館 国立劇場 おきなわ
10 11	13 20 27 10	金 金 金 金	4 回	陶芸教室～やちむん～	ろくろやたたらを使って焼き物＝やちむんを作る。自分だけのオリジナルやちむんを作り、使用する事で物の大切さを感じる。	14-16	7名	11名	9名	あやかりの社
12	4 11 18	月 月 月	3 回	ネット犯罪に巻き込まれないために	インターネットにおける新しい詐欺や犯罪等の手口を知ること、その対策について知識を深める。	14-16	20名	6名	6名	マリ支援センター
1 2	27 10 24	土 土 土	3 回	子ども達に伝えたい『いのち』のお話	自尊心を高める事を目的とした講座。未就学児から大人まで誰もが聞ける優しい『命』のお話で、心も身体も、自分も他の人も大切にしたいとを感じる。	14-16	20組	15組	12組	真栄原区 公民館

(2) 中央公民館主催講座(夏休み親子対象講座)

月	日	曜	回	講座名	講座内容及び目的	時間	対象	定員	申込者	受講者	場所
7	23	日	1 回	親子ワンワンふれあい動物園	身近な動物と触れ合うことで命の大切さを感じ、思いやりの心を育む。沖縄の動物たちを取り巻く課題について学ぶ。	10-12	小1～小3	親子20組	77組	20組	普天間 小学校 体育館
	30	日	1 回	コイン貯金箱づくり	お金が種類別の穴に落ちることで、コインの仕分けができる楽しい貯金箱を作る。	13-15	小1～小3	親子20組	70組	20組	集会場

(3) 中央公民館主催講座(夏休みキッズ・ジュニア対象講座)

月	日	曜	回	講座名	講座内容及び目的	時間	対象	定員	申込者	受講者	場所
7	29	土	1 回	新貿易ゲーム～SDGs～	簡単なゲームをととして「世界の貿易と経済のしくみ」を体験する。	10-12	小4～小6	20名	16名	16名	集会場
8	20	日	1 回	竹細工で昆虫づくり	竹を使って本物のようなカブトムシ・トンボ・バッタなどの昆虫を作る。	10-12	小4～小6	20名	20名	20名	市社会福祉センター
11	25 ※1	土	1 回	中学生のためのドローン教室	中学生対象の初心者向けドローン講座、操縦方法や飛ばしてもよい場所などのルールを学ぶ。	13-15	中学生	10名	16名	10名	市社会福祉センター

※1 8/5開催予定だったが、台風の影響で11/25に延期して実施

(4) 自治公民館講座(自治会が実施する生涯学習関連講座)

月	日	曜	回	講座開設自治会	講座名	時間	講座種類	受講者	場所
12	17	日	3	野嵩二区自治会	クリスマスケーキ作り	11-13	青少年	15名	野嵩二区 公民館
1	9	火	回		動作法教室①	13-15	高齢者	14名	
	23	火			動作法教室②	13-15	高齢者	14名	
12	25	月	3	野嵩三区自治会	料理教室	14-16	女性	17名	野嵩三区 公民館
	30	土	回		生け花教室	14-16	女性	13名	
1	4	木			民舞教室	10-12	女性	13名	
1	18	木	4	普天間一区自治会	三味線と獅子舞踊り①	16-18	青少年	16名	普天間一区 公民館
	23	火	回		三味線と獅子舞踊り②	16-18	青少年	17名	
2	1	木			三味線と獅子舞踊り③	16-18	青少年	16名	
	6	火			三味線と獅子舞踊り④	16-18	青少年	17名	
6	21	水	6	普天間二区自治会	脳トレ(老いも若きもソロバン教室)①	15-16	一般	13名	普天間二区 公民館
7	5	水	回		脳トレ(老いも若きもソロバン教室)②	15-16	一般	12名	
	19	水			脳トレ(老いも若きもソロバン教室)③	15-16	一般	10名	
8	2	水			脳トレ(老いも若きもソロバン教室)④	15-16	一般	10名	
	16	水			脳トレ(老いも若きもソロバン教室)⑤	15-16	一般	11名	
9	6	水			脳トレ(老いも若きもソロバン教室)⑥	15-16	一般	10名	
11	30	木	2	普天間三区自治会	手書き年賀状	19-22	一般	13名	普天間三区 公民館
12	2	土	回		おつまみ教室	18-21	一般	12名	
12	6	水	2	新城区自治会	クリスマス&お正月飾り作り	19:30-21:30	女性	19名	新城区 公民館
	13	水	回		楽しい English	19:30-21:30	女性	17名	
1	9	火	3	喜友名区自治会	誰にでも出来るケーキ作り	14-16	一般	12名	喜友名区 公民館
	16	火	回		ウチナー料理研究①	13-17	一般	12名	
	30	火			ウチナー料理研究②	10-13	一般	9名	
8	3	木	4	伊佐区自治会	健康体操①	10-12	一般	13名	伊佐区 公民館
	10	木	回		健康体操②	10-12	一般	13名	
10	13	金			ローズガーデン①	10-12	一般	20名	
11	6	月			ローズガーデン②	10-12	一般	20名	
8	8	火	4	大山区自治会	キッズマナー講座①	13-15	青少年	8名	大山区 公民館
	15	火	回		キッズマナー講座②	13-15	青少年	7名	
	22	火			キッズマナー講座③	13-15	青少年	7名	
9	6	水			キッズマナー講座④	15-17	青少年	12名	
6	10	土	3	大謝名区自治会	女性のための防災講座	14-16	女性	14名	大謝名区 公民館
7	8	土	回		島野菜たっぷりのウチナー料理	10-12	女性	12名	
11	25	土			多肉植物の寄せ植え	14-16	女性	8名	
2	15	木	5	嘉数区自治会	三味線教室①	18-19:30	一般	8名	嘉数区 公民館
	22	木	回		三味線教室②	18-19:30	一般	8名	
	29	木			三味線教室③	18-20	一般	8名	
3	7	木			三味線教室④	18-20	一般	7名	
	14	木			三味線教室⑤	18-20	一般	8名	
11	24	金	3	真栄原区自治会	宇宙芋ってどんな味?	10-12	高齢者	15名	真栄原区 公民館
1	20	土	回		料理講習会	10-12	女性	15名	
2	10	土			琉球舞踊演舞講習	9-11	女性	13名	
10	18	水	3	愛知区自治会	大人の自由研究①(ハーブ教室)	18-20	一般	8名	愛知区 公民館
11	25	土	回		大人の自由研究②(料理教室)	13-15	一般	11名	
12	20	水			大人の自由研究③(折り紙教室)	18-20	一般	10名	
6	30	金	4	上大謝名自治会	上大謝名元気講座①(遺言書の書き方)	10-12	一般	19名	上大謝名 公民館
8	19	土	回		上大謝名元気講座②(健康講話)	19-21	一般	15名	
9	15	金			上大謝名元気講座③(防災講話)	19-21	一般	19名	
11	20	月			上大謝名元気講座④(着物リメイク講習会)	10-12	一般	19名	

(5) 自治会長・書記会連携講座

	講座名	開催日時	対象	回	場所
1	うちなあぐち講座	1/25(木) 14:00～16:00 1/26(金) 14:30～16:30	自治会長・書記	2	中原区公民館

(6) 企画・連携事業

	企画名	開催日	対象	場所
1	地域連携企画・宜野湾市立中央公民館サークル作品展	6/13(火)～6/26(月)	一般	コザ信用金庫 普天間支店
2	宜野湾市立中央公民館登録サークル& 図書室紹介パネル展	7/10(月)～7/21(金)	一般	市役所ロビー
3	夏のみきかせまつり (ボランティア団体「よみきかせくろうさぎ」「人形劇トロイメ ライ」ほか連携)	7/15(土)	一般	中央公民館 図書室
4	よみきかせ&工作体験 (ボランティア団体「よみきかせくろうさぎ」連携)	毎月第3土曜日	一般	中央公民館 図書室

※8月以降は工事のため完全休館

(7) サークル活動の振興

宜野湾市立中央公民館では、社会教育法第20条の趣旨に則り、社会教育の一環として定期的かつ継続的に学習を行う団体(サークル)に対し、活動の振興を図る。

令和5年度サークル一覧表

番	サークル名	活動内容	番	サークル名	活動内容
1	自彊術体操サークル	自彊術体操	20	オカリナサークル ふれんず	オカリナ
2	IT羽衣	パソコン	21	宜野湾市沖ヨガサークル	ヨガ
3	ぎのわん the Blenders	ジャズバンド	22	つくし花会	華道
4	ハワイアンフラサークル ホアロハ	フラダンス	23	ラキ・フラサークル	フラダンス
5	書道サークル みやらび	毛筆	24	女声コーラス「エコ森の川」	コーラス
6	着付けサークル あやめ会	着付け	25	ギターサークル 六弦大	クラシックギター
7	レイモキハナフラサークル	フラダンス	26	中国武術サークル	中国武術
8	水彩画サークル「ほおずき」	水彩画	27	普天間川柳の会	川柳
9	ぎのわん歌謡愛好会	カラオケ	28	紅型サークル「彩」	紅型染め
10	パソコンサークル はばたけ	パソコン	29	宜野湾市うちなあぐち会	うちなあぐち
11	社交ダンスサークル むつみ	社交ダンス	30	民謡サークル「ひやみかち」	琉球民謡・三線
12	天行健宜野湾太極拳サークル	太極拳	31	宜野湾市子供将棋サークル	将棋
13	実年友の会	フォークダンス	32	ぎのわん市少年少女合唱団	合唱
14	和裁サークル	和裁	33	宜野湾市太極拳協会	太極拳
15	墨絵サークル「きつ茶こ」	墨絵	34	秋津書道サークル	書道
16	親子英語リトミック Hop Rabbit	英語リトミック	35	しきなみ短歌サークル	短歌
17	ムンジュルの会	琉舞	36	宜野湾フォーカス	写真
18	歌う・ハピネス	カラオケ	37	泉ヴォイストレーニング	音楽
19	歌声サークル「コール宜野湾」	歌声			

※8月以降は工事のため完全休館

(8) 令和5年度中央公民館図書室利用状況

① 図書室の紹介

宜野湾市立中央公民館図書室は、生涯学習の場として、約 50 名収容可能な学習室を設けるとともに、図書の貸し出しを行う。

現蔵書数は約 10,000 冊あり、一般図書や絵本・紙芝居・雑誌のほか、県内新聞2紙も取扱い一年間保存している。また、行事の案内や新着図書案内等を掲載した『図書室だより』も毎月発行し、市内学習施設や保育園等に配布している。

② 図書の館外貸出し

対象	冊数	期間
個人	3 冊	14 日以内
団体	50 冊以内	30 日以内

③ 図書室の開室時間等

開室曜日	月・水・木・金・土・日
開室時間	9:00 ～ 17:00
休室日	火曜日・祝日・慰霊の日・年末年始・毎月第3金曜日(図書整理日)

④ 令和5年度中央公民館図書室利用状況

【月別利用状況】													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入室者数	314	319	350	489	0	0	0	0	0	0	0	0	1,472
貸出人数	92	120	122	152	0	0	0	0	0	0	0	0	486
貸出冊数	226	302	286	388	0	0	0	0	0	0	0	0	1,202
新規登録者	39	29	28	12	0	0	0	0	0	0	0	0	108

※8月以降は工事のため完全休館

【対象者別利用状況】							
	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	団体	計
入室者数	217	212	44	29	970		1,472
貸出人数	52	51	14	0	369	0	486
貸出冊数	151	142	21	0	888	0	1,202
新規登録者	13	16	1	1	77	0	108

【年度別利用状況】					
	R元(H31)年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
入室者数	6,254	2,469	1,341	3,141	1,472
貸出冊数	3,844	2,156	1,431	2,653	1,202
新規登録者	169	68	38	138	108

(9)施設管理運営状況

開館時間:9:00～21:00(問合せ:8:30～17:00 まで)

休館日 :火曜日、祝日、慰霊の日、年末年始

施設 :市民会館との複合施設/共用の専用駐車場最大 167 台・ちゅらパーキング 4 台

(1 階:市民会館 2 階:集会場/多目的室/調理実習室 3 階:研修室 1・2/児童室/視聴覚室/図書室)

	集会場	多目的室	調理実習室	研修室1	研修室2	児童室	視聴覚室
最大収容人数	200 名	60 名	20 名	20 名	20 名	15 名	30 名
主な設備	舞台機構/音響 /ピアノ/控室	ホワイトボ ードなど	調理台/ 調理器具	プロジェクター/ スクリーン	スクリーン	プレイマット	プロジェクター/ スクリーン/ピアノ

※会議用長テーブル・イスあり(集会場/多目的室/研修室 1・2)

(10)令和5年度利用状況

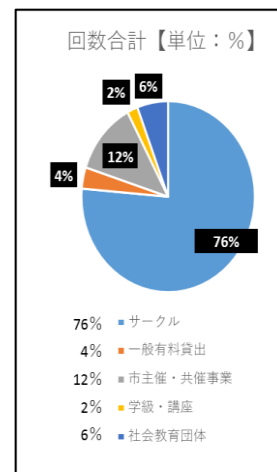
【施設別利用状況】

	集会場		多目的室		調理実習室		研修室1		研修室2		児童室		視聴覚室		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4月	44	1,162	20	342	0	0	15	152	29	267	4	33	32	318	144	2,274
5月	48	1,081	16	248	4	83	15	142	20	192	9	63	26	256	138	2,065
6月	45	860	19	226	4	44	16	188	18	184	8	52	25	221	135	1,775
7月	46	853	19	490	2	30	20	282	17	198	9	75	24	227	137	2,155
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	183	3,956	74	1,306	10	157	66	764	84	841	30	223	107	1,022	554	8,269

※8 月以降は工事のため完全休館

【目的別利用状況】

	サークル		一般有料貸出		市主催・共催事業		学級・講座		社会教育団体		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4月	118	1,231	4	100	11	503	0	0	11	440	144	2,274
5月	100	1,010	9	305	19	529	5	109	5	112	138	2,065
6月	104	1,058	4	92	13	234	4	69	10	322	135	1,775
7月	101	1,041	3	52	25	862	2	64	6	136	137	2,155
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	423	4,340	20	549	68	2,128	11	242	32	1,010	554	8,269



【過去5年間の利用人数】

年度	R元(H31)年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用人数	40,453	9,835	13,659	28,820	8,269

5. 令和6年度 主な事業計画

※令和5年8月から令和6年12月(予定)まで空調設備等改修工事による休館とする。

(1) 一般対象講座 (6 講座)

一般を対象に、教養、趣味、家庭教育等、生活に即する内容や、課題解決に向けた講座を実施すると共に、学習を通して市民のコミュニティづくりに寄与する。

(2) 親子、キッズ・ジュニア講座 (3 講座)

低学年は親と子が共同作業や体験を行う内容を盛り込むことで、親子のコミュニケーションを深め、より良い親子関係の形成を図る。また、高学年・中学生は、多様な体験を通して新しいことに挑戦する楽しさを感じ、自主性や意欲を育む。

(3) 小中学校連携講座 (7 講座)

学校を主な開催場所として、希望した市内公立小中学校の児童生徒・保護者を対象に、中央公民館が提案する講座を実施する。学校と連携することで、家庭教育支援の一環となり、より多くの児童生徒・保護者に、身近な環境・郷土文化・SDGsに関連した学びの機会を提供する。

(4) 自治公民館講座 (16 自治会が実施予定)

市内の自治公民館を生涯学習関連施設として位置づけ、地域住民自身主体となり、地域の人材を活かし、住民が求めるテーマを学習することで、学習意欲の向上と楽しく明るい地域づくり活動の推進を図る。

(5) 自治会長・書記連携講座 (23 自治会長・書記を対象に1 講座)

地域の課題解決に向けた取り組みや地域の活性化、ならびに生涯学習の普及・推進を図ることを目的とし、中央公民館が講座開設のノウハウを活かして、自治公民館と調整し、他関係部署と連携を図り講座を実施する。

(6) 企画・連携事業

① サークル紹介パネル展

サークル団体の活動内容や特別活動（ボランティア等）の様子を紹介するパネル展示を実施し、サークル団体および一般市民の生涯学習活動の振興を図る。

(11 月：市民図書館にて実施予定)

② サークル作品展

学習成果の発表の場を設けることで、さらなる生涯学習への意欲向上と普及促進を図る。

(コザ信用金庫普天間支店等、6 月・11 月実施予定)

③ ボランティア団体『よみきかせくろうさぎ』による読み聞かせ&工作体験を開催する。

(1 月以降実施予定)

令和6年度 宜野湾市立中央公民館 講座予定（案）

（１）主催講座（一般対象講座）※手話通訳希望者対応講座検討中

区分		開催	講 座 名（仮）	内容及び目的	開催場所	回数	定員	託児
一 般 講 座	家庭教育・家庭生活/体育・レク	5月	パパママ応援講座	“今”を楽しむ子育てに役立つ講座を3種類、各1回ずつ開設。 （ほめ愛アップ・ヨガ・おやつ作り）	ふくふく	3回	12名	有
	市民意識/職業知識・技術の向上	6月	はじめてみよう！スマホでできる資産運用	スマホを活用した資産運用に興味がある初心者向け。（決済アプリ・新NISA・資産運用など）	市民図書館	4回	20名	有
	市民意識	9月	家系図づくり	自分のルーツを考えながら、子孫に残せる家系図を作るノウハウを学ぶ。	市民図書館	3回	20名	－
	趣味・教養の向上	10月	健康マージャン	健康マージャンで脳を活性化、仲間と交流を楽しみながらゲームを楽しむ。	市社会福祉センター	6回	20名	－
	体育・レクリエーション	11月	ノルディックウォーク講座	柔軟体操とノルディックウォーキングを組み合わせた誰でもできる運動で健康づくりを図る。	市陸上競技場/いこいの市民パーク	4回	20名	－
	趣味・教養の向上/家庭生活	11～12月	はじめての韓国語講座+韓国料理教室	身近な国・韓国のことばを学び、韓国料理づくりを体験し食文化を楽しむ。	ふくふく	6回	15名	有

（２）主催講座（親子・キッズ・ジュニア対象講座）

	対象	講座名（仮）	内容及び目的	開催場所	回数	定員	保護者
親子・夏休み講座・ジュニア	小学校低学年（親子）	親子で紅型バックづくり	沖縄伝統工芸「紅型」の技法を体験し、郷土文化に関心をもつ。	ふくふく	1回	15組	要
	小学校高学年（キッズ）	LEDランタン作り	ランタンを身近な材料で作りながら電気のしくみを学び工作を楽しむ。	市立博物館	1回	15名	可
	中学生（ジュニア）	eスポーツ教室	話題の『eスポーツ』初心者向け教室。ゲームを知略や戦略など競技性を含む“スポーツ”として捉えてゲームに挑戦する。	学校法人KBC学園 KBC高等学校	3回	16名	－

（３）小中学校連携講座（公立小中学校の生徒・保護者対象講座）

	対象	講座名（仮）	内容及び目的	開催場所	回数	定員	保護者
小中学校連携講座	中央公民館が提案した講座の開設を希望する小中学校の生徒・保護者を対象に学校を主な開催場所として開設する。 実施希望学校ごとに各講座1回ずつ。 講座内容によりクラス～学年単位で実施予定。	SDGs講座 資源の再利用サイクルを学ぼう	中学生推奨。海ブドウやモズクなどの海藻類の早期育成でCO2削減という沖縄発のSDGsに触れる。	小中学校教室	1回	学級単位	－
		磯遊び教室	身近な海の生き物を、実際に磯（イノー）に降りて観察。自然環境について考えるきっかけをつくる。	ぎのわん海浜公園	1回	1学級～1学年	可
		世界がもし100人の村だったら	世界の人口を100人に例えてみたらどうなるか、実際に体を使いながら世界各国の格差や多様性を感じとる。	小中学校体育館	1回	1学級～1学年	－
		国際理解ワークショップ 新貿易ゲーム	資源豊富な国と資源の乏しい国に分かれ、資源を使った商品を作り、貿易（取引）を行う体験をとおして世界経済の仕組みを学ぶ。	小中学校体育館	1回	1学級～1学年	－
		金融リテラシー講座 大切なお金について考えてみよう	身近な題材を用いたクイズやゲームを通して、お金の役割やおこづかいの上手な使い方を楽しく学ぶ。	小中学校体育館	1回	1学級～1学年	－
		スマホ教室 ネット犯罪について考えよう	スマホのメリット・デメリットを学び、親子で使い方を考える。詐欺や犯罪に巻き込まれないための知識を深め防犯につなげる。	小中学校体育館	1回	1学級～1学年	可
		組踊ワークショップ	ユネスコ無形文化遺産である沖縄の伝統芸能「組踊」を知り、郷土文化に興味や関心を感じるきっかけをつくる。	小中学校体育館	1回	1学級～1学年	可

Ⅸ 市民図書館

1. 基本方針

市民図書館は、市民の学びの拠点として、市民が「いつでも・どこでも・だれでも」利用できる図書館サービスを提供するために各種図書及び資料を収集・整理・保存し、図書資料の充実と読書活動の振興を担うとともに、市民や地域が学んだ成果を社会に還元できる場の提供・支援を行い、生涯を通じた市民の学びの充実と整備に取り組む。また、知識基盤社会における知識・情報の重要性を踏まえ、地域の情報拠点施設として利用者の多様な要求に応じ、急速な情報化社会への対応に寄与することを目的とし、以下の運営方針を設ける。

- (1) 市民に開かれた図書館
- (2) 利用者の要求に適切なサービスを提供する図書館
- (3) 市民の文化振興の場としての図書館
- (4) 学びの成果を社会還元する場の提供・支援する図書館
- (5) やすらぎと花と緑のある図書館

2. 重点施策

- (1) 市民が利用しやすい図書館機能の充実
- (2) 市他部署及び各種団体等と連携したイベントや講座の実施
- (3) いつでも気軽に必要情報へアクセスできる環境整備の構築
- (4) 図書館職員の専門性を高める研修の推進

3. 管理・運営状況

- (1) 開館日・時間
 - ・水～日曜日 午前 10 時～午後 7 時
 - ・月 曜 日 午前 10 時～午後 5 時
- (2) 休館日
 - ・火曜日・国民の休日（文化の日を除く）
 - ・慰霊の日（6 月 23 日）
 - ・年末年始
 - ・図書館資料整理日（毎月第4木曜日 ただし、その日が休館日に当たるときはその直後の休館日でない日）
 - ・図書館資料特別整理期間（毎年1回 15 日以内で館長が指定する日）
- (3) 貸出冊数及び期間（令和元年9月 27 日改正）
 - ・個人 図書 10 点以内、雑誌・視聴覚資料 3 点以内 15 日以内
 - ・団体 図書 100 点以内 30 日以内

※ 閉館時の資料返却については、ブックポストを活用（ただし、CD・DVD・ビデオについては、破損の恐れがあるため、開館時のカウンター対応のみ）

ブックポストの設置場所 ・市民図書館玄関入り口横 ・市民会館内
・市立博物館内 ・市立体育館内

4. 利用者実績と目標

(1) 本館

事 項		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 目標	備考
利用者数	1階	39,550 人	49,562 人	48,804 人	49,780 人	※令和5年度を基準に2%増
申請利用者数 (2階)	カルチャーホール	32 人	42 人	0 人	－	※利用者数・申請利用者数共に延べ人数 ＜申請利用件数＞ カルチャーホール(0件) 展示ホール(0件) 会議室(3件) ※学習室は新型コロナ5類移行に伴い申請受付を取りやめ ※市民図書館2階は5月より はごろも学習センター が使用
	展示ホール	99 人	18 人	0 人	－	
	会議室	85 人	223 人	15 人	－	
	学習室	439 人	2,535 人	－	－	
	合計	655 人	2,818 人	15 人	－	
登録者数	市内	28,386 人	30,077 人	31,893 人	32,531 人	※令和5年度を基準に2%増
	(登録率)	28.4%	30.2%	31.9%	－	
	市外・その他	881 人	971 人	1,040 人	－	
	合計	29,267 人	31,048 人	32,933 人	－	宜野湾市の人口(令和5年3月末) 99,757 人
貸出冊数	市内	186,781 冊	229,934 冊	214,382 冊	218,670 冊	※令和5年度値を基準に2%増 ※その他・・・相互貸借・館内視聴など
	市外	4,079 冊	5,008 冊	5,332 冊	－	
	団体	7,590 冊	12,332 冊	12,132 冊	－	
	その他	2,088 冊	2,737 冊	4,092 冊	－	
	合計	200,538 冊	250,011 冊	235,938 冊	－	
開館日数		194 日	259 日	243 日	271 日	※新規システム導入のための休館(前年度より14日減)
一日当たりの貸出冊数		1,034 冊	965 冊	971 冊	853 冊	※一日当たりの貸出冊数 ＝貸出冊数÷開館日数

令和 6 年 3 月 31 日

(2) 移動図書館

事 項		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 目標	備考
利用者数 (延べ数)	公共施設等(11)	3,361 人	3,435 人	2,507 人	3,504 人	※令和 4 年度値を基準に 3%増 (令和 5 年度に新システム移行のため長期の巡回休止期間が生じたことにより令和 4 年度を基準とする。) その他 … イベント企画業務・ステーション不一致など
	公民館(7)	1,220 人	744 人	486 人	759 人	
	民間施設等(7)	1,792 人	1,892 人	1,118 人	1,930 人	
	その他	111 人	0 人	131 人	0 人	
	合計	6,484 人	6,071 人	4,242 人	6,192 人	
貸出冊数	公共施設等(11)	13,958 冊	14,390 冊	10,078 冊	14,678 冊	※令和 4 年度値を基準に 3%増 (令和 5 年度に新システム移行のため長期の巡回休止期間が生じたことにより令和 4 年度を基準とする。) その他 … イベント企画業務・ステーション不一致など
	公民館(7)	6,422 冊	3,612 冊	2,409 冊	3,684 冊	
	民間施設等(7)	9,224 冊	9,473 冊	5,475 冊	9,662 冊	
	その他	535 冊	0 冊	415 冊	0 冊	
	合計	30,139 冊	27,475 冊	18,377 冊	28,025 冊	
開館日数 【移動図書館の稼働日】		199 日	202 日	169 日	212 日	※令和 6 年 6 月 5 日～6 月 7 日まで「新規車両への移管作業」のため運休(3日減)となります。 ※令和 7 年 2 月 12 日～2 月 26 日まで「蔵書点検」のため運休となります。
一日当たりの貸出冊数		151 冊	136 冊	109 冊	132 冊	※一日当たりの貸出冊数 ＝貸出冊数÷開館日数

令和 6 年 3 月 31 日



5. 資料の整備状況

(1) 本館(蔵書数)

単位:冊(点)

事 項	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
図書資料(計)	287,415	288,977	286,575	288,649
一般図書	181,311	182,087	180,631	182,013
児童図書	71,764	72,441	71,195	71,532
郷土図書	33,616	33,732	34,032	34,387
絵画	724	717	717	717
視聴覚資料(計)	13,188	13,445	13,500	13,180
ビデオ	818	817	615	287
CD	8,719	8,812	8,998	9,142
カセット	152	152	155	140
LD	250	250	250	0
DVD	2,539	2,636	2,728	2,823
録音図書	696	764	736	765
視聴覚資料(その他)	14	14	18	23
雑誌	5,561	5,548	5,588	5,485
合計	306,164	307,970	305,663	307,314

令和6年3月31日

(2) 移動図書館(蔵書数)

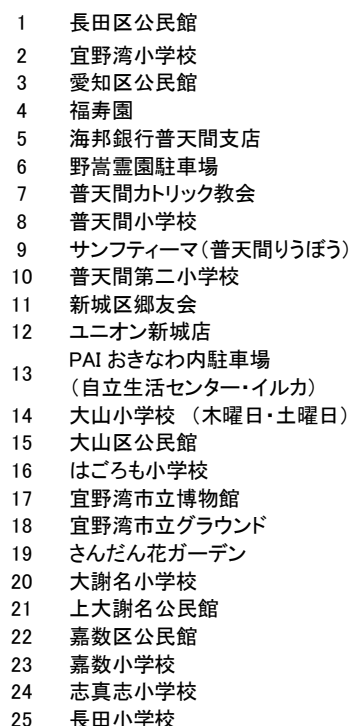
単位:冊(点)

事 項	令和3年度	令和4年度	令和5年度
図書資料(計)	36,532	31,064	27,480
一般図書	18,706	16,169	14,890
児童図書	16,047	13,382	11,345
郷土図書	1,779	1,513	1,245
視聴覚資料(計)	1,886	1,921	2,077
CD	1,752	1,787	1,943
録音図書	134	134	134
雑誌	428	374	110
合計	38,846	33,359	29,667

令和6年3月31日



(1) 令和5年度 ちゅらゆめ号ステーションマップ



ステーション名		巡回数	利用者数	貸出冊数			
				図書	雑誌	視聴覚	計
1	長田区公民館	14	42	192	9	19	220
2	宜野湾小学校	12	324	1,259	3	0	1,262
3	愛知区公民館	19	70	234	32	9	275
4	福寿園	18	74	109	34	68	211
5	海邦銀行普天間支店	12	43	170	12	4	186
6	野嵩霊園駐車場	21	257	1,062	243	62	1,367
7	普天間カトリック教会	21	179	751	58	35	844
8	普天間小学校	9	143	531	2	0	533
9	サンフティーマ（普天間りうぼう）	21	244	736	175	58	969
10	普天間第二小学校	10	108	318	3	0	321
11	新城郷友会	17	45	186	18	0	204
12	ユニオン新城店	20	233	1,212	112	70	1,394
13	PAIおきなわ内駐車場	21	195	871	170	27	1,068
14	大山小学校（土）	18	168	887	91	11	989
	大山小学校（木）	11	239	905	8	0	913
15	大山区公民館	18	187	1,041	45	2	1,088
16	はごろも小学校	9	92	403	2	0	405
17	宜野湾市立博物館	17	75	339	21	30	390
18	宜野湾市立グラウンド	19	289	1,063	87	17	1,167
19	さんだん花ガーデン	19	150	736	46	21	803
20	大謝名小学校	9	92	350	2	0	352
21	上大謝名公民館	16	67	297	72	26	395
22	嘉数区公民館	16	75	220	1	6	227
23	嘉数小学校	9	272	856	1	0	857
24	志真志小学校	11	274	852	1	0	853
25	長田小学校	10	174	669	0	0	669
	その他（イベント企画等）		131	364	16	25	405
総合計		397	4,242	16,613	1,264	490	18,367

- 79 -

(3) 巡回計画表

移動図書館

ちゅらゆめ号巡回日です！

2024年4月～2025年3月

コース	曜日	ステーション	時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A	水	宜野湾小学校	13:00～13:50	★10 ★24	8 22	19	3 ★17 ★31	★14 28	11 25	9 23	6 ★20	4 ★18	15 29		★12 ★26
		愛知区公民館	14:20～15:00												
		長田区公民館	15:20～16:00												
B	木	普天間第二小学校	13:10～14:00		2 16 30	13 27			5 19	3 17 31	14 28		9 23	6	
		普天間小学校	14:30～15:30												
C	金	大謝名小学校	13:00～13:50		17 31	14 28			6 20	4 18	1 15 29		10 24	7	
		嘉数小学校	14:40～15:40												
D	土	大山小学校(土)	10:00～10:40	13 27	11 25	8 22	6 20	3 17 31	14 28	12 26	9	7 21	4 18	1	1 15 29
		ユニオン新城店	14:00～14:40												
		海邦銀行普天間支店	15:10～15:50												
E	日	野嵩霊園駐車場	10:00～11:00	7 21	19	2 16 30	14 28	25	8	6 20	3 文化 17	1 15	12 26	9	9 23
		サンフティーマ(普天間りうぼう)	14:00～14:40												
		新城区公民館(新城郷友会)	15:10～15:50												
F	水	嘉数区公民館	10:50～11:30	3 17	1 15 29	12 26	10 24	7 21	4 18	2 16 30	13 27	11 25	8 22	5	5 19
		宜野湾市立博物館	14:00～14:40												
		宜野湾市立グラウンド	15:10～15:50												
G	木	大山小学校(木)	13:10～14:00		9 23	20	4	29	12 26	10 24	7 21	5	16 30	27	
		志真志小学校	14:40～15:40												
H	金	福寿園	10:00～10:40	★12 ★26	10 24	21	5 ★19	★2 ★16 30	13 27	11 25	8 22	6 ★20	17 31	28	★14 ★28
		はごろも小学校	13:10～13:50												
		長田小学校	14:40～15:40												
I	土	大山区公民館	10:00～10:40	6 20	18	1 15 29	13 27	10 24	7 21	5 19	2 16 30	14 28	11 25	8	8 22
		さんだん花ガーデン	14:00～14:40												
		大謝名団地公民館	15:00～15:40												
J	日	PAI おきなわ内駐車場 (自立生活センター・イルカ)	14:00～14:40	14 28	12 26	9	7 21	4 18	1 15 29	13 27	10 24	8 22	5 19	2	2 16 30
		普天間カトリック教会	15:20～16:00												

(注意事項)

※台風・大雨など悪天候の日、災害時や車両故障・システムの不具合が生じた場合は巡回をお休みすることがあります。

※小学校の巡回においては、児童及び保護者の方のみの利用となります。

※Dコースの大山小学校(土)は、一般の方もご利用できます。

※★印の日の小学校への巡回は、学校が長期のお休み・学校行事等・移動図書館巡回見合わせのためありません。

※車両運行の安全が確保されない場合は、巡回を見合わせる場合があります。あらかじめご了承ください。

(特記事項)

※ 令和7年2月12日(水)～2月26日(水)まで「蔵書点検」のため巡回休止いたします。

作成：2024/4/25

7. 事業計画と活動実績

(1) 令和6年度計画

	特集企画	展示企画	イベント・講演会など	展示室イベント	移動図書館企画
4月	春の関連本	ブックリサイクル			
5月	こどもの日 母の日	歯の健康 食育パネル展	慰霊の日特集		
6月	虫の本 父の日	七タ特集	中央公民館合同・講座イベント企画		戦争と平和を考える
7月	七タ 夏の本	ブックリサイクル	夏休み親子工作教室		夏休み特集 夏を楽しむ本
8月	自由研究関連本	夏休み特集 読書感想文&感想画 課題指定図書	芥川・直木賞（上半 期）		読書感想文&感想画 課題指定図書
9月	敬老の日 お月見	認知症関連特集	防災特集	中央公民館合同・講座イベント企画	外へ出かけよう
10月	秋の本 ハロウィン	読書月間 ミニ絵本展	ブックリサイクル		謎解き ミステリー
11月	恐竜の本 文化関連本	LGBTQ特集	SDGs特集	おもしろ絵本展	読書月間
12月	クリスマス 年末年始	クリスマス関連本	ブックリサイクル		年末年始関連本
1月	千支の本 節分関連	ブックリサイクル	読み聞かせ ボランティア 養成講座		受賞作品特集
2月	資料特別整理期間 令和7年2月12日～令和7年2月26日				
3月	春の本 ひな祭り	ブックリサイクル			春の本特集

令和5年4月1日

(2) 子育て支援ブックスタート

赤ちゃんと保護者に絵本を開く楽しい時間を体験してもらい対象の絵本の中からお気に入りの絵本を提供する取り組み（以下「ブックスタート」という。）で、絵本を介して、赤ちゃんと保護者のコミュニケーションや絆を深めることを目的とする。

また、市民団体、関係部署と連携して読み聞かせの方法、絵本の選び方や子育てに役立つ情報を提供することで、安心して子育てができる環境づくりに寄与すると共に、本に親しむ環境を提供することで、赤ちゃんとその保護者の生涯学習の素地を創出する機会とする。

① 令和5年度実施状況

回目	実施日	対象者数	受診者数	参加者	スタッフ数	手渡率
175	4月15日	68人	45人	45人	3人	100%
176	5月20日	71人	62人	62人	3人	100%
177	6月25日	112人	78人	78人	3人	100%
178	7月22日	76人	69人	68人	3人	99%
179	8月26日	75人	69人	67人	3人	97%
180	9月16日	70人	60人	59人	3人	98%
181	10月15日	128人	102人	100人	4人	98%
182	11月26日	110人	102人	101人	4人	99%
183	12月16日	73人	68人	67人	4人	99%
184	1月28日	68人	61人	59人	4人	97%
185	2月25日	95人	95人	95人	4人	100%
186	3月16日	70人	62人	60人	4人	97%
合計		1,016人	873人	861人	42人	98.6%

・ブックスタートボランティア登録人数 43名

・ブックスタート参加率 約98.6%（ブックスタート参加者/受診人数）

② 令和5年度配布状況

書名	出版社名	配布冊数
くだもの	福音館書店	81冊
ぴょーん	ポプラ社	118冊
まねっこおやこ	ブロンズ新社	387冊
ぽんぽんポコポコ	金の星社	166冊
ぎゅうぎゅうぎゅう	講談社	112冊
5種	計	864冊

※3名は図書館窓口で配布

令和5年度
配布絵本



(3) 令和5年度 イベント・企画等実施状況

【イベント企画・展示会】

- ① りっかりっか図書館（令和5年4月20日～5月15日）
- ② 雑誌リサイクルフェア（令和5年5月10日～5月31日）
- ③ ようこそ！クラシック音楽の世界へ（令和5年5月26日～6月21日）
- ④ 慰霊の日特集（令和5年6月9日～6月26日）
- ⑤ セタ特集（令和5年6月24日～7月10日）
- ⑥ 認知症特集（令和5年8月25日～9月30日） 協力：介護長寿課
- ⑦ 防災特集（令和5年8月25日～9月20日）
- ⑧ からだを動かそう！（令和5年9月29日～10月25日）
- ⑨ 知っていますか？吃音のこと。（令和5年10月16日～10月30日）
- ⑩ 子ども読書週間・ミニおもしろ絵本展（令和5年10月27日～11月22日）
- ⑪ 今年で引退・ありがとう♪「ちゅらゆめ号」パネル展（令和5年10月27日～11月22日）
- ⑫ 「文化の日」読書週間特別巡回実施「大謝名団地公民館・宜野湾市立博物館」（令和5年11月3日）
- ⑬ クリスマス特集（令和5年11月25日～12月27日）
- ⑭ 本の福袋（令和5年1月4日～1月18日）
- ⑮ 芥川賞・直木賞特集（1月4日～2月14日）
- ⑯ バレンタイン特集（1月17日～2月14日）

【本館・特集企画】

坂本龍一悼特集、「旅」特集、「夏・海・空」特集、平岩弓枝特集、読書感想文・感想画2023、司馬遼太郎誕生100周年特集、森村誠一追悼特集、伊集院静追悼特集、美術を楽しむ、西木正明追悼特集、ブックリサイクル（隔月毎）

【移動図書館 特集企画】

母の日、歯の本特集、「慰霊の日」特集、父の日、「夏の本」特集、読書感想文・感想画2023、「文化の日」読書週間特集、クリスマス特集

(4) 施設活用状況

【他部署】

- ① 「宜野湾市男女共同参画週間」パネル展（令和5年7月3日～7月19日）市民協働推進課
- ② 「宜野湾市赤十字奉仕団創立40周年事業」パネル展（令和5年7月19日～8月21日）福祉総務課
- ③ 「世界のウチナーンチュの日」パネル展（令和5年10月16日～令和5年10月30日）市民協働推進課
- ④ 「令和5年度 女性に対する暴力をなくす運動」パネル展（令和5年11月6日～11月20日）市民協働推進課
- ⑤ 「児童虐待防止推進月間」パネル展（令和5年11月6日～11月20日）児童家庭課
- ⑥ 「特定健診・がん検診受診推奨月間」パネル展（令和5年11月20日～12月4日）健康増進課
- ⑦ 「第9期 宜野湾市高齢者保健福祉計画（意見公募）」パブリックコメント（令和5年12月18日～令和6年1月5日）介護長寿課
- ⑧ 「第22回 地域でがんばる仲間たち」パネル展（令和6年1月5日～1月15日）障がい福祉課
- ⑨ 「普天間飛行場跡地利用まちづくり」パネル展（令和6年2月5日～2月15日）まち未来課

X 文化事業

1. 基本方針

(1) 文化財の保護・活用

本市には豊かな自然と歴史に育まれた数多くの有形無形の文化財がある。それらの文化財は永く私たち市民の祖先が生成発展させてきた薫り高い市民環境の一つであり、地域の歴史と文化を知る大切な市民共有の財産でもある。去る沖縄戦において、多くの人命とともに数多くの自然・歴史・文化的財産を失った私達にとって、現存する文化財は計り知れない大切な遺産であり、“先人たちの知恵と工夫”を教える生きた教材でもある。しかし、沖縄戦と戦後の基地造成および都市化の影響で旧村落に関わる文化財は減少する一方であり、また、宜野湾特有の伝統的知識と技術を記憶に残す年配の方々も少なくなっており、それらの記録保存と継承・活用が危ぶまれている。

そこで、『文化財の保護・活用』については、市民の参画と協働によって、地域の歴史と文化を明らかにするとともに、市内各地域はもとより基地返還予定地の“まちづくり”に活かされることを基本方針として下記の施策に基づいた事業を推進する。

- ① 市民の参画と協働による文化財の保護・活用の推進
- ② 地域の歴史と文化を明らかにする埋蔵文化財の保護・活用の推進

(2) 市史の編集

琉球王国時代の 1671 年、本市の母体となる宜野湾間切が首里王府によって設置された(間切とは、現在の市町村の行政区画に相当)。当時の宜野湾は、サトウキビやイモ等を主産業とした純農村地帯で、宜野湾街道と呼ばれる松の並木道が普天満宮から浦添まで続いていた。現在の市役所に相当する間切番所は、宜野湾間切宜野湾村に置かれ、明治以降は宜野湾役場になり、戦前まで宜野湾村の行政の中心地は字宜野湾であった。琉球王国が廃止となり、琉球藩を経て沖縄県となった 1879 (明治 12) 年以降には、沖縄県庁の支庁や教育事務所などの官公署が普天間に置かれ、本島中頭地区の中心地として賑わいをみせていた。

しかし、1945 (昭和 20) 年の沖縄戦において本市域も壊滅的な戦災を被り、当時の人口の約 27%にあたる 3,600 人余の犠牲者を出し、多くの歴史的・文化的・社会的財産を失った。本島南部で最も激しい戦闘が行われた 6 月からは、普天間飛行場の建設も始まった。終戦後に人々が県内各地の収容所から帰ってみると、ふるさとの地のほとんどは米軍基地に接收されており、戦争前の家と村に帰ることを願いつつも様変わりした光景に驚きを感じずにはおれなかった。米軍基地に故郷を接收されてしまい、住民は基地の周りに住まわざるをえなかった。1972 (昭和 47) 年に沖縄が日本に復帰する 10 年前の 1962 (昭和 37) 年には市制が施行され、「宜野湾市」が誕生した。

『市史の編集』については、このような市民の歩みを「市史」として編集・刊行するとともに、市の行政文書や自然・歴史・文化関係資料の収集と保存を進め、それらの資料の市民活用に向けて下記の施策に基づいた事業を推進する。

- ① 宜野湾市の自然・歴史・文化を学ぶ「市史」の編集 [市史編集事業]
- ② 宜野湾市の最新情報を知る「宜野湾関係資料」の収集と保存
- ③ 市民の自発的な地域学習を支える「市史」の普及・活用

2. 文化財の保護・活用

(1) 令和5年度事業実績

① 市民の参画と協働による文化財の保護・活用の推進

○ 文化財詳細分布調査の推進

「戦前来の旧村落に関わる文化財」や「戦中・戦後の貴重な戦跡や文献」の分布調査や「宜野湾特有の伝統的知識と技術」を記憶に残す年配の方からの聴き取り調査を推進し、新規指定、登録文化財のため、その記録保存と保護・活用に努めた。R5年度は、喜友名区から要望がある「喜友名グスク香炉群」の登録文化財についての調査を行った。

○ 文化財保存整備事業

宜野湾市指定文化財（史跡）「野嵩スディバナビラ石畳道」の保存整備に向けた基本設計及び地形測量を実施した。

○ 無形文化財育成事業

我如古スンサーミー・大謝名の獅子舞・普天間の獅子舞・大山の綱引き・真志喜の綱引き・野嵩ちなひちもういの6保持団体に育成補助金を交付し、市内の代表的な伝統文化である無形民俗文化財の保存継承に努めた。また、我如古スンサーミーを九州地区民俗芸能大会（福岡大会）へ沖縄県代表として派遣を行い、広く県外へ周知することができた。

○ 文化財愛護活動推進事業

市民共有の財産である文化財の保護・活用に向けて、市民の参画と協働による広域的なネットワークづくりを進めるために、宜野湾市の文化財ガイドを養成、育成するため「第3回イガルー・シマ文化財ガイド養成講座」を開催し、17名の新規ガイドが誕生した。

○ 西普天間住宅地区跡地利用推進事業（文化財調査）

「西普天間住宅地区内の文化財利活用調査計画業務委託」を実施。西普天間住宅地区内の様々な文化財は、当地区内の公園地内に保存され、それら文化財を学校教育、社会教育など各方面の分野の方々に活用していただく予定となっており、活用の視点を各文化財の基本・実施設計等へ反映させるため、当地区内の文化財の特性や性格を把握し、市内外の文化財利活用に向けた実態や可能性の調査を実施し、利活用方針、利活用計画を策定した。また、当地区に隣接するインダストリアル・コリドー地区においても、既存資料による文化財保存整備基本構想を作成した。

② 地域の歴史と文化を明らかにする埋蔵文化財の保護・活用の推進

○ 埋蔵文化財の保護調整と試掘・確認調査および記録保存調査の実施

【埋蔵文化財の保護調整】

個人や民間事業所が計画する個人住宅建設、共同住宅建設、店舗建設、宅地分譲及び不動産鑑定評価などで提出された埋蔵文化財の有無照会は、331件であった。

埋蔵文化財の有無照会の件数

照会内訳	件数	
	R5	R4
住宅建設	110	124
共同住宅建設	40	32
店舗	8	6
個人兼共同住宅・店舗建設等	23	20
宅地分譲	11	15

照会内訳	件数	
	R5	R4
不動産鑑定評価	35	80
土地家屋調査	15	5
墓地造成	20	36
その他	69	48
合計	331	366

【基地内遺跡ほか発掘調査事業】

平成 27 年 3 月に返還された西普天間住宅地区（旧キャンプ瑞慶覧）内では、文化財の保存整備を目的として新城上殿（いーぬとぅん）遺跡や喜友名グスク遺跡、喜友名ナナヌカー古湧泉群（バシガー・ミーガー）の試掘調査を、普天間飛行場内では開発工事に先立ち宜野湾古集落の試掘調査を行った。特にナナヌカーでの試掘調査では、バシガーへ下りる道跡の一部が確認された。

民間地では、普天間県立農業試験場跡、野嵩上後原（ういーくしばる）古墓群、喜友名東原ヌバタキ遺跡、真志喜森川原（むんぬかーばる）第一遺跡の各埋蔵文化財包蔵地と字我如古、字伊佐において開発工事のための試掘調査を実施し、真志喜製立原（しーたていばる）古墓群では古墓改葬に伴う記録保存調査を行った。製立原古墓群では、4 基の古墓のほか、1 基の壕跡が確認された。

また、遺跡の保存整備を目的とした市指定史跡「野嵩スディバナピラ石畳道」の範囲確認調査では石畳の全面検出を行ったほか、我如古グスクでは遺跡の保存を目的とした分布調査を行った。

報告書については、本市が文化庁国庫補助を受けて普天間飛行場内において平成 20 年度に実施した上原濡原遺跡の範囲確認調査と、平成 25 年度に実施した赤道シキロー流域古墓群の分布調査の報告である「基地内埋蔵文化財調査報告書 9」と、「令和 5 年度版文化財情報図」を刊行した。



バシガー付近の調査（遺構検出状況）



野嵩スディバナピラ石畳道（石畳検出状況）

【西普天間住宅地区埋蔵文化財緊急発掘調査事業】

西普天間住宅地区の跡地利用計画で、宅地等が計画されている部分の記録保存調査を実施した。今回調査した遺跡は喜友名下原第二遺跡である。

き ゆ な し ち や ば る 喜友名下原第二遺跡

概要：グスク時代（集落跡）、近世～近代（道路跡、畑跡）の複合遺跡

成果：遺構は、近世～近代に構築されたと見られる礫敷や土留め、耕作に係る溝跡などが検出された。礫敷や土留めは当該地区内に通っていたとされる中頭方西海道の一部と考えられる。礫敷（近世層）の直下からはグスク土器やカムイヤキ、青磁、白磁等を含む層が検出され、地山（マージ）面にて 1400 基程のピットや被熱して礫や土が赤く変色した炉跡などが検出された。



グスク時代頃と考えられる溝跡



溝跡内から出土した中国産青磁



中頭方西海道の一部（近景）



金属遺物出土遺構（鍛冶遺構？）



喜友名下原第二遺跡（全景）



中国産青磁出土状況

(2) 令和6年度事業計画

① 市民の参画と協働による文化財の保護・活用の推進

○ 文化財詳細分布調査の推進

「戦前来の旧村落に関わる文化財（民家、湧泉、拝所等）」や「戦中・戦後の貴重な戦跡や文献」の詳細分布調査や、「宜野湾特有の伝統的知識と技術（生業、年中行事、地名等）」を記憶に残す年配の方からの聴き取り調査などを推進し、その記録保存と保護・活用に努める。

○ 市指定および登録文化財の新規指定・登録の推進

国や県指定以外で、市にとって重要な文化財について、その保護・活用のために必要な措置を講じ、もって市民の文化的向上に資するとともに、市の文化の進歩に貢献するために、市内に所在する重要な文化財の新規指定・登録を行う。令和6年度は、喜友名区からの要請を受けて「喜友名グスク香炉群」を、市の登録文化財として新規登録を検討している。

- 文化財保存整備事業

市内に所在する指定文化財は、数百年前に建造・生育や作製されたものであり、開発や異常気象などにより、今後の保存と公開活用・安全管理が懸念されている。よって、指定文化財の保存整備を進め、市内に所在する文化財の保存公開を図る。今年度は「野嵩スディバナビラ石畳道」の保存整備のため実施設計・境界杭設置の測量を行う。

- 無形文化財育成事業

市内の代表的な伝統文化である無形民俗文化財の保存継承に向けて、我如古スンサーミー・大山の綱引き・真志喜の綱引き・野嵩ちなひちもうい・大謝名の獅子舞・普天間の獅子舞の6保持団体に育成補助金を交付する予定である。

- 文化財愛護活動推進事業

市民共有の財産である文化財の保護・活用に向けて、市民の参画と協働による広域的なネットワークづくりを進める。今年度は、主に明治以降に成立した屋取集落を母体とする「真栄原区」、「長田区」、「中原区」、「愛知区」において第21回 宜野湾市イガルー・シマ文化財教室を開催する予定である。

- 西普天間住宅地区跡地利用推進事業（文化財調査）

西普天間住宅地区返還後の円滑な跡地利用の促進及び円滑化に向けて、歴史・文化遺産の詳細な分布状況と内容を把握し、重要文化財の評価・選別を行い、跡地利用に係る基本計画と整合性を図り、文化財の保存・活用を図ることを目的とし、今年度は「西普天間住宅地区の喜友名グスク他の基本設計」を行う。

② 地域の歴史と文化を明らかにする埋蔵文化財の保護・活用の推進

- 埋蔵文化財の保護調整と試掘・確認調査および記録保存調査の実施

【埋蔵文化財の保護調整】

個人や民間事業所が計画する住宅建設、不動産鑑定評価等に際して提出される埋蔵文化財の有無照会は、速やかに関係機関と調整を行う。また行政機関や在沖米軍などが計画する開発工事も、同様な取り扱いをする。

【基地内遺跡ほか発掘調査事業】

市内に所在する埋蔵文化財の詳細な分布状況を把握するとともに、埋蔵文化財が所在する場所における個人住宅建設や行政機関や在沖米軍などの開発工事に際しては、事前に埋蔵文化財の試掘・確認調査や記録保存調査を実施する。

【西普天間地区埋蔵文化財緊急発掘調査事業】

西普天間住宅地区等の開発工事に伴い、過年度に実施した調査成果を整理し、発掘調査報告書を刊行する。

【真志喜地区急傾斜地崩壊対策に伴う緊急発掘調査事業】

沖縄県が実施する真志喜急傾斜地崩壊対策工事に際して、埋蔵文化財に影響があると判断された場合は記録保存調査を実施する。

(3) 国・県・市指定文化財と埋蔵文化財

国・県・市では文化財保護法や条例・規則などを定めて、地域に残された文化財のうち国・県・市にとって重要な文化財を所有者等の同意と学識経験者の検討を踏まえて指定・登録し、その保護・活用に努めている。市内で指定・登録された文化財は、国指定文化財が2件、県指定文化財が3件、市指定文化財が21件、市登録文化財が2件の合計28件となっている。

埋蔵文化財は土地に埋蔵されている有形の文化財を指し、埋蔵文化財を包蔵する土地が埋蔵文化財包蔵地（遺跡）である。埋蔵文化財は他の種別の文化財と異なり、その性格・内容などが不明なために、すべての埋蔵文化財包蔵地が文化財保護法の対象となる。現在市内には345箇所の埋蔵文化財包蔵地が確認されている。

従って、国・県・市の関係法令などにより、市域の文化財に保護・活用の規制が加えられたものは、上記の指定・登録文化財28件と埋蔵文化財包蔵地345箇所を加えた373件が相当する。

国指定文化財

指 定 名 称	所 在 等	内 容
ちゅんなーがー ①喜友名泉 (有形文化財[建造物]) 平成4年8月10日指定	喜友名：県道81号沿いの斜面緑地にある喜友名区の村泉（ムラガー）。	沖縄県を代表する石造湧泉である。イナグ（女）ガーとも呼ぶカーグーは日々の飲料水や洗濯に使われ、イキガ（男）ガーとも呼ぶウフガーはワカミジ（若水）・ウブミジ（産水）を汲み、牛馬に水浴びをさせる場所であった。
おおやまかいづか ②大山貝塚 (史跡) 昭和47年5月15日指定	大山：大山集落の大事な拝所であるミスクヤマと呼ばれる山林にある縄文時代後期相当の遺跡。	1958年に賀川光夫氏と多和田眞淳氏により、県内で初めて考古学的手法を用いて発掘調査された遺跡である。約3000年前の地層から多量に出土した深鉢形土器は大山式土器と呼ばれ、沖縄の指標土器となっている。

県指定文化財

指 定 名 称	所 在 等	内 容
おろくばか ①小禄墓 (有形文化財[建造物]) 昭和33年1月17日指定	嘉数：戦跡として知られる嘉数高台の北側、比屋良川沿いの断崖にある古墓。	断崖の中腹を掘り込んで、正面を石積みで塞いだ古式の墓である。葬儀の際には、正面中央の石積みを取り外し、棺を入れた御轎（ウチュウ：肩でかつぐ輿）ごと入れる。
おろくばかないいし ②小禄墓内石厨子 (有形文化財[彫刻]) 昭和33年1月17日指定	嘉数：小禄墓に納められている。中国産の石材（閃緑岩）製の大型蔵骨器。	蔵骨器の正面中央には、『弘治七年おろく大やくもい六月吉日』の銘文があり、沖縄最古級（1494年）の平仮名による記録である。全体に浮き彫りが施され、蓋には屋根瓦に火炎宝珠と龍、身には花活けを持った二人の童子や蓮弁などがあしらわれる。

指 定 名 称	所 在 等	内 容
ぎ の わん し もり か わ ③宜野湾市森の川 (名 勝) 昭和 42 年 4 月 11 日指定 平成 12 年 5 月 19 日追加指定	真志喜：森川公園内に所在する真志喜区の村泉（ムラガー）。村の聖地であるウガンヌカタも指定地内に所在。察度王の生誕にまつわる羽衣伝説で知られる。	湧き出した水が地面を削ってできた溪谷泉で、1725（雍正 3）年に向氏伊江家（首里士族）により石造で整備された。1957（昭和 32）年にはここを水源とする簡易水道が造られ、姿が変わってしまったが、その後の上水道整備と琉球政府による名勝指定により修復工事が行なわれ、現在の姿となった。

市指定文化財

指 定 名 称	所 在 等	内 容
お ろ く ば せ き ち ょ う こ う ろ ①小禄墓石 彫 香炉 (有形文化財[彫刻]) 平成 3 年 8 月 1 日指定	嘉 数：小禄墓の墓庭にある。中国産の石材（輝緑岩）で造られた香炉。	香炉の四面に火炎宝珠（又は太陽）や麒麟・花生け、四隅に獅子が浮き彫りされている。1806（嘉慶 11）年に馮姓の士族より寄進された。
お ろ く ば せ き ち ょ う じ し ②小禄墓石 彫 獅子 (有形文化財[彫刻]) 平成 3 年 8 月 1 日指定	嘉 数：小禄墓の墓庭にある。一對の閃緑岩製の石彫獅子。	未指定の花崗岩製の香炉の両脇に置かれた石彫獅子である。獅子は立ち上がった形であるが磨滅が著しく元の姿がわかりづらい。本来は墓守として墓の両サイドに置かれたと思われる。
ま し き さ き ま け も ん じ ょ ③真志喜佐喜真家文書 (有形文化財[古文書]) 平成 3 年 8 月 1 日指定	真志喜：琉球王国時代の「真志喜のろ（謝名のろ）」の生家である奥間家（屋号）に伝わる古文書。	琉球王国時代に、宜野湾西海岸一帯のムラの祭祀を司った地方女神官である謝名のろ職の継承や職名変更の経緯が記された文書で、人々の祖霊観等も記される。
め い じ と ち だ い ち ょ う ふ ぞ く ち ず ④明治土地台 帳 附属地図 (有形文化財[歴史資料]) 平成 3 年 8 月 1 日指定	野 嵩：市立博物館保管の村図（大字図）10 葉と宇地泊区自治会保管の字図（小字図）3 葉。	明治政府による土地改正に伴う土地台帳の附属地図として明治 30 年代に作成された。村図は 6000 分の 1、字図は 1200 分の 1 の縮尺図で当時の土地利用や、区画の様子が詳しくわかる。
が に く ⑤我如古ヒージャーガー (有形民俗文化財) 昭和 51 年 4 月 2 日指定	我如古：我如古区公民館の後方崖下を流れる志真志川沿いにある区のムラガー（村泉）。	我如古の人々が共同で使う湧き水の中で最も古い湧泉と言われ、重要な聖地でもある。岩盤を削って平石をはめ込んだ 15 段の石段、湧泉を取り囲む積み石などが特徴的で 1892（明治 25）年頃の石造建築である。
き ゆ な い し じ し ぐ ん ⑥喜友名の石獅子群 (有形民俗文化財) 平成元年 3 月 31 日指定 平成 25 年 3 月 27 日追加指定	喜友名：喜友名区の旧集落を取り囲む石獅子群。指定された石獅子は 7 体。	村獅子としては沖縄最多の 7 体の石獅子群で、他にヒージャーグーファーやウフブタと呼ばれる石体があり、石獅子とあわせて邪悪なものから村を守る。

指 定 名 称	所 在 等	内 容
ふてんま ししまい ⑦普天間の獅子舞 （無形民俗文化財） 平成元年３月３１日指定	普天間：普天間拝所にて旧暦 ７月１３・１５日、８月１５日と普 天満宮例祭にて開催。	琉球国王尚元（１５２８～１５７２）から村興しの神 として普天間に贈られた説や普天間の 「赤 馬」と野嵩の「獅子」を取り替えた説がある。 細かい芸や演劇的な所作により構成される演 技は多くの特徴がある。
おおじゃな ししまい ⑧大謝名の獅子舞 （無形民俗文化財） 平成元年３月３１日指定	大謝名：戦前は旧暦７月１５日 と８月１５・１６日の３回開催さ れたが、現在は大謝名公民館に てあきまつりと旧暦８月１５日 に開催。	踊りが素朴かつ勇壮であり、四方へ吠えるとい う獅子本来の魔除けの性質を示すなど 威 厳さが保たれている。１９７６（昭和５１）年に３３ 年ぶりに復活した。
が に く ⑨我如古スンサーミー （無形民俗文化財） 平成７年１２月２７日指定	我如古：戦前は我如古平松の下 で旧暦３月３日に行われていた が、現在は我如古区公民館で その旧暦３月３日以後の週末 に開催。	我如古の女性達が豊年と子孫繁栄を願って行 うサングウチャー行事の１つとして受け継が れたスンサーミー、スーラキ節、今帰仁節の ３曲の唄と踊りが指定されている。スンサー ミーだけは、四つ竹を打ちながら踊る。
の だけ いしだみみち ⑩野嵩スディバナビラ石 畳 道 （史 跡） 平成元年３月３１日指定 令和５年２月２１日追加指定	野 嵩：野嵩の東端から中城村 登又区を結んでいた道。斜面に 石畳が敷かれているが、現在は 県道２９号線に分断されている。	首里王府より旧中城間切を通り旧勝連・具志 川間切に至る公道（宿道）の一部で、路面に は直径３０ｃｍ前後の平らな石を敷き詰め勾配 を１０～１６度に保っている。護佐丸・阿麻和利 の乱に由来してスディバナビラ（袖離坂）と 呼ばれた。
の だけ ⑪野嵩クシヌカー （史 跡） 平成元年３月３１日指定	野 嵩：普天間（南）交差点を 中城村向けに約３００ｍ進み、野 嵩１丁目のバス停近く。	野嵩区のムラガー（村泉）で、市内でも高い場 所（標高８１ｍ）にある湧泉の一つである。壁 面を布積みと相方積みで階段状に仕上げる。 共同の生活用水としてだけでなく、戦中・戦 後の収容所時代には軍作業の洗濯場として使 われた。
い さ はま しんぞうさあてんはし ひ ⑫伊佐浜「新造佐阿天橋碑」 （史 跡） 平成元年３月３１日指定	伊 佐：特別養護老人ホーム愛 誠園の東側に延びる旧護岸の そばに建つ「伊佐浜の碑文」と も呼ばれる石碑。	琉球王国時代の「中頭方西海道」の公道整備 の際に、北谷町北前区にあった佐阿天橋の新 造を記念して１８２０（嘉慶２５）年に建立さ れた。
おおやまうたき ひ ⑬大山御嶽碑 （史 跡） 平成元年３月３１日指定	大 山：国道５８号沿い株式会 社ジミー後方に所在する伊波 門中の聖地であるイハヌウガ ングワーに建つ石碑。	大山区の旧家のひとつ伊波門中の由来と拝み について記され、１７６１（乾隆２６・尚穆１０）年 に当時の宜野湾間切の上級役人層等によって 建立された。
い さ バル めい ⑭伊佐「たけたう原」銘の しるびどて 印部土手（史 跡） 平成３年８月１日指定	喜友名：パイプライン伊佐向け の山手側、普天間飛行場近くの 佐渡山音楽教室より道沿いに 約１００ｍ山手側をのぼり、西側 の山林内にある。里道端に案内 板あり。	琉球王国が独自で実施した元文検地（約２５０ 年前）の土地測量の際に設置された図根点で ある。根張石で土どめされた土手に原名と記 号が彫られた印部石が設置され、当時の様子 のまま残っている。

指 定 名 称	所 在 等	内 容
にしもり ひ き ⑮西森碑記 (史 跡) 平成3年8月1日指定	真志喜：県指定文化財である「宜野湾市森の川」のウガンヌカタにある石門の裏手に立つ石碑。	尚清王ゆかりの伊江家が、先祖の徳をしのび、石門と森の川の石積み整備の完成を記念して、1725（雍正3・尚敬13）年に建立した。
おおじやな ⑯大謝名メヌカー (史 跡) 平成3年8月1日指定	大謝名：大謝名区のムラガー（村泉）で、付近はかつてナトゥダバル（港田原）と呼ばれる入江だった。大謝名小学校近くに所在。	3本の樋口が整備され大謝名の人々が生活用水や人生儀礼に係る水を汲んだムラガー。周囲は3段の野面積みで土留めをしている。カーヘ下りるカービラの25段の石段もきれいに残っている。
おおやま どうけつ いせ き ⑰大山マヤーガマ洞穴遺跡 (史 跡) 平成11年2月23日指定	大 山：普天間飛行場の大山ゲート近く、大山区の「醴泉之塔」の北隣に所在。	出土した遺物（人骨・副葬品、生活用品、蔵骨器等）から約3000年前に墓として利用されたのを始めとして、生活の場、墓、と時代により利用方法が違ったことや、墓としての利用も時期によって埋葬方法が違う事が確認できた。
もと ぶ どう どん ば か ⑱本部御殿墓 (史 跡) 令和3年2月25日指定	我如古：宜野湾市と西原町との市境近く、沖縄病院の道向かい、しいの実保育園南側の丘陵に所在。	第二尚氏王統第十代尚質王の六男・尚弘信、本部王子朝平を元祖とする亀甲墓で、市内の古式亀甲墓と類似する。元祖朝平が洗骨された1694（康熙33・尚貞26）年以降に造墓されたと推察される。
ふてんま ぐ どう け つ ⑲普天満宮洞穴 (名 勝) 平成3年8月1日指定	普天間：旧琉球八社の一つである普天満宮の境内にある洞穴で、洞穴内には拝所の奥宮が所在。	全長280mを測る洞穴で、つらら石や石柱などの鍾乳石が発達している。入口付近では数万年前のシカの化石や縄文時代相当の遺物などが出土する。
⑳ ウデナガサワダムシ (天然記念物) 昭和51年5月29日指定	市全域：上記の「宜野湾市森の川」後方のマヤーアブと野嵩一区にあったターバルガマと呼ばれるガマ（洞穴）に生息。	湿度が高くて暗い場所に適応した体長5～6mm程の小さな虫で、クモやサソリの仲間である。限られた場所だけに生育し、移動する力が極端に弱いので、地域の地史を語る貴重な生き物である。
おおじやな たんすいこうそう ㉑大謝名メヌカー淡水紅藻 (天然記念物) 平成3年8月1日指定	大謝名：上記の大謝名メヌカーの樋（水口）と湧き水の落ちる底石に生育する。	2種の淡水紅藻（オオイシソウ、タニコケモドキ）が生育。本市の豊かな湧泉と河川を特徴づける植物で、本市の地勢の成り立ちを教える生きた化石でもある。いずれもレッドデータブックに掲載されている。

市登録文化財

登 録 名 称	所 在 等	内 容
① かみやま あいち 神山・愛知ヌールガー (有形民俗文化財) 平成 25 年 3 月 28 日登録	愛 知：普天間飛行場の近く、宜野湾小学校脇の道を通り、あいのもり保育園の裏手側斜面に所在。	宜野湾ノロに関わる湧泉という伝承があり、当初は宜野湾のカリカル（嘉手苺：屋号）が管理していたようである。戦前までは神山集落の旧家が崇拝し、戦後は字神山郷友会がハチウビー（初御水）の際に巡拝する。愛知では、ウブガー（産泉）として敬っている。
あざぎのわん なんちゅうさいし ② 字宜野湾の 年 中 祭祀 (無形民俗文化財) 平成 26 年 8 月 15 日登録	宜野湾：「土帝君例祭」は宜野湾区公民館裏の土帝君で旧暦 2 月 2 日に、「カーサレー拝み」は普天間飛行場内のウブガーで旧暦 6 月 25 日に、「シマクサラシ」は宜野湾区内で旧暦 8 月 10 日に行われる。	戦前まで字宜野湾で行っていた年中祭祀のうち現在まで受け継がれている祭祀で宜野湾区自治会と字宜野湾郷友会が合同で行っている。「土帝君の例祭」では豊作と集落の安寧を祈願し、「カーサレー拝み」ではウブガー（産泉）の清掃を行い、「シマクサラシ」では集落内に入ってくる悪い伝染病を防ぐことを祈願する。



市指定史跡 野嵩クシヌカー(平成元年3月 31 日指定)



【国指定文化財】(有形文化財[建造物])

喜友名泉① カーグー

布積みと相方積みの併用で精巧に噛み合う石積み
が施され、3ヶ所の湧水口には石樋が架かります。安
置する香炉の銘文から、明治 22 年に新造もしくは修
造されたようです。



【国指定文化財】(史跡)大山貝塚

戦前に建てられた祠に向かって左側にくぼ地が
あり、県内初の「層位学」に基づく発掘調査が行わ
れました。多量に出土した深鉢型土器は大山式土
器と名付けられ年代決定の指標とされています。



【県指定文化財】(有形文化財[彫刻])

小禄墓内石厨子

蔵骨器正面中央の銘文にある「おろく大やくも
い」の「おろく」は集落名を、「大やくもい」は琉球
王国時代の高級官人の肩書をあらわしています。



【国指定文化財】(有形文化財[建造物])

喜友名泉② ウフガー

布積みを基調とした堅牢な造りで、巨石造りです。
東壁に2ヶ所、南壁に1ヶ所の湧水口があります。北
側の壁には紐くり石があり、牛馬の手綱を結んだよ
うです。



【県指定文化財】(有形文化財[建造物])

小禄墓

比屋良川沿いの断崖に横穴状に掘り込んだ、古
い墓群の中のひとつで、幅 8.5m、高さ 2.4mを測りま
す。



【県指定文化財】(名勝)

宜野湾市森の川

1725(雍正3)年、尚清王にゆかりのある有力
士族伊江家が溪谷泉を石造で整備した湧泉
で、布積みと相方積みが併用されています。

3. 市史の編集

(1) 市史編集の基本的な考え方

市史の編集は、1979(昭和 54)年に市史編集委員会が再スタートして以来、市史 19 冊、市(村)報縮刷版4冊、報告書9冊(CD・DVD映像報告 2 枚含む)の計 32 冊を刊行、製作をしてきた。これらの刊行にあたっては、次の市史編集の考え方と方法に基づいている。

① 編集の考え方

- みなさんの市史
- 市民が作る市史
- 広い視野に立つ市史
- 資料の収集の上に立つ市史
- 市民生活を記録する市史
- 近現代を重視した市史

② 編集の方法

市史は、大別して本編と解説編(普及版)および別冊により構成され、さらに本編は通史編・資料編・追録編に分かれている。編集に際しては、学識経験者と学校教育および社会教育の関係者等から構成される「市史編集委員会」によって調査・審議を行っている。

- 本編は、市の自然・歴史・文化等を、市民の「市史」という観点から編集する。
- ・通史編は、刊行された資料編の成果に基づき、平易な記述によってまとめる。
- ・資料編は、市の歴史・文化・社会を詳しく知るための多様な資料を網羅する。
- ・追録編は、当該資料編の刊行後に、新しい資料や知見があった際に刊行する。
- ・別冊は、本編に付随する刊行物で、本編を補完するためにまとめる。
- 解説編は、刊行された通史編と資料編の「市民への普及・活用」を目的として、写真や地図またはイラスト等を多用して、読みやすくまとめる。

(2) 令和6年度事業計画

* 市史編集業務は、市立博物館学芸係内で進めている。

1. 宜野湾市の自然・歴史・文化を学ぶ「市史」の編集

① 市史編集事業

・『宜野湾市史』民俗編(解説編)の刊行に係る専門委員会の設置及び委員会の開催及び聞き取り調査、資料収集・分析等。

2. 宜野湾市の最新情報を知る「宜野湾関係資料」の収集と保存

①市行政文書の収集と保存

- ・保存年限が経過して廃棄された市行政文書の中で、歴史資料として保存する必要がある文書を歴史公文書として引き取り、その整理・登録・保存を行う。
- ・整理を終えてデータ化した歴史公文書の内、公開に適する公文書を博物館 HP にて公開する。
- ・博物館所蔵の写真類のデジタル化を行い、被写体の情報入力等が終わった資料で、公開可能な写真を博物館 HP にて公開する。

② その他の宜野湾関係資料の収集と保存

・宜野湾関係の写真・古地図・古文書等を収集する。

3. 市民の自発的な地域学習を支える「市史」の普及・活用

- ・博物館広報誌「はくぶつかんネット」内において、市史だより「がちまやあ」で市史の普及を図る（年3回）。
- ・市報ぎのわん「茶ぐわーゆんたく」の連載（年6回）を行う。

(3) 令和5年度事業実績

1. 宜野湾市の自然・歴史・文化を学ぶ「市史」の編集

① 市史編集事業

- ・『宜野湾市史』教育編に係る資料収集、原稿執筆、専門委員会の開催、『ぎのわん 教育のあゆみ』刊行。

2. 宜野湾市の最新情報を知る「宜野湾関係資料」の収集と保存

①市行政文書の収集と保存

- ・整理を終えてデータ化した本土復帰以前の歴史公文書の内、公開に適する公文書9冊を博物館 HP にて公開した。
- ・保存年限が経過して廃棄が決定された市行政文書のうち、歴史資料として保存の必要がある文書を引き取り、その整理・登録・保存を行った。
- ・歴史公文書等整理・活用事業において、博物館所蔵の 36 万枚余の写真類の内、51,993 枚のデジタル化及びデータベース化を行った。
- ・被写体に係る情報入力をした写真類のうち、公開可能な写真 68 件を博物館 HP にて公開した。

3. 市民の自発的な地域学習を支える「市史」の普及・活用

- ・博物館広報誌「はくぶつかんネット」に市史だより「がちまやあ」を収録し、配布（年3回）。
- ・市報ぎのわん「茶ぐわーゆんたく」の連載（年6回）。

(4) 刊行本一覧

① 『宜野湾市史』巻別・編別一覧

巻 別	編 別 題 目	収 録 内 容	発行年	備考
第 1 巻	通 史 編	宜野湾の歴史・文化・自然などを知る格好の入門書。	H6.3	
第 2 巻	資 料 編 1 新聞集成 I	明治 31 年から大正 7 年までに発刊された新聞から主要記事を選択して収録。	S55.11	
第 3 巻	資 料 編 2 市民の戦争体験記録	戦争を体験した宜野湾市民は、戦争をどうみ つめ、どう考えたかを綴った生の証言集。	S57.11	
第 4 巻	資 料 編 3 宜野湾関係資料	多くの古文書の中から宜野湾市に関する主 要内容を選択して収録。	S60.3	
第 5 巻	資 料 編 4 民 俗	近代ジノーンチュの生活様式を分野別に分 けて、描き出した生活記録。	S60.3	
第 6 巻	資 料 編 5 新聞集成 II	大正 8 年から昭和 20 年 10 月までに発刊さ れた新聞から主要記事を選択して収録。	S62.2	
第 7 巻 上	資 料 編 6 新聞集成 III 上	昭和 20 年 7 月から昭和 33 年までに発刊さ れた新聞から主要記事を選択して収録。	S63.3	
第 7 巻 下	資 料 編 6 新聞集成 III 下	昭和 34 年から日本復帰の昭和 47 年までに 発刊された新聞から主要記事を選択して収録。	S63.12	
第 8 巻	資 料 編 7 戦後資料編 I 戦後初期の宜野湾 (資 料 編)	宜野湾の戦後初期について、行政文書と市 民の体験記でまとめた。	H20.3	
第 8 巻 解説編	宜野湾 戦後ののはじまり (資 料 編 7 戦後資料編 I・解説編)	本市の戦後の様子をわかりやすくまとめた、 歴史と現在が学べるビジュアル本。(初版 H21・ 2 版 H28)	H21.3 H28.6	
第 8 巻	資 料 編 7 戦後資料編 II 伊佐浜の土地闘争 (資 料 編)	1955(昭和 30)年の伊佐浜の土地闘争につ いて関連史料や証言を記録としてまとめた資料 集。	H31.3	
第 8 巻 解説編	伊佐浜の土地闘争 (資 料 編 7 戦後資料編 II・解説編)	1955(昭和 30)年、伊佐浜で起きた米軍によ る土地接收を紹介したビジュアル版。	R3.3	
第 9 巻	資 料 編 8 自 然(資料編)	民間地はもとより基地内も含む地質・地形・ 動植物等の自然総合調査資料。	H12.3	
第 9 巻 追録編	自然とヒト (資 料 編 8 自然・追録編)	自然とヒトとのつながりをテーマに、動植物の 方言、宜野湾並松、農事試験場についてまと めた。	H15.3	
第 9 巻 解説編	ぎのわん自然ガイド (資 料 編 8 自然・解説編)	本市の自然とふれあい、観察できるように、 わかりやすくまとめた自然ガイドブック。(初版 H13・2 版 H15)	H13.3 H15.6	在庫切れ

別 冊	写真集「ぎのわん」	戦前・戦後の写真を収録した目で見える宜野湾の歴史。	H3.10	
別 冊	戦後初期の宜野湾 ―桃原亀郎日記―	戦後2代目の村長、桃原亀郎が記した日記。戦後初期の宜野湾を窺うことができる資料。	H9.3	
別 冊	ぎのわん市の戦跡	平和学習の教材として各字の戦災状況の概要・慰霊塔・戦没者数・避難壕等をまとめた小冊子。(初版 H10・2 版 H15)	H10.3 H15.6	残部 僅少
別 冊	ぎのわん 教育のあゆみ	琉球王国時代から現代にいたるまでの宜野湾の教育をまとめたビジュアル冊子。	R6.3	

② 宜野湾市(村)報縮刷版

題 目	収 録 内 容	発行年	備考
第1集	1957年8月～1967年12月(創刊号～第95号)	S58.1	
第2集	1968年1月～1978年3月(第96号～第197号)	S58.1	
第3集	1978年6月～1983年4月(第198号～第253号)	H4.9	
第4集	1983年5月～1988年12月(第254号～第321号)		

③ 市内民俗芸能調査報告書とCD・DVDなど

題 目	収 録 内 容	発行年	備考
ぎのわんの針突	1981年度と1993年度に調査した市内のハジチ習俗について記録。	H7.3	非売
ぎのわんの西海岸 ―土地利用・地名・海(イノー)・自然―	宜野湾の西海岸に接する5地区の地名を中心に土地利用の変遷や自然状況をまとめた。	H8.3	非売
野嵩マールアシビ 組踊 宜野湾敵討	野嵩の村遊びや大正13年頃まで演じられていたとされる組踊「宜野湾敵討」を記録。	H8.3	非売
村芝居 ―ぎのわんのムラアシビ―	普天間・新城・野嵩を主に市内各字の村遊びについてまとめた。伝統文化の継承を図るために上演台本も収録。	H13.3	
読んで知る＊ ぎのわんの綱引き	市内の綱引き行事について戦前・現代の綱引きと綱引き歌、その総括と解説をまとめた。	H17.12	在庫切れ
音にきく＊映像に見る ぎのわんの綱引き	市内の綱引き行事で歌われた綱引き歌のCDと現在の綱引き行事をDVDに納めた。	H17.2	
ぎのわんの地名 ―内陸部編―	宜野湾村(市)の内陸部17カ字の戦前の集落や暮らしの様子など人々の生活に根ざした地名を記録。	H24.3	在庫切れ
ぎのわんの サングワチャー	市内のサングワチャー(三月)行事について、戦前・戦後の様子をまとめた。また宜野湾と我如古で行われる行事をDVDに納めた。	H29.3	
佐喜真興英 ―生誕百年記念事業報告書―	郷土の偉人佐喜真興英の生誕百年を記念して実施した事業を報告書としてまとめた。	H6.3	非売

※ 上記に紹介した刊行本は、市立博物館と文化課において販売している。

XI 市立博物館

1. 基本方針

博物館法の趣旨に基づき、「地域に根ざし、地域に学び、地域に奉仕する」ことを理念に社会教育機関としての使命を果たすため、1999(平成11)年6月に開館した。

博物館事業については、歴史、民俗、考古、自然に関する資料を収集・保管し、教育的配慮のもとに市民の利用を積極的に推進するとともに、市民の皆様から寄贈していただいた貴重な資料の公開事業として各種の「企画展」や「講演会・野外見学会」などを開催している。また、学校との連携を推進して児童生徒の地域学習の場を提供し、博物館を起点に地域と学校とを結ぶ架け橋となる博物館運営を進めている。

2. 重点目標

博物館では、本市の歴史・文化・自然的な特色を活かした企画展を開催する。また、生涯学習時代に対応するために地域と連携し、教育的需用に応える地域学習の場として博物館市民講座を開講する。あわせて学校との連携を推進し、児童・生徒の地域学習の場として、博物館での体験学習や展示資料を利用した授業の実施などの充実を図り、地域に愛着と誇りを持つ児童・生徒の育成に努める。

そして「地域に根ざし、地域に学び、地域に奉仕する」ことを目的として時代のニーズに合った「学校現場と地域団体の文化活動の拠点」となる市民参加型の博物館を目指す。

3. 施設の内容

○敷地面積:4,710 m²

○建築面積:1,390 m²

○延床面積:1,999 m²[一階:1,281 m²、二階:311 m²、地下:394 m²、その他:13 m²]

名 称		主 な 利 用 内 容	面 積
展 示 部 門	常設展示室	宜野湾市の歴史などの“あらまし”をいつでも学べる場所。	400 m ²
	企画展示室	市の特色を知る期間限定の企画展や講演会等を行う場所。	130 m ²
	展示準備室	企画展や講演会などの準備を行う場所。	23 m ²
収 蔵 部 門	大 収 蔵 庫	歴史・民俗・考古などに関する博物館資料を保管する場所。	192 m ²
	特別収蔵庫	紙類や布類などの博物館資料を保管する場所。	48 m ²
	収蔵庫前室	収蔵庫と特別収蔵庫への虫菌などの侵入を防止する場所。	15 m ²
	く ん 蒸 室	博物館資料の殺虫・殺菌の作業を行う場所。	18 m ²
	地 下 倉 庫	石製品や陶製品などの博物館資料を保管する場所。	394 m ²
	1 階 倉 庫	博物館の行政文書や書類などを保管する場所。	12 m ²
	2 階資料・倉庫	地図や写真などの博物館資料を保管する場所。	33 m ²
	荷解・梱包室	博物館資料の出し入れ時の荷解や梱包などを行う場所。	51 m ²
調 査 研 究 部 門	図 書 室	沖縄や本市の歴史・文化に関する郷土関係図書の閲覧ができる。	99 m ²
	研 究 室	博物館職員が調査研究や会議等を行う場所。 令和4年5月より一般貸出を開始。	77 m ²
	修理工作室	博物館資料の修理、展示物等の製作などを行う場所。	49 m ²
管 理 部 門	事 務 室	博物館職員が日常業務を行う場所。	74 m ²
	展示ロビー	綱引きで使用される旗頭、普天間旧道跡の一部、グッピーを展示している。	88 m ²
	エントランスホール	来館者の休憩スペース、お知らせ等を掲示している。	36 m ²
	守 衛 室	平成28年度から機械警備に変わり、清掃員の休憩室として使用する。	7 m ²

4. 開館日・休館日

開館日と開館時間：平日、土・日曜日の午前 9 時～午後 5 時（最終入館は午後 4 時 30 分迄）

休館日：火曜日、祝祭日（慰霊の日、文化の日を除く）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

※その他、くん蒸による臨時休館日あり。

5. 観覧料

○ 平成 20 年 4 月 1 日から、“市民の方々に親しみのある地域学習の場”と、“市の文化的情報を県内外に広く発信”するために、観覧料が無料である。

○ 令和 4 年 5 月より、市立博物館 2 階研究室の一般貸出を行っている。

【使用料】

	室料（1 時間につき）	冷房使用料（1 時間につき）
市内の方	600 円	300 円
市外の方	780 円	

6. 博物館の収蔵資料

○ 博物館資料収蔵品総数：12,212 点（考古資料の大半は未集計）（令和 6 年 3 月 31 日現在登録数）

○ 図書資料総数：22,873 冊（平成 27 年 3 月 31 日現在登録数）



常設展示室：エントランス



常設展示室



展示ロビー



企画展示室



図書室



大収蔵庫

1周すると宜野湾の歴史が まるわかり！

近世
琉球王国時代に設立した
宜野湾間切や、普天間参詣など
について紹介。

近代
中頃の中心
一音天間

戦後
戦場になった
宜野湾
戦後の
暮らし

沖縄戦
戦場になった
宜野湾
戦後の
暮らし

先史
自然に生きる

自然
宜野湾の
大地の
なりたち

古琉球
農耕の始まりと
繁栄の登壇

農耕の始まり
農耕や鉄の
道具が使われ始めた
グスク時代。琉球王国の
基礎を築いた中山王察度
について、わかりやすい
映像で紹介。

狩猟・採取の時代
先人のくらしを
再現したジオラマ

**宜野湾で見つけた
土器や石器類、2500年前の
先人の復顔を表示。**

**地形の断面図や
模型、洞窟のジオラマ
などを展示。**

**湧き水のしくみが
わかる模型**
宜野湾は数多くの湧き水が
ある地域です。

**戦前の国指定天然記念物、
宜野湾並松（シノーガンマチ）を
イメージした入口**

**収容所から始まった
戦後の生活と復興。物資の乏しい時期の、
人びとの生きるたくましさ
を紹介します。**

**茅葺き屋根の民家を再現。
生活道具も展示。**

**宜野湾にしかない
軽便鉄道の台車**

**沖縄戦という辛い日々。
戦後もなお、市の中央に
位置する米軍基地。
戦争と平和、命の大切さを
考えます。**

**廃材や払い下げ品を
活用した生活用品**

常設展示室を のぞいてみよう！

常設展示室リーフレット。市立博物館の常設展示室は、平成 29 年4月 22 日にリニューアルオープンした。宜野湾の自然・考古・歴史に関する最新情報を追加し、体験コーナーも充実している。

7. 令和6年度年間事業計画

目的	事業内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月															
展示公開	展示会	企画展	博物館開館25周年記念企画展Ⅰ		憩恵の日写真パネル展		博物館開館25周年記念企画展Ⅱ		小・中学校連携展		開館25周年記念企画展Ⅲ		地域との共同企画展																
			お金で世界を感じ展～翁長良明氏古銭収集70年間のあゆみ～		沖繩戦の中の宜野湾		みんなの進化展 ～命はつながっている～ in 宜野湾		ぎのわんの文化財図画作品展		洞窟のナンゾ展		ぎのわんの字展 新天地を求めて ～屋取集落編 其之二～ (真栄原・佐真下)																
			ロビー展示ツミの成長(5/18～6/9)				ロビー展示 沖繩空手の伝播(8/1～9/9)																						
			[期間(予定)]		4/20～6/2		6/12～7/7		7/20～9/23		10/5～10/20		11/2～12/22		2/1～3/30														
博物館事業	教育普及①	一般市民対象	博物館市民講座①(講演)		お金で世界を感じ展ギャラリートーク 翁長 良明		古銭収集70年間のあゆみ 翁長 良明		宜野湾の自然 千木良 芳範		みんなの進化展 菊川 章		沖繩の民俗習俗～沖繩の呪具～ 高江洲 敦子		沖繩空手の伝播 仲村 顕		沖繩の瓦 上原 静		宜野湾市の洞窟～自然・歴史・民俗～ 新垣 義夫		山崎 真治		首里城再建 幸喜 淳		琉球王国と宜野湾 麻生 伸一		真栄原・佐真下の生活史 仲村 元惟		
			博物館市民講座②(野外巡見)		リュウキュウツミの観察会 宮城 邦治・飯沼慶一 6/8		嘉数高台周辺の戦跡めぐり 平敷 兼哉 6/30						ぶらっと、博物館めぐり(名護市) 名護博物館職員 10/20										宜野湾市の古壺めぐり 長濱 健起 2/9		めぐてい！イガルーシマ 真栄原・佐真下 平敷 兼哉 3/9				
			わらば～体験じゅく				開校式/見学の道具体験 博物館職員 6/15(館内)		ウシのお世話をしてみよう！ 喜屋武盛信・宮城邦治 7/27(野外)		宜野湾の海とサンゴを知ろう 佐藤 太一 8/24(野外)		喜友名のシーサーめぐり 博物館職員 9/14(野外)		田イモの植付けに挑戦！ 宮城 徳彦 10/26(野外)		軽石・石灰岩を観察しよう 宇佐美 賢 11/16(館内)		漆の技法体験 宮島 さおり 12/21(館内)		山芋スープ 宮城邦治 1/18(野外)		葉脈スタンプづくり/閉校式 博物館職員 2/15(館内)						
			子ども博物館教室、友の会展示解説会など		友の会 展示説明会① 4/20		友の会 展示説明会② 6/22				子ども博物館教室 8/3、8/14、8/19		漆喰シーサーをつくらう！ 比嘉 清順 こ博(8/3)				友の会 展示説明会③ 11/2						友の会 展示説明会④ 2/8						
			[期日(予定)]		4/20				6/22		8/3、8/14、8/19		こ博(8/3)		11/2						2/8								
	教育普及②	学校・地域等依頼	社会科見学		＊出前講座案内の告知(校長会・案内配布)												社会科見学:市内小・中学校の団体見学 等 出前講座の実施												
			総合学習等		総合学習、地域学習、グループ学習、修学旅行 等																								
			職場体験学習		市内中学校/インターンシップ(高校・大学)																								
			学芸員実習受入		8/7～8/19												展示公開・教育普及の活動が集中する時期に行う												
	収集保管	図書室運営	図書室運営		図書室の配架整理が未着手のため不十分な状態であるが、利用は可能																								
博物館資料収集			(1)受入れ…随時(宜野湾関連を中心に) ＊収蔵用資料・体験教材用																										
博物館資料整理			(1)登録・保管…①学芸員実習時、②R6年2月以降、③収蔵資料の整理と撮影、デジタル化準備、(2)展示公開…常設展示(①大山貝塚資料、②宜野湾並松の根)＞																										
博物館資料保管																													
広報活動	博物館ネット刊行	博物館ネット刊行						ネット刊行				ネット刊行						ネット刊行						ネット刊行					
		[期日]						7/中				10/中						3/中											
		市報ぎのわん「はくぶつかんの部屋」(年3回)						7月号						11月号								3月号							
		博物館周知活動		4/始:学校等への年間事業計画送付 4/始(特に「文化財図画作品展」)		各種事業:市報掲載、マスコミ送信、ポスター・チラシ配布、ネット配信 等 随 時																							
調査研究	資料調査	資料調査		学芸担当は個々でテーマを設定して調査研究を進める。																									
		普天間飛行場周辺まちづくり支援事業		沖縄平和祈念像原型関連資料整理(①資料登録方法の検討、②修復計画の検討)																									
		博物館協議会		定例教委委嘱議案		第1回(委嘱状交付)						第2回						第3回											
		沖縄県博物館協会関連(副会長館)		総会・春の研修会												秋の研修会													
友の会活動				①会員向け企画展解説会・②博物館事業サポート(田イモの植付け)																									
市史編集	事業内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月															
	市史編集	市史5巻民俗編(解説編)	実施要項(事務局案)の作成・専門委員予定者との調整			①専門委員会の設置・委嘱状交付(6月)、②調査項目の検討、③関係者からの聞き取り調査及び資料収集(7月以降)、④地域行事等の現地調査(年間)																							
		民俗解説編専門委員会			第1回(委嘱状交付)						第2回				第3回														
	歴史・公文書等研究・活用事業	公文書整理・公開	①公文書整理・入力作業(年間)、②公開用文書の選定・個人情報の確認・マスキング処理・博物館HP公開、③レファレンス																										
		廃棄文書確認	①文書の再選別・廃棄・廃棄分別作業(7月)、②教育委員会文書の状況確認、収集計画																										
		写真デジタル化業務委託	写真の選択		業者選定・委託契約		契約・受渡し・納品・検品確認(7～2月)																						
		写真資料整理・公開	①デジタル化写真データ・原資料整理作業、②写真情報入力作業、公開可否選別、③博物館HP公開、④レファレンス																										
	市報ぎのわん「茶ぐわーゆんたく」		5月号		7月号		9月号		11月号		1月号		3月号																
	市史編集委員会								第1回		定例教委委嘱議案		第2回(委嘱状交付)																

8. 令和5年度の活動実績

(1) 自主運営活動 ～展示会・講座・教室等の開催～

【展示公開】

	企画展名	期 間	備 考
1	春の企画展 新収蔵品展－R3～R4年度受け入れ資料－	4／22～6／4	会期：34日、来観者：847名
2	慰霊の日写真パネル展 沖縄戦の中の宜野湾	6／17～7／9	会期：20日、来館者数：1,348名
3	夏の企画展 シン・紙ってるね！一枚折りの動物たち ～あの動物たちが帰ってきた！！～	7／22～9／24	会期：51日、来館者数：3,434名
4	小中学校連携展 第31回ぎのわんの文化財図画作品展	9／30～10／15	会期：18日、応募点数：128点 来館者数：612名
5	秋の企画展 縄文時代の宜野湾	10／25～12／24	会期：52日、来館者数：1,661名
6	文化課企画展 ㊦はっけ～ん☆ぎのわんに眠る遺跡たち －発掘調査速報展 R1～R5－	1／13～1／28	会期：14日、来館者数：472名
7	地域との共同企画展 ぎのわんの“字”展 新天地を求めて～屋取集落編 其之一～ (上原・中原・赤道・愛知・長田・志真志)	2／10～3／24	会期：36日、来館者数：1,030名
企画展への総来館者数			9,404名

【博物館市民講座】

○ 目的：市内外を問わず受講者に宜野湾市の自然や歴史、文化に親しむ地域学習の場を提供する。

(定員：室内講座 25～50名、野外講座 15～25名)

	講 座 名	開 催 日	講師名及び参加人数
1	大山の自然観察	6／18(野外)	千木良 芳範(宜野湾市立博物館 元館長)、 受講者：19名
2	御願の道具と供えもの	7／23(講演)	稲福 政斉(沖縄国際大学・沖縄大学 非常勤講師)、 受講者：28名(オンライン：3名)
3	デモンストレーション① 一枚折りの技	8／6(講演)	渡邊 慧(折り紙作家)、受講者：35名
4	デモンストレーション② 一枚折りの技	8／20(講演)	渡邊 慧(折り紙作家)、受講者：42名
5	宜野湾の海の魅力	9／10(講演)	佐藤 太一(宜野湾マリン支援センター センター長)、 受講者：14名(オンライン：2名)
6	山田真山の足跡を訪ねて	10／1(野外)	平敷 兼哉(宜野湾市立博物館 館長)、受講者：12名
7	ぶらっと、博物館めぐり ～あまわりパーク～	10／22(野外)	横尾 昌樹(うるま市教育委員会文化財課 グスク整備 係長)、受講者：39名
8	紅型体験 エコバックづくり	10／29(講演)	安里紅型工房、受講者：13名
9	縄文時代前期の土器の話	11／12(講演)	横尾 昌樹(うるま市教育委員会文化財課 グスク整備 係長)、受講者：38名(オンライン：2名)
10	『錫』で豆皿づくり	11／26(講演)	上原 俊展(金細工まつ)、受講者：12名
11	縄文時代後期の土器の話	12／3(講演)	亀島 慎吾(沖縄県教育庁文化財課 主任専門員)、 受講者：33名(オンライン：4名)
12	宜野湾の遺跡めぐり	12／17(野外)	長濱 健起(宜野湾市立博物館 係長)、受講者：24名
13	発掘調査から見えてくること	1／21(講演)	伊藤 圭(宜野湾市教育委員会文化課 文化財保護 担当主査)、受講者：21名(オンライン：3名)
14	民話の地を訪ねて	1／28(野外)	平敷 兼哉(宜野湾市立博物館 館長)、受講者：25名
15	屋取の話	3／3(講演)	鈴木 悠(那覇市歴史博物館 主任学芸員)、 受講者：39名(オンライン：3名)
総受講者数			394名(オンライン：17名)

【わらば～体験じゅく】

○ 目的:市内在住小学校5、6年生 30 名を対象に、普段はあまり関わる事の少ない市内の自然や文化などを1年間通して学ぶことを目的とする。また、他校や異学年との交流を図ることで協調性や友情を育むとともに、講師の博物館職員や地域の先輩方との交流も図る。

	講 座 名	開 催 日	講師名及び参加人数
1	開校式、博物館見学と昔の道具体験	6/17(館内)	博物館職員、参加人数:24名
2	宜野湾の海とサンゴを知ろう☆	7/22(野外)	佐藤 太一(宜野湾マリン支援センター センター長)、参加人数:28名
3	漆喰シーサーをつくろう!	8/19(館内)	比嘉 清順(和仁屋しゅくいシーサー振興会 会長)、参加人数:27名
4	田イモの植付けに挑戦!	10/21(野外)	宮城 徳彦(田イモ農家)、参加人数:19名
5	喜友名のシーサーめぐり	11/11(野外)	博物館職員、参加人数:11名
6	軽石と宜野湾の石のヒミツを探せ☆	11/25(館内)	宇佐美 賢(沖縄県立博物館・美術館 博物館班長)、参加人数:16名
7	漆の技法体験	12/9(館内)	宮島 さおり(NPO 法人 ART LINK 理事長)、参加人数:17名
8	ウシのお世話をしてみよう!	1/20(野外)	宮城 邦治(沖縄国際大学 名誉教授)、喜屋武 盛信(闘牛飼育者)、参加人数:15名
9	ゆし豆腐づくり、閉校式	2/17(館内)	博物館職員、参加人数:19名
総受講者数			176名

【こども博物館教室】

○ 目的:児童・生徒の学習の場としての博物館活動の充実を図り、また夏休みの自由研究のサポートを目的に、夏休み学習支援教室の「こども博物館教室」を開催。

	講 座 名	開 催 日	講師名及び参加人数
1	くずし字スタンプを作ろう!	7/28(館内)	博物館職員、参加人数:20名
2	クモの巣標本づくり(クモのヒミツ)	8/10(野外)	千木良 芳範(宜野湾市立博物館 元館長)、博物館職員、参加人数:21名
3	野嵩に残る戦跡めぐり	8/17(野外)	博物館職員、参加人数:6名
総受講者数			47名

【博物館友の会】

○ 概要:市立博物館活動の事業に積極的に参加、協力し、併せて会員相互の教養を高め、親睦を図ることを目的に平成23年に結成。会員数99名(令和6年3月現在)。

	事業内容	備 考
1	総会	新型コロナウイルスの感染拡大のため開催を中止し、運営委員による書面確認を行った。
2	会員向け企画展の展示解説会(年5回)	博物館職員による企画展の展示解説。(①「新収蔵品展」:4/22、②「沖縄戦の中の宜野湾展」:6/24、③「縄文時代の宜野湾」:10/28、④「発掘調査速報展」:1/13、⑤「ぎのわんの“字”展一屋取集落編Ⅰ」:2/24)
3	サークル活動	・博物館事業の支援活動(田イモの植付け:10/21)

(2) 社会科見学・総合学習・出前講座・学芸員実習・職場体験学習(インターンシップ)

【社会科見学・総合学習】

(単位・人)

見 学 日 時	学 校 名	学年	児童・生徒数 (引率含む)
令和5年 5月 15日(月)	陽明高校	—	8
5月 17日(水)	桑江中学校	特支	9
5月 24日(水)	宜野湾高校	—	22
5月 24日(水)	陽明高校	—	20
6月 5日(月)	陽明高校	—	26
6月 8日(木)	真和志高校	—	5
6月 19日(月)	志真志小学校	6	132
6月 22日(木)	普天間中学校	1	166
6月 26日(月)	真和志高校	—	29
9月 1日(金)	嘉数中学校	1	285
9月 13日(水)	豊見城小学校	3	112
9月 20日(水)	宜野湾小学校	3	131
9月 21日(木)	はごろも小学校	3	146
9月 28日(木)	船越小学校	3	75
10月 5日(木)	中城小学校	3	74
10月 27日(金)	津覇小学校	3	56
11月 6日(月)	大謝名小学校	3	94
12月 1日(金)	普天間第二小学校	3	102
12月 7日(木)	同朋高校	—	42
12月 8日(金)	普天間中学校	特支	15
12月 8日(金)	同朋高校	—	37
12月 9日(土)	同朋高校	—	35
令和6年 1月 19日(金)	北中城小学校	3	142
3月 13日(水)	沖縄カトリック小学校	3	113
合 計		—	1,876

【出前講座】

(単位・人)

出 前 日 時	学 校 名	学 年	児童・生徒数 (引率者含む)
令和5年 6月9日(金)	中部商業高校	全	624
6月9日(金)	宜野湾中学校①	全	700
6月16日(金)	北中城高校	全	821
6月21日(水)	嘉数小学校①	3	99
6月26日(月)	嘉数小学校②	3	70
9月1日(金)	嘉数中学校	1	285
9月21日(木)	宜野湾小学校	3	132
10月26日(木)	沖縄国際大学 山川ゼミ	1	19
12月6日(水)	普天間第二小学校①	3	99
12月12日(火)	宜野湾中学校②	3	36
12月12日(火)	東大阪市立高井田中学校	3	108
令和6年 1月18日(木)	普天間第二小学校②	3	96
1月26日(金)	長田小学校	3	124
1月31日(水)	嘉数小学校③	3	169
2月7日(水)	大山小学校	3	99
2月9日(金)	志真志小学校	3	141
2月15日(木)	普天間小学校	3	43
3月6日(水)	嘉数小学校④	3	169
合 計		—	3,834

【学芸員実習】

(単位・人)

学 習 ・ 実 習 期 間	学校名(学年)	実習生数
8月7日(月)～8月21日(月) 12日間	琉球大学・沖縄国際大学・大阪国際大学(4年生)、沖縄県立芸術大学・(3年生)	4(男:0・女:4)

【職場体験・インターンシップ】

学 習 ・ 実 習 期 間	学校名(学年)	人数
令和5年 11月20(月)、22日(水) 2日間	宜野湾中学校(1年生)	4(男:3・女:1)
令和6年 1月29日(月)、31日(水) 2日間	真志喜中学校(1年生)	4(男:4・女:0)

【教職10年経験者研修】

研 修 期 間	学 校 名	人数
7月27日(木)～7月28日(金) 2日間	長田小学校	1(男:1・女:0)
8月16日(水)～8月18日(金) 3日間	宜野湾高校、開邦高校	2(男:2・女:0)

(3) 令和5年度の利用者数

令和6年3月31日(単位:人)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
常設展示室	大人	443	416	654	685	580	498	451	516	394	391	429	447	5,904
	学生	11	80	136	31	22	31	52	60	104	22	17	28	594
	児童	75	59	239	325	365	564	221	138	202	185	32	151	2,556
	幼児	24	28	100	116	195	109	26	40	54	31	48	23	794
	小計	553	583	1,129	1,157	1,162	1,202	750	754	754	629	526	649	9,848
	企画展示室	423	578	1,182	1,040	1,374	1,357	776	788	644	472	404	626	9,664
出前講座・講演会等		52		2,357	96	108	543	102	77	317	450	302	208	4,612
図書室		3	5	7	12	7	11	3	8	7	7	4	2	76
研究室		59	122	81	65	144	205	221	131	189	150	219	184	1,770
総計		1,090	1,288	4,756	2,370	2,795	3,318	1,852	1,758	1,911	1,708	1,455	1,668	25,970

■補足: 地域団体支援: 学童クラブや自治会、デイサービス等の団体見学の内訳は、56団体、1,070名。

9. 宜野湾市立博物館の運営に関する基本的方針

(平成 24 年 4 月 4 日教育委員会議決)

	1. 趣旨・目的	【趣 旨】 宜野湾市立博物館の運営について、これまでの博物館の基本的な考え方や事業・活動などを踏まえ、開館後の新たな時代の要請に応える役割と機能を再構築した「博物館づくり」を目指して、今後に計画する博物館事業・活動の「基本的方針」を策定する。 【目 的】 ① <u>市民のアイデンティティ創出の場となる博物館</u> 宜野湾市の自然・歴史・文化に対する知識と理解を深め、もって市民文化の向上発展に寄与し、「市民のアイデンティティ創出の場」となる博物館を目的とする。
	(基本的な性格と機能)	② <u>市の歴史・文化遺産を保存し、継承していく博物館</u> 宜野湾市の歴史や文化を伝える歴史・文化遺産を市民の地域学習に供し、これら「市の歴史・文化遺産を保存し、継承」していく博物館を目的とする。
一 基本理念	2. 基本的な考え方	◎宜野湾市の歴史と文化を学ぶ市民学習の場！ →市民の文化活動の拠点づくり！ 宜野湾市の考古、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学などに関する資料を収集・保管、展示・公開して、教育的配慮のもとに市民の利用に供するとともに、これに関連する調査・研究及び教育・普及活動を行う。
	3. 基本目標	① <u>市民に親しみとやさしさのある地域学習の場！</u> →市民の文化交流の空間(施設)づくり！ 生涯学習時代に対応するために、市立博物館の施設が地域と密接に関連し、市民に積極的に利用され、地域社会の共同施設として捉え、多様に増大してきた教育的需要に応じて、地域コミュニティ施設または生涯学習の拠点となるとともに、地域に開かれた「市民に親しみのある地域学習の場」となる博物館を目標とする。また、子供、高齢者、身障者が「安心して利用できるやさしい博物館」を目標とする。
		② <u>児童・生徒に分りやすい地域学習の場！</u> →学校との連携づくり！ 学校教育との関連においては、児童・生徒が地域に対する愛着と誇りを育むために、「児童・生徒に分りやすい地域学習の場」となる博物館を目標とする。
		③ <u>森川公園と一体になった博物館！</u> →博物館の環境づくり！ 森川公園の水と緑の環境をいかした、宜野湾市のシンボル性の高い博物館を目標とする。
		④ <u>宜野湾市の自然・歴史・文化の情報発信の場！</u> →市民参画、リピーターづくり！ 高度情報化及び国際化時代に対応するために、県内、国内のみならず、海外からの来館者のニーズに応えられる、「宜野湾市の自然・歴史・文化の最新の情報発信の場」となる博物館づくりを目標とする。
二 基本方針	1. 基本方針	【基本方針】◎先人の生活の知恵と工夫を知る市民参画の場！ ○ 調査・研究、収集・保管、展示・公開などの博物館活動を通して、宜野湾市の持つ地域的特色の中で育まれてきた自然、歴史、文化に対する知識と理解を深める。また、講演会、学習会などの博物館のさまざまな教育・普及活動を通して、市民とともに地域の歴史・文化遺産を探究し、知の楽しみを市民と博物館の双方で分かち合える、活動性の高い博物館づくりに努める。
		① <u>市民の自発的な地域学習と文化交流の場！</u> 市民が気軽に参加でき、子供、高齢者、身障者共々に交流しあえる、地域学習と文化交流の拠点となる博物館づくりに努める。
		② <u>児童・生徒が見て、触れて、体感できる博物館づくり！</u> 児童・生徒が見て、触れて、体感できる展示資料や楽しみながら学べる場を設け、学校のカリキュラム

二 基本方針	1. 基本方針	と連動した教育・普及活動を充実させる。さらに、学校での移動博物館や出前教室などの課外活動を積極的に推進する。 ③ <u>森川公園の水と緑の環境をいかした博物館づくり！</u> 森川公園の環境をいかした博物館づくりに努めるとともに、羽衣伝説の地「森の川」や、公園内の豊かな自然地形・動植物などを活用した自然観察会や民具づくりなど、地域に根ざした体験学習などの教育・普及活動の充実に努める。 ④ <u>市民ニーズの変化や学芸員の調査・研究などの進展に応じて、成長する博物館づくり！</u> 市民ニーズの変化や学芸員の調査・研究などの進展に応じて、博物館活動が成長していく博物館づくりに努める。
	2. 基本方針の体系図	＝体系図＝ 【新しい博物館づくりの実施】
	3. 活動方針	① 市立博物館開館以降の常設展示室の固定的な展示を見直し、常に新鮮さと弾力性を失うことのない展示を実現するために、「常設展示室のリニューアル」に努める。 ② 市民と児童・生徒の教育・普及活動の場、学校現場と地域団体の文化活動の拠点となる「体験学習施設」の充実に努める。
三 分野別活動方針	1. 調査・研究	① 博物館資料に関連し、市内に所在する自然環境、歴史・文化遺産、文献資料、伝承資料などの専門的、技術的な調査研究を推進する。 ② 資料の保管及び展示等に関連する市内外に所在する自然環境、歴史・文化遺産、文献資料、伝承資料などの専門的、技術的な調査研究を推進する。 ③ 調査研究の成果が、常設展示室の内容を深めるとともに、市の歴史・文化・自然的特色を活かした独創的で自主的な企画展の開催に繋がるように努める。 ④ 調査研究の成果を積極的に公開し、一般市民と児童・生徒の地域学習教材に活かされ、市民の「アイデンティティの創出」に繋がるように努める。
	2. 収集	① 市の土地に由来し、市民の生活に由来のある資料と、それらに関連する資料の収集に努める。収集にあたっては、市の歴史的変遷、時代的特色、地域的特色を示す資料の調査研究を推進し、収集に努める。

三 分 野 別 活 動 方 針	・ 保 管 (保 存 ・ 修 理)	② 収集された資料は、市民の文化創造の源としての価値を認識し「文化財」として取り扱い、必要に応じて保存処置や修理を施し、常に安全で安定した環境のもとでの恒久的な保存に努める。
		③ 収集・保管された資料は、データベースを整備し、デジタル化することによって資料の円滑で幅広い利活用を促進する。
		④ 沖縄戦と基地接収で流出した在外の歴史・文化遺産の調査を推進し、収集に努める。
	3. 展 示 公 開	① 常設展示室の固定的な展示を見直し、常に新鮮さと弾力性を失うことのない展示に努める。また、資料を五感で体感できる手法や、屋外における自然展示や敷地周辺のフィールドの恒常的な活用なども検討し、市民の地域学習と学校教育等に幅広く活用できる取り組みを推進する。
		② 市の歴史・文化・自然的特色を活かした独創的で自主的な企画展の開催に努める。そのことにより、展示内容に関心のある新たな来館者や、新鮮味を求める再度の来館者の増員に努める。
		③ 学術的に裏づけられた正確な資料と情報に基づいて展示を行う。利用者の理解を深め、利便を図るために、映像・音声・情報機器などの視聴覚機器を効果的に配備することによって、観覧者に展示の意図を分かりやすく伝える。
	4. 教 育 ・ 普 及 (学 習 支 援)	<u>学校教育の支援</u> ① 学校教育との連携により、総合学習・社会科見学・職場体験学習・出前授業などの学校教育活動に対して学習課程に対応した支援活動を行い、子どもたちの育成に役立つ博物館を目指す。
		② また、博物館活動と学校教育とが各々目指す方針の接点を整理し、相互に協働して授業メニューを作成したり、調査・研究活動を行ったり、展示室を開放した企画展を開催するなど、学校との連携活動を通して「博学協働体制」の確立を目指す。
		<u>市民への教育普及</u> ① 市民が主体的に学び、自己実現を果たすことができる生涯学習の拠点となるために、学習支援の観点から、誰もが気軽に訪れ、交流する中で、楽しく学ぶことができる多様な学習機会を提供する。
		② また、図書館や公民館など、他の社会教育施設との連携を強化し、移動展示会を開催するなど、社会人や高齢者といった大人に向けた学習情報や学習機会の提供を積極的に図る。
	5. そ の 他	① 市民参画：博物館活動の「市民参画」に向けて、一般市民と児童・生徒の自主的な「博物館友の会」との連携に努め、市民の意見を博物館の運営に反映する仕組みを整える。
		② 他館連携：県内各市町村及び民間文化施設等との連携を図り、文化施設や催し、情報及び歴史・文化遺産や各地の伝統行事・祭事日程等、県内の文化に関する幅広い情報を提供・発信できる文化情報サービス機能の整備を図る。
		③ 広報活動：博物館活動の現況に関する報告、事業計画の予告、調査研究や資料収集・情報収集に関する報告などを、各種出版物、新聞紙面、インターネットなど様々な手段によって広く市民に向け周知していくことに努める。
		④ 施設管理：来館者の“快適で安全な”博物館利用を推進する。

資料

1. 学校長名等一覧

指導部：指導課

学 校 名	校 長 名	教頭（副校長）名	所 在 地	電 話 番 号
幼 稚 園 名	園 長 名	副 園 長 名		
普 天 間 小 学 校	島袋 孝治	米須 清博	普天間 1-10-1	892-3359
普 天 間 幼 稚 園	〃	角本 伸枝	〃	892-2665
普天間第二小学校	多和田 一美	浜川 直樹	新城 2-8-19	892-2424
普天間第二幼稚園	〃	山口 ルミ	〃	892-4430
大 山 小 学 校	比嘉 秀次	宮野 俊介	大山 5-16-1	897-2174
大 山 幼 稚 園	〃	知花 恭子	〃	897-6193
大 謝 名 小 学 校	玉寄 誠	與儀 好人	大謝名 5-12-1	897-2100
大 謝 名 幼 稚 園	〃	國吉 陽子	〃	897-4154
嘉 数 小 学 校	金城 美奈子	山城 一也	真栄原 1-13-1	898-2630
		下地 直樹		
嘉 数 幼 稚 園	〃	仲本 りち	〃	898-6243
志 真 志 小 学 校	田中 志郎	東風平 こずえ	宜野湾 3-5-1	892-1502
志 真 志 幼 稚 園	〃	高原 真紀乃	〃	892-1501
宜 野 湾 小 学 校	兼城 勲	松尾 博生	神山 1-1-1	892-3006
宜 野 湾 幼 稚 園	〃	翠宮城 亜希子	〃	892-5263
長 田 小 学 校	照屋 文宏	佐久間 かおり	長田 3-19-1	892-1177
長 田 幼 稚 園	〃	大広 貴子	〃	892-2411
はごろも小学校	天願 直光	玉里 真紀	大山 6-23-1	942-2040
はごろも幼稚園	〃	仲松 由喜子	〃	942-2050
普 天 間 中 学 校	榮 葉子	門口 安光	新城 2-41-1	892-3328
真 志 喜 中 学 校	又吉 直正	玉城 健一 （副校長）	真志喜 3-19-1	897-3651
		西 康勝		
嘉 数 中 学 校	仲程 正	比嘉 孝徳	字我如古 423	898-2642
宜 野 湾 中 学 校	由 博文	新垣 元子	赤道 1-15-1	893-1397

2. 学校医・学校歯科医・学校薬剤師一覧

指導部：学務課

学校名	医師及び薬剤師		備考
	医院名	氏名	
普 天 間 小 学 校 幼 稚 園	愛知クリニック	多和田 健	
	あら歯科医院	新垣 秀治	
	みさと虹薬局	玉城 裕菜	
普 天 間 第 二 小 学 校 幼 稚 園	池原外科胃腸科医院	池原 弘	
	あらかき歯科クリニック	新垣 善章	
	すこやか薬局 野嵩店	石田 浩	
大 山 小 学 校 幼 稚 園	いとむクリニック	呉屋 五十六	
	なかむら歯科医院	仲村 将満	
		小渡 静男	
大 謝 名 小 学 校 幼 稚 園	ねたて内科クリニック	花城 清祥	
	はごろも ファミリー歯科	神下 太一	
	こくら虹薬局	饒平名 千春	
嘉 数 小 学 校 幼 稚 園	岡こどもクリニック	岡 勇次郎	
	つばさデンタルクリニック	平良 良公	
	がじまる薬局	石井 真喜子	
志 真 志 小 学 校 幼 稚 園	かりゆしクリニック	山川 研	
	セルージュデンタルクリニック	梅村 誠	
	おもろまちメディカルセンター	糸嶺 達	
宜 野 湾 小 学 校 幼 稚 園	西平医院	西平 守樹	
	ラッキーデンタル・ランド 歯科クリニック	福里 剛	
	がねこ薬局	金城 守	
長 田 小 学 校 幼 稚 園	みやぎ小児科クリニック	宮城 仲健	
	長田歯科医院	垣花 賢	
	がねこ薬局	山入端 まどか	
は ぐ ろ も 小 学 校 幼 稚 園	古堅ウィメンズクリニック	古堅 善亮	
	あつみ歯科医院	渥美 智仁	
	ぴいぶる薬局経塚店	中尾 滋久	
普 天 間 中 学 校	しおひら内科・腎クリニック	潮平 俊治	
	おさむファミリー歯科クリニック	島袋 修	
	たいよう薬局	新川 祥平	
真 志 喜 中 学 校	まえはら内科	宇座 達也	
	なかざと歯科医院	仲里 博夫	
		沖山 尚美	
嘉 数 中 学 校	のだけこどもクリニック	大見 剛	R6新規
	仲村歯科	仲村 晃	
	あい薬局経塚店	玉城 武尚	
宜 野 湾 中 学 校	光クリニック	金城 光世	
	宮城歯科クリニック	宮城 正彦	
	(株)琉薬	山内 一姫	
学校名	健診協力医		備考
	医院名	氏名	
普 天 間 第 二 小 学 校	愛誠園クリニック	平良 民子	
大 山 小 学 校	よみたん眼科	上原 健	R6新規
	統合医療センタークリニックぎのわん	大矢 亮二	R6新規
嘉 数 小 学 校	喜屋武内科クリニック	喜屋武 郁夫	
	まみ皮フ科クリニック	米須 麻美	
志 真 志 小 学 校	いすのき内科	難波 豊隆	R6新規
宜 野 湾 小 学 校	いきいき耳鼻咽喉科クリニック	喜友名 朝盛	
		照屋 国子	医師会 自宅会員
は ぐ ろ も 小 学 校	ちゃたに内科呼吸器科	茶谷 信行	
	ぎのわんメンタルクリニック	道下 聡	
真 志 喜 中 学 校	うえはらこどもクリニック	上原 哲	
	いすのき内科	難波 豊隆	R6新規
嘉 数 中 学 校	いなふくクリニック	稲福 薫	
宜 野 湾 中 学 校	ふくやま整形外科	譜久山 充	

3. 宜野湾市教育支援委員会委員

指導部：指導課

任期 令和5年6月1日から令和7年5月31日まで

	氏 名	役 職 名 等	選任区分	委嘱年度	備考
1	さかえ ようこ 榮 葉 子	宜野湾市立普天間中学校 校長	第1号 委 員	令和5年	
2	たまよせ まこと 玉 寄 誠	宜野湾市立大謝名小学校 校長	第1号 委 員	新任	
3	しもじ あやの 下 地 綾 乃	宜野湾市立普天間小学校 教諭 特別支援学級担任(情緒)	第2号 委 員	新任	
4	なかむら かつこ 仲 村 か つ 子	宜野湾市立普天間第二小学校 教諭 特別支援学級担任(肢体不自由)	第2号 委 員	新任	
5	なか ゆうこ 名 嘉 裕 子	宜野湾市立大山小学校 教諭 特別支援学級担任(情緒)	第2号 委 員	令和5年	
6	おおむら こずえ 大 村 こ ず 江	宜野湾市立大謝名小学校 教諭 特別支援学級担任(知的)	第2号 委 員	令和2年	
7	たまき かや 玉 城 香 野	宜野湾市立嘉数小学校 教諭 特別支援学級担任(情緒)	第2号 委 員	新任	
8	よくだ じゅんこ 与 久 田 順 子	宜野湾市立志真志小学校 教諭 特別支援学級担任(肢体不自由)	第2号 委 員	新任	
9	とくむら まりえ 徳 村 ま り え	宜野湾市立宜野湾小学校 教諭 特別支援学級担任(情緒)	第2号 委 員	平成29年	
10	くば ふみの 久 場 史 乃	宜野湾市立長田小学校 教諭 特別支援学級担任(病弱)	第2号 委 員	新任	
11	やびく ゆうこ 屋 比 久 優 子	宜野湾市立はごろも小学校 教諭 特別支援学級担任(肢体不自由)	第2号 委 員	新任	
12	せりきやく ともこ 勢 理 客 智 子	宜野湾市立普天間中学校 教諭 特別支援教育コーディネーター	第2号 委 員	新任	
13	てどこん りえ 手 登 根 利 恵	宜野湾市立真志喜中学校 教諭 特別支援教育コーディネーター	第2号 委 員	新任	
14	なかざと まきこ 仲 里 眞 紀 子	宜野湾市立嘉数中学校 教諭 特別支援学級担任(難聴)	第2号 委 員	令和3年	
15	ひが あずさ 比 嘉 梓	宜野湾市立宜野湾中学校 教諭 特別支援学級担任(情緒)	第2号 委 員	令和5年	
16	みやぎ ちゅうけん 宮 城 仲 健	専門医 みやぎ小児科 クリニック医院長	第3号 委 員	平成25年	
17	ふなこし よしひろ 冨 名 腰 義 裕	Kukuru きつずクリニック 医師	第3号 委 員	令和2年	
18	ちねん かつじ 知 念 克 治	学識経験者 元普天間第二小学校 校長	第4号 委 員	令和4年	
19	こがち ひろき 古 我 知 博 樹	沖縄県立大平特別支援学校 校長	第5号 委 員	新任	
20	なかそね ひろみ 仲 宗 根 ひ ろ み	宜野湾市立普天間第二幼稚園 教諭	第6号 委 員	令和5年	
21	すずき りょうこ 鈴 木 涼 子	宜野湾市立嘉数幼稚園 教諭 特別支援教育コーディネーター	第6号 委 員	新任	
22	しんざと なつみ 新 里 奈 津 美	宜野湾市立宜野湾幼稚園 教諭 特別支援教育コーディネーター	第6号 委 員	新任	
23	かでかる めぐみ 嘉 手 苺 め ぐ み	はごろも学習センター 市職員(臨床心理士)	第6号 委 員	令和3年	
24	うえはら みかこ 上 原 美 香 子	宜野湾市立宜野湾保育所 所長	第7号 委 員	令和5年	
25	とうま えりこ 當 眞 江 里 子	子育て支援課 市職員(臨床心理士)	第7号 委 員	令和5年	
26	くろき りさ 黒 木 里 沙	福祉推進部障がい福祉課 市職員	第7号 委 員	令和5年	
27	ごや いつこ 呉 屋 伊 都 子	健康推進部健康増進課 市職員(保健師)	第7号 委 員	新任	

4. 宜野湾市学校給食センター運営委員会委員

指導部：学校給食センター

委嘱又は任命期間 令和6年8月1日から令和7年7月31日まで

	氏 名	役 職 名 等	選任区分	委嘱年度
1	兼城 勲	宜野湾市立宜野湾小学校 校長	第1号委員	新任
2	多和田 一美	宜野湾市立普天間第二小学校 校長	第1号委員	新任
3	玉寄 誠	宜野湾市立大謝名小学校 校長	第1号委員	新任
4	天願 直光	宜野湾市立はごろも小学校 校長	第1号委員	新任
5	又吉 直正	宜野湾市立真志喜中学校 校長	第1号委員	令和5年
6	仲程 正	宜野湾市立嘉数中学校 校長	第1号委員	新任
7	中松 光	宜野湾市立志真志小学校 PTA会長	第2号委員	新任
8	山城 琴穂	宜野湾市立長田小学校 PTA会長	第2号委員	新任
9	宮城 絵里香	宜野湾市立普天間小学校 PTA会長	第2号委員	令和5年
10	大城 博史	宜野湾市立嘉数小学校 PTA会長	第2号委員	新任
11	諸見里 裕	宜野湾市立大山小学校 PTA会長	第2号委員	新任
12	大城 雅稔	宜野湾市立普天間中学校 PTA会長	第2号委員	新任
13	新屋 心貴	宜野湾市立宜野湾中学校 PTA会長	第2号委員	令和5年
14	呉屋 未采希	宜野湾学校給食センター 栄養教諭	第3号委員	新任
15	糸数 絵里奈	はごろも学校給食センター 学校栄養職員	第3号委員	新任
16	津島 美智子	宜野湾市教育委員会 指導部次長	第4号委員	新任
17	佐久川 紀成	元学校 校長	第5号委員	平成30年
18	友利 亘	宜野湾市PTA連合会 会長	第6号委員	令和5年
19	真喜志 若子	宜野湾市会計管理者	第6号委員	令和4年

5. 宜野湾市立中央公民館運営審議会委員

教育部：生涯学習課

	氏 名	役 職 名 等	選 任 区 分	任 期
1	背戸 博史	琉球大学 地域連携推進機構 生涯学習推進部 教授	学識経験者	R6.6.1～R8.5.31
2	又吉 直正	真志喜中学校 校長 (宜野湾市校務研究会)	学校教育関係者	R6.6.1～R8.5.31
3	多和田 一美	普天間第二小学校 校長 (宜野湾市校務研究会)	学校教育関係者	R6.6.1～R8.5.31
4	稲嶺 聡子	宜野湾市 PTA 連合会 母親委員会 委員長	家庭教育関係者	R6.6.1～R8.5.31
5	知名 朝弥	宜野湾市青年連合会 会長	社会教育関係者	R6.6.1～R8.5.31
6	新垣 隆	宜野湾市自治会会長 会長	社会教育関係者	R6.6.1～R8.5.31
7	上原 佑太	宜野湾市商工会青年部 筆頭副部長	社会教育関係者	R6.6.1～R8.5.31
8	福井 由美子	宜野湾市立中央公民館 サークル連絡協議会 会長	社会教育関係者	R6.6.1～R8.5.31

6. 宜野湾市社会教育委員

教育部：生涯学習課

	氏 名	役 職 名 等	選 任 区 分	任 期
1	大城 英哲	元小学校 校長	学識経験者	R6.8.1～R8.7.31
2	比嘉 絹江	元中学校 教頭	学識経験者	R6.8.1～R8.7.31
3	新垣 真弓	地域学校協働活動推進事業 地域コーディネーター	社会教育関係者	R6.8.1～R8.7.31
4	盛長 健	ぎのわん地域づくり塾1期生	社会教育関係者	R6.8.1～R8.7.31
5	岸本 恒子	宜野湾市女性連合会書記会計	社会教育関係者	R6.8.1～R8.7.31
6	豊見山 智	宜野湾市PTA連合会 副会長	家庭教育関係者	R6.8.1～R8.7.31
7	島袋 孝治	普天間小学校校長	学校教育関係者	R6.8.1～R8.7.31
8	新垣 隆	自治会長会会長	社会教育関係者	R6.8.1～R8.7.31

7. 宜野湾市民図書館協議会委員

教育部：市民図書館

委嘱期間 令和6年8月1日から令和8年7月31日まで

	氏 名	役 職 名 等	選 任 区 分	委嘱(任命)年度
1	望月 道浩	琉球大学教育学部 教授	学識経験者	平成 28 年
2	名城 邦孝	沖縄国際大学 准教授	学識経験者	令和 4 年
3	山内 淳子	沖縄子どもの本研究会 副会長	家庭教育関係	令和2年
4	勝連 文緒	全国自立生活センター協議会 常任委員	家庭教育関係	新任
5	新垣 真弓	市PTA連合会 事務局長	社会教育関係	令和 4 年
6	佐久原 昇	生涯学習課 課長	社会教育関係	令和4年
7	平敷 兼哉	市立博物館 館長	社会教育関係	新任
8	天願 直光	はごろも小学校 校長	学校教育関係	新任
9	仲程 正	嘉数中学校 校長	学校教育関係	新任
10	比嘉 明美	宜野湾市司書研究会 代表（嘉数小学校）	学校教育関係	新任

8. 宜野湾市文化財保護審議会委員

教育部：文化課

委嘱期間 令和6年6月1日から令和8年5月31日まで

	氏 名	役 職 名 等	選 任 区 分
1	赤嶺 政信	琉球大学 名誉教授	学識経験者 民俗学
2	麻生 伸一	琉球大学 教授	学識経験者 歴史学
3	後藤 雅彦	琉球大学 教授	学識経験者 考古学
4	崎浜 靖	沖縄国際大学 教授	学識経験者 地理学
5	高江洲 敦子	沖縄国際大学 非常勤講師	学識経験者 民俗学
6	波平 エリ子	沖縄国際大学 非常勤講師	学識経験者 民俗学
7	濱口 寿夫	中城村護佐丸歴史資料図書館 館長	学識経験者 生物学
8	比嘉 悦子	民族・音楽研究家	学識経験者 民族音楽
9	宮城 弘樹	沖縄国際大学 教授	学識経験者 考古学

9. 宜野湾市立博物館協議会委員

教育部：市立博物館

委嘱期間 令和6年6月1日から令和8年5月31日まで

	氏 名	役 職 名 等	選 任 区 分
1	玉 寄 誠	宜野湾市立大謝名小学校 校長	学校教育関係者
2	榮 葉子	宜野湾市立普天間中学校 校長	学校教育関係者
3	前田 真之	宜野湾市立博物館友の会 会長	社会教育関係者
4	天久 静子	宜野湾市女性連合会 副会長	家庭教育関係者
5	名城 清	真志喜区自治会 会長	社会教育関係者
6	波平 エリ子	沖縄国際大学 非常勤講師	学識経験者(民俗学)
7	後藤 雅彦	琉球大学 教授	学識経験者(考古学)
8	宇佐美 賢	沖縄県立博物館・美術館 博物館班長	学識経験者(地 学)
9	麻生 伸一	琉球大学 教授	学識経験者(歴史学)
10	佐々木 健志	琉球大学博物館(風樹館) 助教	学識経験者(生物学)

10. 宜野湾市史編集委員会委員

教育部：市立博物館

委嘱期間 令和5年1月1日から令和6年12月31日まで

	氏 名	役 職 名 等	選 任 区 分
1	江上 幹幸	沖縄国際大学 元教授	学識経験者(考古・人類学)
2	崎浜 靖	沖縄国際大学 教授	学識経験者(地理学)
3	藤波 潔	沖縄国際大学 教授	学識経験者(戦後史)
4	波平 エリ子	沖縄国際大学 非常勤講師	学識経験者(民俗学)
5	松川 章	浦添市教育委員会文化財課 元課長	学識経験者(郷土史・文化財)
6	秋山 道宏	沖縄国際大学 准教授	学識経験者(沖縄戦・戦後史)
7	高江洲 敦子	沖縄国際大学 非常勤講師	学識経験者(民俗学)
8	萩尾 俊章	沖縄民俗学会 会長	学識経験者(民俗学)

11. 宜野湾市いじめ問題専門委員会委員

指導部：指導課

委嘱期間 令和6年9月1日から令和8年6月30日まで

	氏 名	役 職 名 等	選 任 区 分
1	田場 あゆみ	琉球大学教育学部(学校教育専攻教育実践学専修) 地域競争研究科(臨床心理プログラム) 臨床心理士	臨床心理士(個人)
2	白尾 裕志	琉球大学大学院教育学研究科 高度教職実践専攻(教職大学院)教職実践講座 教授	学識経験者(個人)
3	富名腰 義裕	特定非営利活動法人うていーらみやにぬふあ保育園 小児科医	医師(個人)
4	島田 考人	島田綜合法律事務所 弁護士	弁護士(個人)
5	知念 克治	元小学校 校長	その他教育委員会が 必要と認める者

12. はごろも学習センター運営委員会委員

指導部：はごろも学習センター

委嘱期間 令和6年7月1日から令和8年6月30日まで

	氏 名	役 職 名 等	選 任 区 分
1	桃原 忍子	宜野湾市教育委員会教育部 元次長	教育委員会が 適当と認める者
2	山城 亨	大山小学校 前校長	学識経験者
3	新垣 真弓	宜野湾市 PTA 連合会 事務局長	教育委員会が 適当と認める者
4	仲村 和也	宜野湾市青少年健全育成協議会 総務部長	教育委員会が 適当と認める者
5	比嘉 秀次	宜野湾市立大山小学校 校長	学識経験者
6	由 博文	宜野湾市立宜野湾中学校 校長	学識経験者

1. 大綱策定の趣旨

市長と教育委員会が連携強化を図り、教育施策を一体的に推進するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定に基づき、宜野湾市の教育、文化の振興に関する総合的な施策の目標や施策の根本となる方針を定めます。また、国際社会全体の開発目標であるSDGsの目標達成に向けた取り組みを推進します。

2. 大綱の対象期間

本大綱の対象期間は、令和3年度から令和7年度までとします。

3. 宜野湾市教育の基本理念・基本方向

基本理念

学び合い、未来を切り拓く人材の育成

基本方向

（1） 生きる力を育む “ひとづくり”

社会で自立して生きていくための「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の3つをバランスよく身に付けるとともに、広く世界に目を向け、夢や希望に向かって行動することのできる生きる力の育成を目指します。

（2） 学校に関わる人たちが活動をとおしてつながる “学校づくり”

保護者や地域の大人たちが、子どもたちの成長に関わりながら自らの学びや生きがいづくりにつなげていきます。また、教職員が教育の専門家として成長できるよう支援し、学校に関わる人たちが交流や活動をとおして、連携・協力し地域に開かれた魅力ある学校づくりを目指します。

（3） 地域が学びをとおしてつながる “まちづくり”

市民一人一人が豊かな学びと人間性を培えるよう学習環境を整え、その成果を地域に還元できるよう、多様な社会参加の場を提供するコーディネート機能の充実を図り、すべての世代がつながりと学びを深め、地域を育み、未来へつながるまちづくりを目指します。

4. 基本方針

宜野湾市では、夢や希望がもてる活気あるまち、そこに住み続けたいと感じることのできるまちにしていくには、宜野湾市を支える子どもたちへの教育こそが未来への礎を築くことであると考えます。

本大綱では、市全体で学び合う風土をつくりあげ未来を担う子どもたちを育成するため、平成3年度から令和7年度までに取り組むべき教育の根本的な方針を示します。

I 未来を担う子どもたちを強くたくましく育成する

(1) 確かな学力と社会で自立して生きていく力、全ての子どもが将来への夢や希望をもって歩いていく姿勢を育みます。

- 社会的自立の素地となる基礎学力の定着と、学んだ知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育みます。
- 学ぶことの意義と喜びを感じ主体的に学習に取り組む態度を養います。
- 自らの将来について夢や希望をもち、自立的で自分らしい生き方を実現できるようキャリア教育を推進します。

(2) 他者を思いやる心、豊かな感性、すべての命を尊重して行動する力など、豊かな人間性や高い道徳性を育みます。

- 人とのつながりを大切にするとともに、他人の考え方や価値観を尊重する心、思いやりやいたわりの心、すべての命を尊重する心を育みます。
- 体験活動や読書活動をととして、豊かな感性を育みます。

(3) 生涯にわたってたくましく生きるための健やかな体を育成します。

- 子どもたちが、体力向上や健康づくりに自ら意欲的に取り組む態度を養い、健やかで、たくましく生きる力を育みます。
- 健康教育、食育の充実により、現代的な健康課題等に対応するとともに、家庭と地域が連携して基本的な生活習慣の確立を図ります。

（４）伝統と文化を尊重し、それらを育んできた郷土に誇りと愛着をもつとともに、国際感覚と多様性を受け入れる力を育みます。

- 宜野湾市の歴史や文化に対する理解を深めながら広く世界に目を向け、諸外国の歴史や文化を理解し、多様性を認める柔軟さを育みます。
- 語学力を身に付け、外国の人と積極的にコミュニケーションを図ったり、自らの考えを発信したり、バランスのとれた国際感覚を養っていきます。

Ⅱ 子どもたちを市民総ぐるみで育成する環境をつくる

（１）子どもたちの豊かな学びを支える教育環境づくりを推進します。

- 人材育成の基盤である義務教育について教育の機会均等と水準確保を図るため、少人数学級を推進します。
- 特別な支援を必要とする子どもへの発達段階に応じた教育、学習が遅れがちな子どもへの学習支援など、よりきめ細かな指導・支援体制を整えます。
- 情報化、国際化など社会状況の変化に応じた効果的な教育活動が行えるよう教育環境を整えます。
- 教育の専門機関である近隣大学との連携・協力体制の充実を図り、学習支援やグローバル人材の育成、教職員の研究活動の支援などをおして宜野湾市の特色ある教育を推進していきます。
- 教職員が子どもとしっかり向き合う時間を確保できる教育環境を整えるとともに、実践的指導力向上に向けた研修、研究活動の充実を図ります。また、自ら学び続ける教職員を支援します。
- 学校施設は子どもたちの学習、生活の場であるとともに、災害発生時には地域住民の避難場所ともなることから、学校施設の耐震化、老朽化対策を推進し、安全・安心な教育環境を確保していきます。

（２）地域ぐるみで子どもの成長を支える環境づくりを推進します。

- 学校や自治会を地域コミュニティの拠点として位置付け、保護者や地域の人々、さらにNPO・企業・大学なども含めた多様なバックグラウンドを有する人たちとの協働を促進し、学校教育だけでは培うことが難しい“社会を生き抜く力”や地域の担い手を育成する教育環境づくりを推進します。
- 課題を抱えた子どもたちを支援するためスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置充実を図ります。
- 子どもの貧困対策など多様な支援が必要な子どもたちに対して、福祉関係機関、地域コミュニティ組織など関係する機関が連携・協力して、それぞれの子どもや家庭に寄り添った切れ目のない支援を構築していきます。
- 家庭教育の担い手である親の学ぶ機会の提供や子育て支援、ワーク・ライフ・バランスを図る取組等への協力などにより、子どもから大人までの生活習慣づくりを推進し、教育の原点である家庭教育への支援体制強化に向けた取組を促進します。

5. 基本目標

～教育施策を着実に推進していきます～

基本方針を踏まえ、関係部署が連携を図りながら教育施策に取り組んでいきます。具体的な取組は「第二次宜野湾市教育振興基本計画」に示した7つの基本目標に基づき推進していきます。

基本目標1. 確かな学力の向上

基礎・基本の定着と問題解決的な学習を推進し主体的に学習する態度を育みます。また、自立して将来の夢に向かって取り組めるようキャリア教育の充実とグローバル社会に対応できる人材の育成を目指した取組を推進します。

基本目標2. 豊かな心・健やかな体の育成

子どもたちの豊かな情操、規範意識、自他の命、人格の尊重など社会性や道徳性を育むとともに、体力向上や食育などの充実を図り、心身ともに健全な子どもを育成する取組を推進します。

基本目標3. 地域と連携した教育活動の充実

学校と地域が相互に連携・協働し、学校づくり、地域づくりに取り組むとともに、地域人材の活用を図りながら地域ぐるみで子どもを育成する取組を推進します。

基本目標4. 教職員の指導力の向上

教職員が教育に関する専門的知識や実践的指導力を高めるための研修や研究活動の充実を図ります。また、ICTを活かした授業力の向上や自主的に学び続ける教職員を支援する取組を推進します。

基本目標5. 教育環境の充実

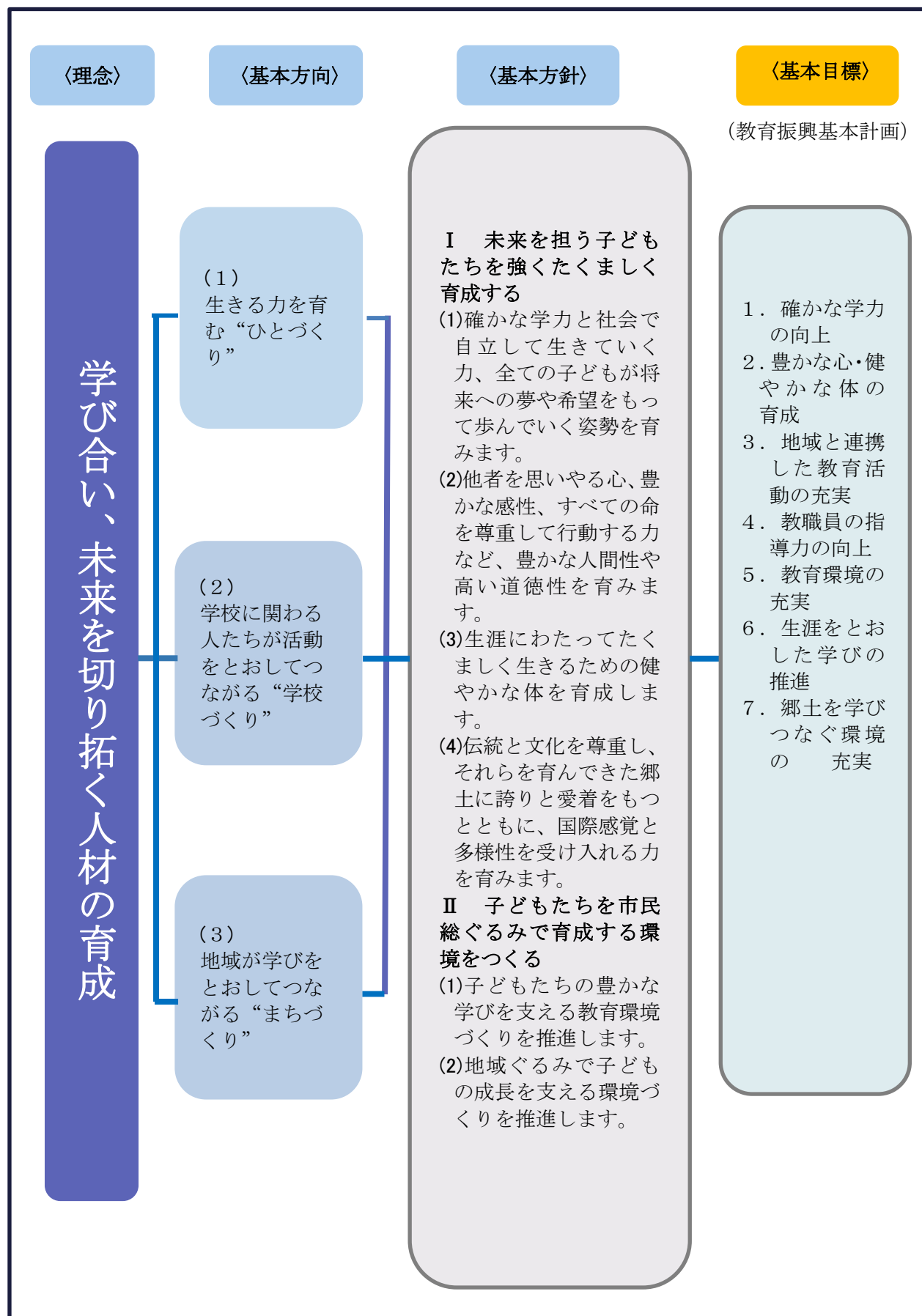
地域と連携した防犯・防災教育の充実、学校施設等の耐震化、老朽化対策を図り安全・安心な教育環境を確保していきます。また、学校のICT環境の充実と活用の促進や教職員の多忙化解消などに取り組み、よりよい教育環境づくりを推進します。

基本目標6. 生涯をとoshした学びの推進

教育施設や自治公民館などを拠点に様々な学習やスポーツ活動等を推進するとともにそれらを地域や次の世代に還元できるサイクルを構築し、全ての世代の市民が豊かな学びを創出できるような取組を推進します。

基本目標7. 郷土を学びつなく環境の充実

郷土の歴史や文化に親しみ、学ぶことにより郷土に誇りと愛着の心を育むことや貴重な地域資料を保存、活用し、地域資源や人材を活かしたまちづくりの取組を推進し



宜野湾市教育委員会のイメージキャラクター



のびくん

宜野湾市の特産である田いもの妖精で
宜野湾市の子どもたちの勉強や才能が
伸びるようにと願いが込められています。



きくちゃん

市花である菊の妖精で、人の話をしっかり
聞く子になってほしいという願いが込めら
れています。

